

平成24年度（2012年度）—第28期—

社会福祉法人 障友会 事業報告書

—— はじめに ——

平成24年度は多忙な1年でした。

多様で多数な、公的補助金による事業を展開したため、かつてないほど高い頻度の役員会の開催となりました。

おかげさまで、全ての予定事業がとどこおりなく年度内に終了、完了し、法人として大きな成果につながりました。ただしとくにケアホームの運営をめぐる医療職も含めて人材の確保や定着の困難さをあらためて痛感させられました。当法人だけの課題ではない、とはいえ国の重点施策であるだけに制度上の大きな矛盾を思わざるえないものです。

今後必要に応じてのケアホームの増設は必須であり運営のきびしさゆえにそれを回避することはできません。すみやかな国の制度改善が求められるところです。

又、第2ショートステイ事業の立ち上げ計画は肝心の地方自治体の政策的後退により具体化することができませんでした。「法人の中・長期事業計画検討委員会」の報告にも明記されたショートステイの充足はもはや喫緊の課題です。建築にかかる公的助成が期待できない中、それをどのように実現してゆくか、当法人のあらたな課題になりました。

10月、障害のある人たちが待ち望んでいた「障害者虐待防止法」が施行されました。

本法の実施に備えて当法人も種々の事前準備と対策を講じてきました。

本来、法の有無にかかわらず障害者への支援はその人の人間としての尊厳や人権を尊重し保障することが究極の目的ではありますが、しかし、ともすれば職員との日々の濃密な関係性の中では「意識、意図」のない安易な対応になりがちです。そのためあらためて職員の意識を喚起し、「虐待」とは無縁で、より積極的な支援が実現するよう様々な職員への研修も重ねてきました。

しかし10月以降、学生実習生から、又、外部事業所のホームヘルパーから職員の利用者への言動についてきびしい指摘を受けました。さらにはケアホーム入居者の病气受診時の医師によって「発見」された「虐待が疑われるケース」をめぐる実地調査も含めた行政とのやりとりなども発生しました。

前者については早速に「何が問題であったのか」などをていねいに検討し、当該職員の課題や支援のあり方などについて共通の認識をもって、事後の具体の支援に生かすことができました。又、後者の事案については結局は利用者の「受傷」の原因や経緯が全く明らかにならず、最終的には行政の「虐待はなかったものと認識している」との言葉の発出（それも当方からの問い合わせに対して）だけで終結しました。

いずれにしても利用者支援のあり方や職員集団と家族との信頼関係、あるいはきたんのない関係性の構築など事案を通じた様々な課題が浮びあがりました。貴重な教訓にしなければなりません。

障害者制度改革の進捗とは裏腹に、わが国の社会福祉にはまたぞろ暗雲が立ち込めはじめています。昨年末の総選挙で旧政権がかえり咲き、以来社会福祉に対する政府の姿勢が少しずつ変化しはじめてるように感じられます。

少子高齢化の進行、増大する高齢者の医療費と介護費用。途方もなく多額の公債に加えてのわが国財

政の一層の厳しさが、給付水準の引き下げや負担の増額を呼び、福祉の自己責任論をふたたび台頭させてきました。

社会福祉法人の「内部留保金」のあり方が諸方で問題視されるようになってきました。平成24年度中に当法人が活用した種々の公的助成のゆくえも定かではありません。

ひきつづき周囲に目をひらき、耳をすましながらの「適切」な対応が求められるところです。

1) 理事会・評議員会の開催

1. 第113回理事会、第35回評議員会 平成24年5月29日（火）

（主な案件）

- ① 平成23年度社会福祉事業会計・就労支援事業会計決算報告について
- ② 平成23年度法人本部・施設事業報告について
- ③ 定款の変更について―障害児相談支援事業の開始により―
- ④ 各事業所運営規定の一部変更について
―利用者の送迎にかかる費用徴収の内容の削除と一部追加―
- ⑤ 給与規定の一部改正について
―大阪府福祉・介護人材の処遇改善事業の廃止と処遇改善加算の創設―
- ⑥ 地域活動支援センター「遊夢音」の開設について
・平成24年度地域活動支援センター「遊夢音」事業計画について
・地域活動支援センター「遊夢音」の運営規定の創設について
・地域活動支援センター「遊夢音」の経理規定の創設（経理規定の一部改正）について
- ⑦ 法人各事業所の管理・運営体制、職員体制組織図への事業所の追加について
- ⑧ 平成23年度「ケアホームなでしこ」事業計画について
・平成24年度「エリアサポートグループ」事業計画について
- ⑨ 「わららか草部」前土地の購入及び整備について
・購入価格と売買契約の締結について
・基本財産への編入、定款変更について
・購入後の整備方針について
・整備事業の実施について
- ⑩ その他の審議事項・報告事項について

2. 第114回理事会、第36回評議員会 平成24年7月27日（水）

（主な案件）

- ① 定款の一部変更について
・「わららか草部」前土地の売買、決済及び所有権移転登記完了に伴う法人基本財産への編入並びに資産増に伴う一部変更と登記について
・障害児相談支援事業の指定開始に伴う「第1条（目的）」への文言の追加と「（1）の（ハ）児童福祉法による相談支援事業の経営」の表記変更について
・地域活動支援センター事業の受託開始に伴う「第1条（目的）」内への「地域活動支援センター事業の経営」の追加について
- ② 各種規定（則）の一部削除訂正及び変更について
・介護休業規定「第6条（子の看護休暇）」の削除訂正と第7条以降の条のくり上

げ措置について

- ・育児休業規定「第12条（子の看護休暇）」の一部改正について
- ・改正労働基準法の経過措置終了に伴う育児休業規定「第11条（育児短縮時間勤務）」の一部改正について
- ・処務規定「第2条（組織）、第3条（事務分掌）」の一部改正について

—地域活動支援センター事業の追加記載—

- ・非常勤（嘱託）職員就業規則「第15条（賃金の構成）」の一部改正について
- 処遇改善加算金による期末手当一時金の支給に依拠して—

③ 平成24年度社会福祉事業会計資金収支予算の第2次補正について

—「ショートステイうてな」の送迎用車両の購入に伴う予算措置について—

④ 「わららか草部」法人所有車の駐車場の整備工事の実施について

- ・工事入札参加資格の決定について
- ・入札参加業者募集の公告事項の決定について
- ・今後のスケジュールと各手続きへの対応について

⑤ 法人役員の選任について

—監事の辞任に伴う新監事の選任—

⑥ その他の審議事項・報告事項について

- ・「堺みなみ」大規模修繕申請後の状況について
- ・「うららのお店」の改修工事の申請について

3. 第115回理事会、第37回評議員会 平成24年9月18日（火）

（主な案件）

① 「堺みなみ」の大規模修繕工事の実施について

- ・工事入札参加資格の決定について
- ・入札参加事業者募集の公告事項の決定について
- ・今後のスケジュールと役員会の開催について
- ・設計監理業務事業者の選任について

② 「わららか草部」法人所有車の駐車場の整備工事の完了について

- ・報告と各手続きの理事長決済に対する追認について

③ 障害者自立支援法に基づく地域移行支援及び地域定着支援の指定申請に伴う「障害者地域生活支援センターうてな」の運営規定の創設について

—従前の運営規定の廃止と新運営規定の制定—

④ その他の審議事項・報告事項について

4. 第116回理事会、第38回評議員会 平成24年10月19日（金）

（主な案件）

① 「堺みなみ」の大規模修繕工事の実施について

- ・入札参加申請業者の資格審査について
- ・入札参加業者の選定について
- ・現場説明事項の決定について
- ・予定価格の決定について

② 「障害者虐待の防止障害者の養護者に対する支援等に関する法律—障害者虐待防止法」の施行に伴う法人施設運営上の諸対策の実施について

- ・就業規則の一部改正について
- ・非常勤就業規則の一部改正について
- ・虐待防止対応規程の創設について
- ・職員の倫理綱領・行動規範の創設について
- ③ 大阪府営住宅のあっせんを受けてのあらたなケアホームの開設について
- ④ その他の審議事項・報告事項について
 - ・「うららのお店」の改修工事に対する補助金の確定について
 - ・「わららか草部」前土地の整備工事の完了と地目変更の完了について
 - ・中・長期事業計画検討委員会の活動報告について

5. 第117回理事会、第39回評議員会 平成24年11月19日（月）

（主な案件）

- ① 「堺みなみ」の大規模修繕の実施について
 - ・入札の実施とその結果の報告について
 - ・工事請負契約の内容と契約の締結について
- ② 「うららのお店」の改修工事の実施について
 - ・予定価格の決定について
 - ・工事入札参加資格の決定について
 - ・入札参加事業者募集の公告事項の決定について
 - ・設計監理業務事業者の選任について
 - ・今後のスケジュールと役員会の開催について
 - ・第3次補正予算の編成について
- ③ 利用者預り金管理規程の一部改正について
- ④ その他の審議事項・報告事項について
 - ・虐待防止対応マニュアルの作成について
 - ・法人虐待防止委員会委員の選任について

6. 第118回理事会 平成25年1月16日（水）

（主な案件）

- ① 「うららのお店」の改修工事の実施について
 - ・入札の実施とその結果の報告について
 - ・工事請負契約の内容と契約の締結について
- ② その他の審議事項・報告事項について

7. 第119回理事会 平成25年2月8日（金）

（主な案件）

- ① 「くるみの樹」の作業材料、製品の運搬等用車輛の更新購入について
 - ・「障害者自立支援基盤整備事業補助金第2期分」への補助申請の結果について
 - ・車輛購入にかかる諸手続きの実施について
 - 1. 予定価格の決定について
 - 2. 入札参加業者の入札参加資格の決定について
 - 3. 入札参加業者募集広告事項の決定について

- 4. 入札参加業者に対する仕様書内容の決定について
- 5. 今後のスケジュールと役員会の開催について
- 6. 入札参加業者の決定にかかる理事長専決について
- ② 「堺みなみ」の大規模修繕完了の報告について
 - ・「うららのお店」の改修工事の進捗状況報告について
- ③ 予算・事業計画等3月の理事会の日程について
- ④ その他の審議事項・報告事項について

8. 第120回理事会 平成25年2月22日（金）

（主な案件）

- ① 「くるみの樹」の作業材料、製品の運搬等用車輛の更新購入について
 - ・入札の実施とその結果の報告について
 - ・契約内容と契約の締結について
- ② 「ケアホームすみれ」の改修工事の実施について
 - ・工事請負業者の選任について
 - ・工事請負契約の内容と契約の締結について
- ③ その他の審議事項・報告事項について

9. 第121回理事会、第40回評議員会 平成25年3月25日（月）

（主な案件）

- ① （報告事項）この間の理事会審議顚末の評議員会への報告について
- ② 平成24年度 法人、各施設の最終補正予算について
- ③ 「ケアホームすみれ」の事業計画について
- ④ 「ケアホームすみれ」、「エリアサポートグループ」予算について
- ⑤ 経理規定の改正について
 - 「ケアホームすみれ」、「エリアサポートグループ」の経理区分の創設—
- ⑥ 処務規定の改正について
 - 「ケアホームすみれ」の事業追加—
- ⑦ 「中・長期事業計画検討委員会」のまとめの報告と提案について
- ⑧ 平成25年度、法人、各施設の事業計画について
- ⑨ 平成25年度、法人、各施設の予算について
- ⑩ 各種規程、規則の改正について、職員給与の改正について
 - 就業規則、非常勤職員就業規則、給与規程、育児休業規程、再雇用規程—
- ⑪ 各種規程の創設について
 - 法人役員の慶弔規程、ケアホーム利用者の現金管理・出納事務マニュアル—
- ⑫ 職員人事について（退職、採用、昇任、異動、復職）
 - ・「ショーステイうてな」の施設長人事について
 - ・平成25年度の各事業の管理・運営体制について
- ⑬ 役員の改選について（お願い）
- ⑭ その他の審議事項・報告事項について
 - ・「堺みなみ」の大規模修繕完了報告について
 - ・「うららのお店」の改修工事完了報告について
 - ・「わららか草部」隣地の株式会社榎原製作所跡地の買いとり計画について

2) 法人の監事監査

- ①平成24年 5月14日(月) 奥野監事による監査(法人運営、理事会、評議員会運営関係)
- ② 5月17日(木) 上溝監事による監査(施設・事業の運営関係)
- ③ 5月18日(金) 松谷監事による監査(法人・施設の会計、経理関係)

3) 行政の実地指導、監査など

- ①平成24年 8月 6日(月) 堺労働基準監督署の調査(短時間労働者への法人の対応状況について)
- ② 10月18日(木) 堺市によるショートステイうてなの実地指導
- ③ 22日(月) 堺市による法人本部、堺みなみの実地指導
- ④ 12月12日(水) 堺市によるデイセンターフレンズ及びうららのお店の実地指導
- ⑤ 19日(水) 堺市によるくるみの樹の実地指導
平井ホーム及び堺みなみの実地指導
(虐待が疑われる事案の市への届出に伴うもの)
- ⑥平成25年 3月 7日(木) 堺市による地域活動支援センター遊夢音の実地指導

4) 新たな事業(所)の開設、ならびに変更など

①地域活動支援センター遊夢音の開設(平成24年4月1日～)

堺市の相談支援事業体制の抜本的な再編成(堺市の各法人への委託型生活支援センター事業→基幹相談支援センター事業へ)に伴う「新地域活動支援センター」事業を受託して開設。3障害共用の地域に開かれた自由な時空間の場としたもの。

②エリアサポートグループの設置・開設(4月1日～)

増加しつづける当法人のケアホームへのシームレスで強力な支援を担うべく法人内組織のひとつとしてあらたに設置した。グループ長(副主任級職員)を中心に3人の専任生活支援職員を配置して世話人の確保、シフトづくり、世話人への研修、世話人会議の主導、世話人の代行、入居利用者への多様で広範な支援などを実施した。又新設ケアホームの設置準備等にも対応した。

③障害者地域生活支援センターうてなの運営根拠及び役割機能の変更(4月1日～)

国の相談支援事業のあらたな役割機能の創設と堺市の相談支援事業体制の再編成により障害者地域生活支援センターうてなを市の委託業務としての生活支援センターから指定相談支援事業所(指定一般・特定相談支援事業・障害児相談支援事業)に変更しその役割機能も計画相談、地域定着、移行相談支援、基本相談、障害児相談に改変した。事業所の名称は踏襲。

5) いろいろなとりくみ(諸事業の展開)

①わららか草部前の土地の取得、法人の基本財産への編入、法人所有車の駐車場としての整備事業。

前年度からの懸案事項であったわららか草部前の畑地(山野員子氏所有:456㎡)を買収。かねて敷地の狭隘ゆえに大変危険であった多数の車輛の駐車スペースとして整備した(平成24年8月完一自己資金)。

②自家発電装置の整備事業

2011年3月に発生した東日本大震災以後のわが国の電力不足、節電対策に対応するべく自家発電装置を主に宿泊を伴う事業所に設置した(ショートステイうてな、平井ホームの2ヶ所、8月完

了一大阪府障がい者自立支援基盤整備事業補助金第Ⅰ期分)。

③「堺みなみ」の大規模修繕事業

前年度からのもちこし事業。8月の国の内示を得たのちすみやかに対応し、開設後まる27年目の堺みなみ建物内外の大規模な改修繕を実施した(2月完了—社会福祉施設等施設整備費補助金)。

④「うららのお店」の改修整備事業

集客力を強化し利用者への工賃の向上を図るべく「うららのお店」の改修整備、リニューアル事業を実施した。建物の内外の装いが一新され、見まちがえるほどに整備できた。所期の目的がかなうことを願うもの(2月完了—大阪府障がい者自立支援基盤整備事業補助金第Ⅱ期分)。

⑤「ケアホームすみれ」の開設に伴う居室等改修整備事業

当法人11番目のケアホーム(府営八田西町住宅、2戸、定員4人)のケアホームとしての改修整備工事等を実施した。(3月完了—大阪府障がい者自立支援基盤整備事業補助金Ⅱ期分)。3月1日付の指定。実質的に平成25年4月1日から入居開始。

⑥「宮園ホーム」の自動火災通報装置整備事業

既存の宮園ホームが改正消防法「6項、ロ」による自動火災通報装置設置義務の対象ホームとなり、大阪府の補助金を利用して整備した(3月完了—大阪府障がい者自立支援基盤整備事業補助金Ⅱ期分)。

⑦「くるみの樹」の車輛の更新整備事業

くるみの樹の取り組みで発生する作業材料や製品について、その運搬用車輛を更新購入するために大阪府の補助金を申請。年度末に納車することができた(3月完了—大阪府障がい者自立支援基盤整備事業補助金Ⅱ期分)。

⑧法人虐待防止委員会の設置と開催

10月1日付施行の障害者虐待防止法を前に当法人においても種々の準備を重ねてきた。

- ・ 社会福祉法人障友会虐待防止対応規程の創設
 - 法人虐待防止委員会の設置
 - 各事業所虐待防止委員会の設置
 - 各事業所虐待防止受付担当者の設置
 - 全職員の業務のふりかえりシートの作成、実施
- ・ 職員 就業規則、非常勤職員就業規則の一部改正
- ・ 職員の倫理綱領・行動規範の創設
- ・ 研修の実施

又、10月以降は上記の諸とりくみを日常的に実施し、特に12月19日、第1回法人虐待防止委員会を開催した。

(委員会委員の構成)

- 法人役員 4人(理事長、常務理事、理事2人)
- 各事業所代表職員 4人(施設長3人、法人本部事務局長1人)

各事業所家族会代表 4人（堺みなみ、わららか草部、デイセンターフレンズ、うららのお店）
法人の苦情解決事業第3者委員 2人

〈合計14人〉

⑨法人の中・長期事業検討委員会の継続開催と報告書の作成

理事長への答申

（検討委員会の開催状況）

平成23年9月14日の第1回検討委員会以後、平成24年度分（総計では13回の委員会）
4月18日（水）、6月15日（金）、7月11日（水）、8月8日（水）、9月12日（水）、
10月17日（水）11月14日（水）、1月23日（水）—理事長に答申

（検討委員会の構成）

法人本部事務局 3人
法人理事 1人
各事業所代表職員 3人（施設長）
各事業所家族会代表 7人

〈合計 14人〉

（平成25年1月～3月のうごき）

理事長に答申された「法人の中・長期事業計画検討報告書2012」について、各事業所毎の

①利用者、②家族、③職員に案内、報告。内容にかかる意見を求める。その上で、3月11日（月）
理事長主催の法人職員（希望者）との意見交換会を実施した。

⑩報酬に上乘せされる福祉・介護職員処遇改善加算金の全職員への年度末一時金としての支給の実施。

平成23年度で廃止された「福祉・介護職員処遇改善交付金」。平成24年度からは同主旨の「報酬
への加算金」に改善されたが当法人としては平成24年度の加算金はひきつづき「年度末の一時金」
として全職員に配分支給した（3月10日）。

⑪法人職員研修の実施

4月 5日（木）ビギナーズ研修（午前） 社会福祉法人 障友会の歴史と法人の理念（海谷）
（午後） 法人全体の事業の概要と今後の課題、職員役割（吉川）
6日（金）ケアホーム世話人研修（午後）バックアップ体制の整備、強化と利用者の生活支援
のあり方について（海谷・藤本）
10日（火）ビギナーズ研修（午前） 知的障害の基礎知識と支援のあり方（田中）
（午後） 自閉症・発達障害の基礎知識と支援のあり方（藤原）
12日（木）ビギナーズ研修（午前） 重度・重複障害の基礎知識と支援のあり方（片岡）
（午後） 「てんかん」の基礎知識と支援のあり方（志堂寺）
25日（水）（新）世話人、調理員 知的障害の基礎知識と支援のあり方（田中）
5月 8日（火）ビギナーズ研修 障害程度区分について（田中）
9日（水）（新）世話人、調理員 自閉症・発達障害の基礎知識と支援のあり方（藤原）
15日（火）ビギナーズ研修 重度・重複障害の基礎知識と支援のあり方（片岡）
（新）世話人、調理員

22日（火）（新）世話人、調理員	「てんかん」の基礎知識と支援のあり方（志堂寺）
30日（水）ビギナーズ （新）世話人、調理員	虐待防止・人権尊重について（築山ひ）
6月14日（水）トータル研修	施設業務全般におけるリスクマネジメントのあり方と実施について（吉川）
28日（木）リーダーズ研修	相談支援（事業）のありようと実際 （西区障害者基幹相談支援センター所長 福井氏）
7月10日（火）ビギナーズ研修	個別支援計画の意味と意義（駄田井）
18日（水）スキルアップ研修	当事者主体、当事者中心の支援のあり方について （北山）
24日（火） 同上	同上
9月11日（火）ビギナーズ研修	わが国の障害者制度改革の動向と障害者自立支援法 （吉川）
19日（水）スキルアップ研修	利用者の選択と自己決定の支援のあり方について （築山け）
25日（火） 同上	同上
10月11日（木）リーダーズ研修	虐待防止・人権尊重について （前大阪知的障害者福祉協会権利擁護委員長智原氏）
18日（木）トータル研修	親のねがい——利用者家族の生活奮闘譚 （家族会代表 岡田氏、森泉氏）
11月21日（木）スキルアップ研修	傾聴とコミュニケーションのあり方について（館野）
27日（火） 同上	同上
1月16日（水）スキルアップ研修	ケアマネジメントの実際について（穂山）
22日（火） 同上	同上

※当初予定の未実施分

高齢知的障害者（主にダウン症の人）の心身機能の変化について（トータル研修）予定講師の体調不良で中止、未実施。

⑪苦情解決事業第3者委員への報告会の実施

3月13日（水）、午後わらか草部会議室において実施した。

法人内全事業所の①ヒヤリ・ハット、②事故、傷病 ③苦情・要望の各事案について報告。第3者委員から各事案の原因の発生の分析、処理過程、結果についての意見、助言をえる。

又、くり返し発生の事案に関しては職員の意識の向上と組織的、体制的工夫の必要性などの指導を受けた。

⑬法人機関紙「至心」の発行

デイセンターフレンズとうららのお店の後援会活動を障友会全体の後援会活動に一本化（平成24年度から）したことをふまえて、それぞれが発行していた機関紙（施設ニュース、デイセンターフレンズ・風うらら）を「至心」に統合。法人の機関紙として再出発させた。年4回（4、7、10、1月）

の発行で今年度はNo.148～151まで。

6) 各種会議等の実施

- ① 経営会議 3回(理事長、他施設長理事、法人事務局長、7/2、7/25、9/10)
- ② 管理職会議 24回(理事長 他各施設長管理職、法人本部事務局長)
- ③ 障友会連絡会 12回(定例開催、理事長、各施設管理職、主任、法人本部事務局長他)
- ④ 法人職員全体会議 1回(理事長他法人職員 1/7)
12月の虐待が疑われた事案に関する経過報告と法人の対応について会議
- ⑤ 法人虐待防止委員会 1回(理事長他各施設の管理職、法人本部事務局長、法人理事、苦情解決事業第3者委員、各家族会代表)実施内容は別記
- ⑥ 法人の中・長期事業計画検討委員会 13回(各施設の管理職、法人本部事務局長、法人理事、各家族会代表)実施内容は別記
- ⑦ 法人虐待防止受付担当者会議 3回(担当施設長、各施設事務分掌担当者)
各事業所における虐待につながる諸事案の検討、利用者支援のあり方。各書式の作成などについて協議検討。日常の利用者支援に生かしてゆくもの。
- ⑧ 職員研修委員会会議 4回(各施設事務分掌担当者)
法人職員の各レベル・カテゴリーに於ける研修計画の企画立案、及び実施に関する会議。実施済み研修は別記。
- ⑨ 法人機関紙「至心」の編集委員会会議 4回(各施設事務分掌担当者)
実施内容は別記。
- ⑩ 防災対策委員会会議 7回(各施設事務分掌担当者)
法人全体の防災対策についての協議検討。今年度は①災害時の服薬管理の課題について検討、②携帯用の防災カードの作成、③自宅における避難場所の確認、④災害時対応の物品、備品の購入などを行い堺市から福祉避難所の指定を受けた。
- ⑪ 法人の新設ケアホーム準備委員会 7回(エリアサポートグループ、各施設の管理職、法人本部事務局長)
※ 平成25年度からは、法人グループホーム運営委員会に改組。ただし構成メンバーは同様。
- ⑫ 法人創立30周年記念事業準備委員会 3回(各施設事務分掌担当者)
昭和60年3月の法人認可、7月の堺みなみの開設以来、平成27年度でまる30年目をむかえる。平成27年度中の記念事業の実施のための準備委員会。
- ⑬ 医療的ケア検討委員会会議 2回(エリアサポートグループ長、各施設看護師)
堺みなみ、くるみの樹、デイセンターフレンズ、わららか草部、ショートステイうてなの各施設に配属している医療職としての看護師が障害者支援についての様々な情報や技術を共有し、より高いレベルの利用者支援につなげてゆくための会議。しかし、今年度は各看護師の業務上の都合があわず、全員がそろうことはなかったし、又予定通りに開催することもできなかった。

平成24年度（2012年度）－第28期－ 堺みなみ事業報告

（運営の概要）

- 1) 「障害者自立支援法」の日額制による減収に対し、施設運営の安定を図るため、土曜通所を継続。
- 2) 授産諸活動に継続して取り組み、利用者工賃の増額をめざして引き続き努力した。今年度から「就労継続支援B型」と「生活介護」の2事業となった。
昨年度に続き堺市の「授産活動活性化支援事業」によるNPO法人「アクティブエイジング」の経営指導、ポップとラッピングの技術指導を受け、バザー販売収益アップ、工賃収入アップを図った。
- 3) 利用者自治会活動、利用者の係り活動への支援を継続し、事業運営への利用者の主体的かわりのさらなる充実を図った。年数を重ね、皆さん自分のやりたい係りがはっきりしてきて、人気の係りには希望者がたくさんになった。また、自治会総会にも積極的に発言してもらえるようになってきている。今年度、「障害者虐待防止法施行」についての情報提供と12月からの「大規模修繕」にむけて、工事の場所と工程とかの情報提供、協力の依頼などで食堂に集まってもらって話の場を設定した。
- 4) 大阪授産事業振興センターと堺市内の授産施設の組織であるパッセネットワークに加入しバザー活動に取り組む。パッセネットワークには引き続き事務局員を派遣する。さらに、当事業所の属する地域、中区の「ナカ・ナカマネット」に参加、区役所ロビーでの年3回のパネル展とバザーに出店参加した。その他各所の障害者施設のショッポ、トゥギャザーのバザー等にも例年通り出品する。しかし、それぞれの売り上げは下がっていて、日本セルプの売り上げの年々の減額とともに授産収入の減額につながった。次年度は利用者給与のベースダウンを考えねばならない。
- 5) 今年度も引続き、安全、安心に過ごせる施設をめざし、法人全体の方針のもとに、感染症対策、ヒヤリ・ハットの活動にも継続的に取り組んだ。
利用者の通院支援の回数の増加に対しては、ケアホーム入居者についても可能な場合は家族による通院をお願いしたり、ガイドヘルパーを依頼したりして回数の伸びは何とか抑えられたが、今後も進む高齢化に伴う通院（転倒事故・生活習慣病等）、それも、長期にわたる定期通院の増加は進むものと思われ、職員の負担となっている。事業所の看護師の配置日数を増やしていかなければならないと思う。
また、法人の防災担当者会議に防災担当責任者が参加し、その方針に従って防災備品購入等の各種の対応を防災担当責任者を中心に進めた。
- 6) 家族からの介護、支援を受けられない利用者については、それぞれのケース担当職員により通院、金銭管理、福祉サービスを受けるための様々な行政手続き等の地域生活維持の支援をした。同じく、ケアホームの入居の利用者へは、ホームの世話人、エリアサポートグループの担当職員と日々連絡帳を交わしながら情報を共有し、時にはホーム訪問をして、必要な支援を実施した。

また、今年度から開始された相談支援事業により、障害者相談支援センター「うてな」との

契約をすすめ、相談員による定期的家庭訪問により、日中支援の職員では行き届かない部分への支援を受けることができた。

7) 介護体験実習をはじめとする各種実習の学生・社会人の実習生を受け入れた。引き続き社会福祉士実習指導者講習を受けた支援員を実習担当者として、新カリキュラムによる社会福祉士実習も受け入れた。昨年同様、利用者、職員共に人数が増えているので、スペース的に一度に多く受け入れることができない状況に変わりはない。

8) 通所送迎援助については、今年度はショートステイうてなによる送迎を利用することになり、1コース減らして、4種類のコースで実施した。ケアホーム入居者の週末帰宅時のみの乗車のため平日は空席が目立つ状態であり、コースの再編を検討したが、結局、大きく変えることはできないという結論になった。そのため、新しく利用を希望する方についても、送迎可能範囲を条件にしなければならなかった。

9) 日常過ごしている「班」を中心とした小グループでの行事が一層充実した年であった。これについては、高齢対応ばかりでなく、利用者の障害程度、興味、特性にも対応しやすく、日を変えて実施するので、班の担当職員以外の職員が介助しあう体制が取りやすい等々多くの利点がある。しかし、内容が発展するにつれ様々な課題も出てきた。自己負担が所属グループにより差がある。下見、職員の自己負担等の問題が次年度の課題である。

10) 高齢者介護の知識、支援方法について、今年度職員の役割の中に位置づけ、研修、研究等を実施した。介護保険の認定を受けた方も3名と増え、認知症の進行の早い方が、年度末には介護保険施設でのショートステイ利用となった。起き上がりが困難になったためである。昼間は日中施設に通わなければならない知的障害のショートステイと違い、移動の必要がない。

また、成年後見制度、社会福祉協議会の日常生活自立支援事業等の制度利用もケアホーム入居者を対象に進めた。これについては、今年度から始まった相談支援体制の整備による「計画相談」利用により、支援センター「うてな」のケアプラン作成の中での援助を受けて大きく進めることが出来た。

11) 2回目の大規模修繕の申請が通り、12月から1月末の2か月間の工期で2階の部屋、トイレ周りの改修と身障トイレの設置、外壁の塗装替え(2回目)、屋上の防水工事を実施する。高齢化対応で昨年度にエレベーター設置を実現したが、それに続いてトイレの改修と2階にも身障トイレの設置することは喫緊の課題であった。それをすぐに実現することが出来たのは本当にありがたいことであった。

12) 10月からの「障害者虐待防止法」に対しては、「虐待防止規定」に従い施設長が「虐待防止対応責任者」に、副主任支援員から「虐待防止受付担当者」を定め、法人の方針に従い利用者の呼称問題の確認、「職員倫理綱領」の読み合わせ等をし、職員への周知をはかった。さらに、個別支援計画への「行動抑制」の問題等を検討した。

その中で、年末にケアホーム入居者の体のあざが虐待と疑われるとの医師の指摘を受け、市に届出をし、障害施策推進課の虐待防止担当職員による立ち入り調査をうけた。この後利用者の身体の傷については慎重な対応に配慮した。

13) 家族会や必要性のある家族に対し、様々な情報提供、各種福祉サービスを受けるための諸手続きの支援等をおこなった。今年度は3回目の「障害程度区分認定調査」の年に当たり、

高齢の家族には大きな負担となっている。依頼があった利用者については担当職員が家族に代わって対応した。

また、相談支援体制の制度が始まり、「計画相談」「地域定着相談」について、家族と共に同席し相談事業所のケアプラン作成に情報提供などで協力をした。

- 14) 今年度、主に高齢者にみられる疾患——脳梗塞・心臓疾患・認知症等の疾患が40歳代の利用者に見られた。還暦を超える方たちも毎年あり、増えている。身体の状態については個人差が大きく、最高齢の方は大変元気で仕事に取り組んでおられる一方で、心臓発作によると思われる45才の方の急死が秋にあった。障害との関連もあり、40歳以上になればいろいろなことが起こるを考えなければならない。また介護保険施設への入所を希望される事例もある。目前に起こる出来事に対応する中で、日中支援の場としてのよりよい方向を模索し続けていきたい。

目 次

- (1) 施設概要
- (2) 利用者の状況
- (3) 就労支援事業状況報告
- (4) 利用者の職場実習及び就職実績
- (5) 年間の諸行事
- (6) げんきかつどうの実施報告
- (7) 利用者自治会の活動報告
- (8) 利用者各系の活動報告
- (9) 送迎（通所支援）の実施報告
- (10) 給食の実施
- (11) 利用者の健康管理
- (12) 防災・防火管理報告
- (13) 安全衛生委員会の報告
- (14) 事故、傷病、ヒヤリ・ハットに関する報告
- (15) 虐待防止対応についての報告
- (16) 一人暮らし及びケアホーム入居利用者の地域生活援助報告
- (17) 高齢化に関する対策研究、情報収集等の実施報告
- (18) 退所者のアフターケア実施報告
- (19) 苦情解決事業に関する報告（ご意見箱等を含む）
- (20) 法人機関紙「至心」の堺みなみページ作成報告
- (21) 学生の施設実習受け入れ状況
- (22) ボランティアの受け入れ状況
- (23) 外部派遣の職員研修報告
- (24) 地域交流実施報告
- (25) 施設間交流、加盟団体
- (26) 施設家族会との関係
- (27) 後援会との関係
- (28) 平成24年度月別特記事項

(1) 施設概要

○障害福祉サービス多機能型(大阪府指定第2716100496号)(定員65名)

・就労継続支援B型(定員12名) ・生活介護(定員53名)

○職員の配置状況

・施設長(管理者)1名 ・主任1名(サービス管理責任者を兼ねる)

・サービス管理責任者2名 (就労1名 介護1名)

・支援員 就労 2名

生活介護 15名(兼務者2名) ※5時間程度のパート職員4名含む

・事務員1名(常勤) ・栄養士(パート職員) 看護師((パート職員 1日/週)

・運転士2名(マイクロバス専任1名・兼務1名) ・調理員4名(パート職員)

・嘱託医2名(不定期)

○開所時間と休日

・月曜日～金曜日 AM 9:00～ PM 4:00(第2と第4土曜日は開所)

・祝日、8月13日～15日、12月30日～1月4日は休所

○1階に2室、2階に2室の作業室で各部屋のグループ単位で支援員を配置

2階 <生活介護1> <生活介護2>

1階 <就労継続B型支援 生活介護3> <就労継続B型支援 生活介護4>

(2) 利用者の状況 (平成25年3月31日現在)

○平成24年度の利用開始・利用中止状況

【利用開始】4/1 男性2名 女性1名(生活介護) くるみの樹から

2/18 男性1名(就労継続B型) ジョブらいふ大仙から

【利用中止】4/30 男性(就労継続B型) 他法人就労継続A型事業所へ入所

5/31 女性(生活介護) わららか草部(生活介護)へ

11/18 男性(生活介護) 死去のため

○男女別年齢別 71名: 男42名 女29名

	20才未満	20～24才	25～29才	30～34才	35～39才	40～44才	45～49才	50～54才	55～59才	60～64才	65才以上	合計
男	0	4	1	3	5	8	11	7	0	1	2	42
女	0	3	0	0	3	6	6	3	5	3	0	29
合計	0	7	1	3	8	14	17	10	5	4	2	71

【平均年齢】 男性43.3才 女性45.1才 全体44.1才

※40歳以上の利用者が全体の73%。50歳以上は29%

○男女別・障害程度別(療育手帳による)

	全体	男	女	就労継続	生活介護
A	59	35	24	7	50
B1	9	7	2	4	6
B2	3	0	3	3	1
合計	71	42	29	14	57

○ 男女別、事業別・障害程度区分

区 分	非該	1	2	3	4	5	6	合計
男	1	0	3	5	14	12	7	42
女	1	0	3	7	8	7	3	29
就労継続B型	2	0	6	4	2	0	0	14
生活介護	0	0	0	8	20	19	10	57
合 計	1	0	6	12	22	19	10	71

○ 他障害との重複状況

①精神疾患との重複	9名	何らかの精神薬服用者 28名
②身体障害との重複	18名	肢体不自由 10名 視覚障害 1名 聴覚障害 1名 言語機能障害 5名 内部障害 1名 ※個々の障害別でダブルカウントあり
③自閉症	13名	
④ダウン症	8名	
⑤てんかん	14名	

○家族の状況

- ・両親死亡 13名（男 5名 女 8名 ※この内一人暮らしの利用者 3名）
- ・片親の人 21名（母のみ 19名 父のみ 2名）
- ・80歳以上の家族 15名 75歳以上の家族 11名

○介護保険利用状況

区 分	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	合計
男					1			1
女							1	1
合計					1		1	2

○金銭管理等支援利用状況

・成年後見制度

	後見	保佐	補助
家族による	3		
第三者による	2		
合計	5		

- ・日常生活自立支援事業 利用者・・・ 2名
- ・日中活動担当職員による管理 通帳管理も含む … 2名
小遣い(現金)のみ … 6名

○地域生活支援サービス利用状況

	一人暮らし	ホーム入居者	在宅者	計
ガイドヘルプ	3	17	21	41
ホームヘルプ (家事援助)	2		1	3
(身体介護)	0	0	1	1

○利用率の状況（月別、事業別、年間の全体の利用率、％）

月 事業別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均 利用率
開所日数	22	23	23	23	22	21	24	23	21	20	21	22	22日
就労継続B型	105.3	101	99.6	97.1	95	94.8	96.8	99.2	99.2	94.5	98.8	103.4	99.8
生活介護	100	95.8	98.4	95.5	97.2	97.2	97.4	97.9	96.3	96.2	95.2	98.3	97.1
平均利用率	100.9	96.7	98.6	95.8	96.8	96.7	97.3	98.1	96.8	95.9	95.8	99.3	97.4

※定員65名

（３）就労支援事業状況報告

今年度の就労支援事業（作業）活動収入は以下のとおりである。

【収入】

- ① 受託加工事業 3,556,087円（前年度 4,128,897円）
- ② 自主製品事業 4,820,110円（前年度 5,670,575円）
- ③ フキン事業 658,010円（前年度 896,030円）
- ④ リサウクル事業 27,127円（今年度より再開）

収入合計 9,061,334円

【支出】

- ① 受託加工事業（外注加工賃含む） 134,302円（前年度 468,630円）
- ② 自主製品事業（原材料・販売手数料、等） 2,917,322円（前年度 4,034,444円）
- ③ フキン事業（原材料・販売数料等） 434,643円（前年度 800,434円）
- ④ リサイクル事業（消費税） 258円
- 利用者工賃 5,578,950円（前年度 5,909,800円）
- その他経費（車両リース料・配送料・備品、等） 390,595円（前年度 535,962円）

支出合計 9,456,070円

9,061,334（収入合計）－9,456,070（支出合計）
 ＝－394,736円（就労支援事業活動収支差額）
 工賃平均積立金の取り崩し額 394,736円

当期末在庫（商品・製品、原材料、貯蔵品）

3,818,740円（前年度より96,598円 減）

＜利用者工賃について＞

今年度の利用者工賃支払額の平均は 5,218 円（賞与含む）であった。賞与は年 3 回、2 か月分を支給した。収入は減っているが、利用者工賃については規程通り支給したので、今年度の収支は 394,736 円の赤字になっている。これについては、今まで積み立ててきた工賃平均積立金を取り崩して補った。

ここ数年は、収入が減っていく一方であり、努力はしているが今後収入の向上は見込めない。次年度より収入に応じた利用者工賃を支払うよう利用者給与規程の改定を行う。

＜受託加工作業について＞

受託加工は毎年と同様に、全体の作業の中から各利用者に合った作業を調整し、年間を通じて仕事が途切れることがないよう配慮を行った。しかし今年度は、主となるいくつかの受託加工業者の仕事の途絶える期間が長期化するケースが目立ち、前年度の総収入額と比べ 572,810 円の減額という結果となった。今後の大きな課題である重度者・高齢者も取り組める「簡易作業の確保」とともに、引き続き仕事の要望がある方に対しては作業種目を工夫しながら、不況による影響も最小限になるよう、作業の確保等を進めていきたい。

業 者 名	作 業 内 容	年間売上(円)
山高化成	ラップメイト	1,067,289
アサヒサイクル	自転車部品のプリスター入れ	177,469
旭精工	ニップルの袋入れ	79,045
シンコーハンガー	ハンガーのキャップつけ・箱折り	54,834
小林産業	ボルト、ナットのセット・ねじ箱詰め	47,595
レオニス	安全ピン等の袋入れ	78,106
平田紙工	紙袋のひも、ボタンつけ	175,585
池田商店	野球用品の袋詰め	42,500
四国アセチレン	タオル折り	69,352
水野産業	サラシふきんの縫製	408,660
振興センター	ゴミ袋、ダスターの袋入れ	60,000
ナカバヤシ	封筒の袋入れ	29,418
トゥギャザー	企業ノベルティ商品の縫製	63,000
あけぼの園	タッパー・ハンガーの組み立て	5,040
ヨネヤマ	サラシふきんの縫製	235,760
鳴尾商店	バンド、ひも切り	4,224
フジカワパックメイク	野菜の袋詰め	132,511
近畿商会	ラップメイト	722,040
ヤマト商工	プラスチック製品のシール貼り	27,559
T K M	組みひも	76,100
		3,556,087

<自主製品製作・販売活動について>

○バザー関係

今年度は27回のバザーに参加した。販売売り上げは前年から129,490円減った1,828,780円となった。

前年度と比較し健康福祉プラザなどのバザーが増えたことにより、出店回数が1回増加はしているが、新たなバザーは認知度も低く、まだ売り上げにはつながりにくい状況であり、今後はさらなる発展を目指し、各関係機関での連携が必要となってくる。

前年同様に縫製品の販売は好調で全バザーにおける縫製品の販売割合は53.5%であった。仕入れ品については現在の在庫商品を、いかに販売に結びつけていけるかが課題となってくる。縫製品については商品の生産力、品質の向上を図り、コンプライアンスを守りながら、現在の魅力ある商品を、さらに充実させて展開していくことが必要である。

今年度は月平均2回のバザーがあり搬入、搬出、販売の業務を常勤職員で行った。全職員が共通認識のもと、授産に対する意識の変化、他施設の職員との交流を促進し、障がい者の社会啓発、社会参加の意識を共有するために、非常勤職員、またはパート職員のバザー参加も視野にいれていきたい。また、今回は介助面やバザーの開催場所等の問題から、堺みなみの利用者にバザーの販売補助を通じての社会経験の機会の提供ができなかったため、今後の検討課題である。

○日本セルプ関係

日本セルプの販売は334,500円減の1,705,610円となり、前年度に続き、減少している。日本セルプのバザー自体の売り上げが下がってはいるが、定番商品のセットぐらいしか商品展開をしていないので、次年度以降も引き続き、魅力ある新商品展開を提案していく必要がある。

○アクティブエイジング関係

今年度も引き続き堺市の「授産活動活性化支援事業」を受け、NPO法人「アクティブエイジング」の経営指導を年間計4回、受けた。引き続き事業別損益表をもとに、販売活動の年間計画を立て、実績との比較をしながら状況把握や課題の確認をし、在庫の管理も定期的に行った。昨年より点数にして3,690展減った18,828展となった。今年度も前年度同様、仕入れ商品の購入を控えたため、同じような商品展開になってしまったので、来年度は新商品展開も視野に入れて、購入を検討していきたい。

また前年度に続き、堺みなみの商品独自のラッピングやポップの作成にも力を入れ、年間計10回の技術指導も受けてきた。今年度は主にセット商品のラッピングの指導を受け、取り入れてきたが、次年度は担当スタッフも変わるので、今までの流れを取り入れつつ、新しい視点での取り組みにも期待したい。

さらに今年度も堺市内でバザー販売があるときはバザー会場内全体のポップ、バザー会場のレイアウト、具体的な販売方法に関しての専門的指導を継続して受けてきた。ここ数年、継続して取り組んでいるので、来年度も一体感のある販売活動に取り組めるように指導を受けながら、一緒に考えていきたい。

○委託販売・卸販売事業関係

今年度、新規で取引を行った委託販売の事業所はなく、常設店への納品を定期的に行った。しかし、特にエプロン等の入園・入学用の商品は、どこの常設店でも同じ時期に納品の希望が重なるので、次年度は先を見据えた商品の製作に取り組んでいかなければならない。卸販売は前年度に続き、取引量は減少しているため、次年度も引き続き新規開拓の必要がある。

○サンスキットフキン製作・販売事業関係

サンスキットフキン事業に関しては今年度も販売価格の変動もなく、前年度同様に施設内販売を

中心に行ってきたが、売り上げを増収するためには毎年の課題である新規開拓が必須である。

また今年度の大阪府へのフキン販売は前年度に市内7ヶ所の事業所とエルチャレンジとのフキン会議で新しく開発されたさかいフキンを提供してきた。エルチャレンジより他の企業にも提案しやすい商品とされているので、今後は関わる他の事業所とも継続して連携し、大口受注にも対応できるようにして新規開拓と増収を目指していきたい。

○ナカナカマネットワーク関係

今年度も中区の作業所と中区自立支援ネットワークが主体となってバザー活動や啓発活動に参加し、中区の市民に対して堺みなみをアピールすることができた。バザー活動は定着しつつあり、バザー以外での活動では中区内の作業所見学や作業療法士による講座を行った。今後も連携を強めていきたい。

【バザー出店状況一覧】

バザー名	主催	期間	場所	売り上げ	手数料	入金額
福祉プラザバザー	パッセ	4/12～15	福祉プラザ	40,990	8,198	32,792
バリアフリー展	振興センター	4/19～21	インテックス大阪	199,420	39,984	159,436
福祉プラザバザー2	パッセ	5/13	福祉プラザ	4,050	810	3,240
やりパッセバザー	パッセ	5/19～20	プラット堺	67,880	13,576	54,304
さかい福祉まつり	パッセ	6/3	東雲公園	25,280	5,056	20,224
就職フェア	振興センター	7/14	インテックス大阪	15,330	3,276	12,054
堺市庁舎展示バザー	パッセ	7/31～8/3	堺市市庁舎	139,520	20,928	118,592
中区役所フェスタ	ナカナカマネット	8/25	深井中学校	8,200	0	8,200
ナイスハートバザール	わかくさ	8/31～9/2	マイカル茨木	98,520	20,544	77,976
セルフフェスタ	いずみ野	8/31～9/3	イオン泉南	195,570	39,954	155,616
中区バザー	ナカナカマネット	10/12	中区役所	17,980	0	17,980
全国ナイスハートバザール	振興センター	10/12～16	イオン鶴見緑地	105,160	10,726	94,434
赤坂台バザー	堺みなみ	10/21	赤坂台小学校	27,900	1,730	26,170
堺第2工業高校文化祭	パッセ	11/11	堺第2工業高校	8,050	1,610	6,440
ちよっくらわくわくバザー	ナカナカマネット	11/17	ビックバン	18,860	0	18,860
共に生きる障害者展バザー	パッセ	11/24～25	ビックアイ	56,060	8,409	47,651
ふれあいトゥギャザー	トゥギャザー	12/4～9	梅田スカイビル	90,580	18,536	72,044
プラザフェスティバルバザー	パッセ	12/7～9	福祉プラザ	38,460	7,692	30,768
南区ふれあいコンサートバザー	パッセ	12/15	ビックアイ	11,500	2,300	9,200
ストックホルム展	パッセ	12/19～21	堺市市庁舎	15,050	3,010	12,040
高島屋チャリティーバザール	振興センター	1/16～22	堺高島屋	66,230	13,456	52,774
堺市庁舎展示バザー	パッセ	2/19～22	堺市市庁舎	169,710	25,456	144,254
中区バザー	ナカナカマネット	2/20	中区役所	42,170	0	42,170
ハートT0ハートバザール	わかくさ	2/22～24	マイカル茨木	142,140	29,268	112,872
ハートT0ハートバザール	コスモス、パッセ	3/15～17	イオン北花田	258,920	51,994	206,926
ソロボチミストバザー	堺みなみ	3/15	アゴーラリージェンシー堺	10,050	0	10,050
鳳ダイエーバザー	トゥギャザー	3/25～26	ダイエー鳳店	4,700	470	4,230
合計				1,877,930	326,913	1,551,017

＜堺みなみ直売＞ 81,550円（前年度ー11,610円）

＜ショップ販売＞ ふれあい高槻 563,610円（前年度ー106,590円）

	パッセ	225,020円（前年度	－97,070円）
	ぶなの森	22,250円（前年度	－127,750円）
	アトリエはな	23,750円（前年度	－7,705円）
	りんごの木	159,440円（前年度	－81,790円）
	パレットひびき	3,940円（前年度	－12,080円）
	リンクみいけ	69,410円（前年度	－45,020円）
<バザー委託販売>	日本セルフセンター	1,705,610円（前年度	－334,500円）
<その他>	淀江作業所・リブ淀江	0円（前年度	－355,383円）
	ワークスサカタ	75,050円（前年度	－63,510円）
	滋賀社協	0円（前年度	－22,000円）
	大社協	12,200円（前年度	－30,100円）
	トウギャザー	0円（前年度	－42,500円）

（４） 利用者の職場実習及び施設外職場体験

当事業所の利用者の現状をふまえ、昨年度で就労移行支援事業を廃止した。しかし、就職目的に限らずひろく体験を広める意味で施設外の作業、職場体験は機会あるごとに積極的に進めたいと思う。今年度、堺市障害者就業・生活支援センターから情報をいただき、ハートコープ和泉の職場体験実習募集に応募した。就労継続支援Ｂ型事業と生活介護事業利用者から各１名が希望し、５月１３日～１５日の３日間体験実習をした。

さらに、わららか草部からの紹介で取り組んだ「いずみ小川いちご農園」での施設外職場体験実習を希望者で取り組む。付添職員の関係で、作業グループごとに数人ずつという形になったが、比較的多くの利用者が取り組める体験実習なので、来年度もより多くの利用者に体験してもらえるように続けて取り組みたい。

（５） 年間の諸行事

- ６月 ８日 わくわく大運動会（原池体育館）
- ９月２１日 秋の日帰りレクリエーション（和歌山県有田）あん班・さつき班
- １０月 ５日 秋の日帰りレクリエーション（和歌山県有田）さくら班・たんぽぽ班
- １１月 ３日 堺市スポーツ大会（大仙公園）
- １２月 ６日 堺障害者作品展見学（堺市庁舎）
- ３月 ８日 堺みなみ祭り

<各班単位での外出等班レクリエーション>

- あん班 水上バス「アクアライナー」・アンゴリーノつつじ
- さくら班 ポップサーカス鑑賞・水陸両用バス「ダッグツアー」・魚太郎
- さつき班 インスタントラーメン発明記念館・フレンチレストランガーデングリル森
関西国際空港スカイビュー
- たんぽぽ班 滝畑ダム・和泉リサイクル公園・貝塚ほの字の里・フレールドシャンソニエ
天王寺動物園・新世界・難波・心斎橋・スイーツバイキング・苺狩り・バーベキュー

<その他の行事>

- ４月～３月 「うららのお店」でのランチ
- その他、各班で作業のすいているときに、車等で近辺の公園等に出かけたりする。

（６）げんきかつどうの実施報告

今年度も前年度同様、高齢化に伴う日課、活動の見直しの中で、身体機能の維持を目的として運動を中心にしたげんきかつどうを設定した。

職員によつてのメンバー構成を行い、月２回（第２、第４金曜日）の午後行った。

① 球技、ゲーム（TMHつばきマイハート）	20名	職員6名	
② ダンス（SSAT）	17名	職員3名	ボランティア1名
③ 散歩（ウォーキング歩き隊）	19名	職員5名	
④ 室内あそび（あらし☆ジャパン）	15名	職員6名	有償ボランティア1名

来年度に向けての反省点、課題

今年度も４グループで、１グループ２０名前後で活動した。４グループの為、介助体制はバランスが良く、出張や休みが入っても活動しやすかった。

各グループで活動を色々考え、創作活動や料理を行うグループがあったり、色々な活動に取り組んでいた。

グループの中で活動に参加が難しければ、メンバーを細分化し、個々に合った活動を提供できれば良かった等の意見もあった。

次年度は、各グループの個性を生かした活動を設けていける方向を目指していく。

（７）利用者自治会の活動報告

今年度も利用者の中より選挙で選ばれた会長と、各班の班長が役員となり、６名で自治会を運営する。役員の中から副会長、書記、会計を選出する。自治会役員会は原則として月１回行い、計１２回行った。主な活動として、各係・役員の任命式、利用者の退所・職員の退職に伴うお別れ会、成人・還暦の集い、クリスマス会、夏・冬の自治会だよりの作成、節電の啓発、節分、バレンタインのチョコの配布、自治会総会を企画、主催した。

去年度の反省から、自治会の役員が主体的にやりたいことを選択できるよう、イベント前には意見を求めてきた。その結果、七夕など例年にはなかった取り組みを行うことができた。

（８）利用者各係の活動報告

- ・そうじ係 全体そうじ・大そうじの企画、告知、準備、指示、後片付け。
※全体掃除時は外回りの草取り・作業室内の清掃。大掃除時は共有スペースの清掃を行う。
- ・行事係 運動会、堺みなみまつりの司会・進行。
- ・給料係 給与・賞与の配布、給料支給状況の伝達。
- ・物品係 日用品（トイレトペーパー等）の購入・片づけ・整理・在庫チェック。
掃除用具等の点検。
- ・給食係 献立カレンダーの配布、毎月の新メニューの発表。
- ・お知らせ係 月間予定表の作成・配布、月間予定の発表と食堂カレンダーへの表記、
利用者出勤簿の作成、各種イベントの情報提供。
- ・合図係 ９時・１３時の仕事開始の合図、ラジオ体操の放送。
- ・テレビ係 食堂テレビのスイッチを入れる、切るを行う。
- ・プレゼント係 誕生日プレゼントの作成、発表、配布。

係によって人数に偏りがあったため、希望者に意向を伺い調整を行った。

希望とは違う係に就かれた方もいたが、各々が責任を持って活動されていた。

(9) 送迎（通所支援）の実施報告

送迎については、今年度も送迎対象の増加傾向と送迎地点の調整、さらに身体的な事情による別便対応などニーズの多様化が生じている。また、乗車メンバーのショートステイ利用や、グループホーム・ケアホーム利用者の週明け・週末だけの乗車など、変動が激しく空席の目立つ日も多く複雑になっている。その一方で、車両や人員など種々の制約から、送迎範囲は限界にちかづいてきており新たな送迎ニーズの対応については体制的に難しく、次年度は大幅な送迎体制の見直しをおこなう予定である。

【堺みなみ本体送迎状況】

- ・ A1、A2 コース トヨタハイエース 15名 片道約27km 所要時間 約100分
- ・ B コース トヨタコースター 18名 片道約32km 所要時間 約110分
(年度末にわらか草部のリフト付きコースターとの交換がある。)
- ・ C コース トヨタハイエース 7名 片道約15km 所要時間 約50分
(+パルちぬの里SS利用者)
- ・ うてなコース トヨタハイエース 3名 片道約7km 所要時間 約30分
(+うてなSS利用者)
※ただしこのコースは年度途中、うてなSSの送迎支援の開始に伴い廃止となる。
- ・ I コース トヨタハイエース 6名 片道約10km 所要時間 約45分

※ただし乗車人数については、CHの帰宅やSS利用の関係で日々変動あり。

(10) 給食の実施

今年度も例年のように、様々に工夫をこらし、栄養計算に基づいた給食を調理し提供した。

前年度同様8名の利用者を対象に「糖尿食」を提供し、うち1名は医師から1日の摂取エネルギーを指示されているので給食についてもその範囲内におさえた。糖尿+高血圧症の方には塩分を特に控えた給食を提供しました。また、肥満者、生活習慣病予備軍にあたる利用者18名に対しても減飯食を実施していると共に、エネルギーの摂取量を極力抑え、低カロリーメニューを実施した。

自己摂取や嚥下の困難な重度障害をもつ利用者には、主菜、副菜、汁物、の形状を1口サイズやあら刻みにし、その他、献立によって（固形物、魚等）配慮が必要な利用者についてはその都度対応した。また、全体での昼食時に、食事摂取困難な利用者には、時間帯を早めたり食事場所の移動等、できる限りの配慮をした。

また、食物アレルギーや偏食のはげしい利用者についてもその都度配慮した。

調理については、事業所において使用している食品についてはすべて入荷ルートを明確にしたもののみを使用した。また、食中毒事故発生防止のため、トイレ後、食事前には手洗い、消毒を徹底し、調理においても生ものは避け、夏期だけに限らず、年間を通じて食中毒防止に努めた。ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症発生防止についても、年間を通じて来所時や散歩などで外出して帰った際の手洗い、消毒、うがいを徹底し、各作業部屋、厨房、食堂の室内温度、湿度にも配慮して菌の浮遊や持込を極力避けるよう万全を期した。

前年度に引き続き障害福祉サービス事業「うららのお店での昼食会」を2ヶ月に1回サイクルで実施した。なお、1/25～3/8 までうららのお店のリニューアル工事に為昼食会はお休みしました。

「うららのお店」利用状況	さくら班・・・	4/11	6/11	8/9	10/3	12/20	3/21	計6回
	さつき班・・・	4/24	6/26	8/31	10/23	12/11	3/25	計6回
	たんぽぽ班・・・	4/17	6/15	8/23	10/29	12/5	3/28	計6回
	あん班・・・	5/28	7/25	9/5	11/15	1/10		計5回
								合計23回

(11) 利用者の健康管理

【定期健康診断】 10月16日 関西健康倶楽部

利用者・職員共に年1回(10月)の実施

今年度は、堺みなみの利用者でもポータブルレントゲンを使用される方がいた。

【嘱託医相談】 堺みなみ 4/5 5/23 7/25 8/17 9/21
11/14 12/14 2/8 3/21

今年度は障害程度区分認定があり、医師意見書作成が相談内容のほとんどを占めているが、成年後見制度申請のための診断書作成の依頼も増えてきている。

【体重測定】 毎月1回、原則として第3金曜日に実施

【口腔歯科ケア】 実施日と受診人数

4/24 - 28名 5/18 - 28名 6/15 - 24名 7/20 - 31名 8/17 - 29名 9/21 - 27名
10/23 - 26名 11/27 - 30名 12/25 - 28名 1/19 - 27名 2/26 - 28名 3/26 - 27名

継続して実施しているため、機械による治療を受けることができる利用者が増えてきた。
今年度は、外部受診につながり、義歯装着に至ったケースが2件あった。

【日々の取組み】

① ラジオ体操の実施(昼休み) ② 検温 ③ 座位体操(あん班で2回/日実施)

【職員による傷病受診、通院の状況】 述べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	9	7	7	11	8	8	14	8	7	8	8	8	103(99)
整形・外科	2	3	2	1	4	4	4	2	2	3	2	2	31(49)
皮膚科		1	1	1	1					1			5(11)
歯科	4	5	7	8	6	6	4	3	1	1	1	5	51(23)
耳鼻科													0(2)
眼科		1					1			1			3(9)
その他	2						1	1					4(11)
合計	17	17	17	21	19	18	24	14	10	14	11	15	197(204)

()内は前年件数

通院について

総件数が、わずかに減少(前々年度と同件数)した。これは、ガイドヘルパーでの通院が可能なケースについては、ご家族と共にガイドヘルパー利用へ結び付けて行くことができたことが、ひとつの要因であると思われる。日頃の通院をガイドヘルパー利用していると、緊急時の入院時付き添い支援にも、生かせる可能性が高くなるので、将来を見据えた支援の一つといえる。

一方で、減少幅が少ないのは、①高齢化に伴い通院件数が増えている事、②ケアホーム利用者が増え、通院に関わることが増えている事が、要因であろう。

それらを踏まえ、全体で取り組む通院支援体制の整備が、今後必要である。

(12) 防災・防火管理報告

今年度も7月(自主訓練)と3月(中消防署立会いによる総合訓練)に、火災を想定した消防避難訓練を実施した。今後も計画的に、またより日常にそくした訓練の実施が引き続き必要である。また、今後の大きな地震を想定した地震避難訓練を5月に実施し避難だけでなく、逃げ遅れ・けが人設定もおこなより実践的な形での訓練をすることが出来た。次年度もしっかり年間計画をたて余裕をもって取り組んでいきたい。

・法人防災会議への参加

実施日： 4/19 5/31 6/20 7/23 8/23 9/12 11/14 1/23 2/20

取組内容： 利用者非常用携帯薬(3日分)の周知と整備 防災備品の購入・整備。

緊急連絡先・避難場所一覧の整備。携帯用個人情報カードの整備防災研修への参加。

備品・連絡先などを整備していくことができ、大きな一歩となった。また、職員の防災に対する意識が高まりつつある。さらに、利用者・家族・法人の3者で防災意識を高めていけるよう、来年度には「防災通信」などの防災情報の提供に取り組んでいく予定である。

また、堺市の福祉避難所募集に応じ、法人内他の事業所とともに指定をうけた。

(13) 安全衛生委員会の報告

安全衛生委員会については、今年度も引き続き害虫駆除(7/28)や、感染症・インフルエンザ対策に取り組んだ。プリントやポスターによる注意の喚起とあわせて、利用者への手洗い支援等を実施した。法人内の他事業所で感染症等が発生した場合には、職員での情報共有と感染対策について確認を行い、検温等の徹底を行った。今年度はインフルエンザを発症する利用者はいたが、感染が広がりインフルエンザが大流行することはなかった。また、職員会議において「傷病記録」「ヒヤリハット報告」を読み上げ、全職員での確認を行うとともに、改善、対策の必要なものに対してはその都度検討を行った。さらに、今年度からの新しい取り組みとして、定期的に事業所内の机・椅子等の点検を行い、故障等があれば修繕・交換を行った。

(14) 事故、傷病、ヒヤリ・ハットに関する報告

施設内外での事故と傷病やヒヤリ・ハットの事例を、今年度も各報告書類に記録していき、事故の再発防止に努めた。また利用者の高齢化の傾向もあるが、施設の職員体制のあり方を含め、総合的な観点から改善をしていかなければならない問題や課題についても、さらに考えていかなければならないと思われる。

今年度、「事故、傷病記録」の基準を広げ、通院、手当等なくとも、転倒があれば「事故、傷病記録」へとしたところ、「ヒヤリハット」記録が出なくなってしまった。これについては今後の課題である。

＜事故・傷病の内容＞ 報告数 19件

・転倒(物を持っている際、送迎乗車時、階段)	8件
・送迎車乗降時	3件
・点呼不足	2件
・バスミラーで打つ	2件
・その他(扉はさむ・薬忘れ・送迎車事故・嘔吐)	各1件

＜苦情要望の内容＞ 報告数 13件

・送迎について	4件
---------	----

・配布物について	3件
・駐車車両について	2件
・支援方法について	2件
・外部サービスについて	1件
・車両運転中について	1件

（１５）虐待防止対応についての報告

１０月から施行された「障害者虐待防止法」をうけて法人としてあらたに示された「職員倫理綱領」を読み合わせ職員に周知するとともに、職員業務振り返りシートの記入も実施した。虐待防止受付担当者も決めて法人内の担当者会議に参加し、話し合われた内容を職員会議で報告検討等行った。

「虐待防止受付担当者会議」の話し合いに基づき、下半期からの個別支援計画に「行動抑制」が必要ながあり得ると思われるケースに「安全確保」の項目で記載するとともに、全利用者にこれに関する同意をお願いする文書を出した。

10/10に利用者に集ってもらい、「障害者虐待防止法」の説明をした。内容を簡単にしめしたプリントを用意したが、いくつかある虐待の内容を理解してもらうのはやはり難しかった。とくに利用者に対する呼び方を、職員が「ちゃん」「くん」づけはこれからやめるということを強調して伝えた。

１２月に身体にあざが虐待を思わせる事例が発生し、医師の指摘もあって、市の担当課に届け出た。12/19にこの件に対する実地調査を受けたが、その後とくに連絡なく、虐待という取扱いにはならなかったようだ。この件を通じて、体の傷、あざ等への対応のむずかしさを感じるとともに、きめ細かな確認が必要と思われる。

（１６）一人暮らし及びケアホーム入居利用者の地域生活援助報告

今年度も一人暮らしの利用者、及び家族の援助を受けられないケアホーム入居者への生活援助を下記のように実施した。

- ◎ 生活費の管理（（社福）障友会利用者預り金管理規定に基づいて生活必要分を預金から下ろす）
- ◎ 小遣い帳のチェック（食費、小遣いの２種）
- ◎ 必要時の訪問
- ◎ 生活指導（掃除、片付け、休日の予定決めなど）
- ◎ 休日の予定のチェック（電話にて確認・ガイドヘルパーの手配、調整）
- ◎ 通院同行
- ◎ その他（健康管理・家族との連絡など）

以上を主な援助として行った。

ケアホーム入居者については、エリアサポートグループの担当職員や世話人と連絡帳等で常に情報を共有し、連携をとって実施した。必要に応じて、ホーム会議、ケースカンファレンスにも出席した。

一人暮らしの利用者については、今年度は、地域生活支援センターうてな（計画相談）と連携を取り、援助を行った。引き続き、担当職員を中心に取り組んでいきたい。

（１７）高齢化に関する対策研究、情報収集等の実施報告

今年度より、上記の件について施設内で研究チームを作った。取り組み初年度であったので、職員間での、情報収集に重点を置き、①所内研修 ②他施設の見学、を中心に行った。

- ① ８月３日（金） 「Ｙさん介護保険利用ケースについて」 発表者：小谷

介護保険と自立支援法併用している場合の、優先順位や費用負担について事例を通して

学ぶ。保険適用優先順位について知ることができた。

9月7日(金) 「高齢と健康について、利用者の健康状態」発表者:小牧

高齢になるとおこりやすい疾病について学ぶ。また、健診結果等から個々の利用者について、健康上注意を要するケースを具体的にあげてもらった。

11月2日(金) 「日常生活自立支援事業について」発表者:金銅

実際利用されているケースを通して、日常生活自立支援事業の具体内容を学ぶ。

利用には、本人の意思確認が必要で判断能力が求められる事や、緊急ケースが優先利用になるので、役所や支援センターなど機関を通すことが、スムーズな利用になることを知った。

② 6月29日(月) 「シャローム 匠」見学 参加者:海谷・田中・東・穂山

仕事をする高齢デイサービス。レクレーションだけでは、日中活動の限界がある場合を知った。

9月11日(火) 「かなびの丘」見学 参加者:海谷・東・穂山

利用者生活預かり金の管理について学ぶ。後見人の利用を勧めていること、金銭管理は1900円/月で行っていることを知った。だが、日常の小遣い金出納は、現場スタッフが行っていた。そのチェックを「かなびの丘」がされていた。

10月24日(水) 「美樹の園デイサービス」見学 参加者:築山・小谷

高齢者デイサービスを見学し、現場で使えるレクレーションについて学ぶ。

セラバンドという、レクレーショングッズを知り、購入をした。

2月28日(木) 「介護保険の学習会」 参加者:東・中村・小谷・穂山

(福)コスモス ゆいの里主催の研修会

・所内研修では、実例を通して発表を行ったので、具体的でイメージがしやすかった。今後、似たケースがあった時に、誰に相談すればよいのかも、皆で共有できたことも、これからの支援につながるのではないかと。次年度は、「成年後見について」「薬について」「レクレーション技法」「身体介護支援の方法」など知りたいとの声が上がっている。

・他施設の見学では、普段見られない高齢分野を知ることができ、良かった。そこから、将来のヒントを得られる機会となった。今後は、現状ケースで、利用につなげていけるような施設を開拓し、見学していきたい。

(18)退所者のアフターケア実施報告

今年度も施設退所者のアフターケアについては、元の担当職員を中心に各機関と連携しながら、「堺みなみ」との関係性を可能な限り継続していけるよう支援を行った。退所して5年になるが在宅のままのTさんについて、昨年度に引き続いて退所当時の担当者が当施設の機関紙を手渡しする形で3ヶ月毎に1度家庭訪問をし、近況の確認、ニードチェックを続けた。また、いつでも相談をかけていただけるように声をかけた。

元の担当職員異動に伴い、引き継ぎ期間を経て、通所時に直接関わりがなかった職員が関わるようになった。その為か、ご家族が家庭訪問されることに少し抵抗を感じておられる様子が見受けられた。

(19) 苦情解決事業に関する報告(ご意見箱を含む)

今年度は、地域住民の方から、駐車車両についての苦情要望を受けた。それに伴い、民間駐車場を新たに借りて対応をした。施設周りの駐車車両が無くなったと同時に、施設敷地内のスペースが広くなり、利用者さん達が休憩時間に過ごす場所を広くすることができた。

〈苦情要望内容〉 13件

(利用者・家族から)

・送迎車の空調について	1件
・送迎担当の名札携帯について	1件
・送迎車内について	2件
・配布物について	3件
・支援方法について	2件
・ショートステイ利用に関して	1件

(近隣・地域から)

・駐車車両について	1件
・車両運転中の携帯電話利用について	2件

(20) 法人機関紙「至心」の堺みなみページ作成

今年度も法人の機関紙としての「至心」に担当者を派遣し、発刊業務にたずさわる。今年度から事業所ごとに1ページのスペースをもらうやり方になった。「堺みなみ」内の3か月の動き、行事やバザー関係など伝えさせてもらった。

(21) 学生の施設実習受け入れ報告

社会福祉士相談援助実習は、昨年に引き続き、経過措置期間ではあるが、新カリキュラムでの実習生を受け入れた。今年度も昨年度同様の実習プログラムを取り入れ、体系的に実習指導を行うことができた。また、今年度は新たに保育実習の相談援助実習の受け入れも行った。

介護等体験実習も、体験だけにとどめず講義も取り入れ、充実した内容にすることができた。

しかし、通常業務と実習対応を並行して行う必要があり、これ以上の実習内容には限界が予想される。

どの実習も、物理的なスペースの点で制約はあるが、人材確保・育成のためにも施設として可能な限り受け入れを図ることができればと思う。

(社会福祉士実習)

・日本福祉大学	8月1日～11月30日(1名)
・桃山学院大学	8月1日～9月6日(1名)

(保育実習)

・大阪保育福祉専門学校	1月28日～2月8日(2名)
-------------	----------------

(介護等体験実習)

・京都女子大学	10月15日～10月19日(2名)
	10月22日～10月26日(2名)
	10月29日～11月2日(2名)
・京都教育大学	11月12日～11月16日(2名)

(その他実習)

・ニッソーネット

4月26日～5月9日(1名)

4月26日～6月5日(1名)

(22) ボランティアの受け入れ状況

今年度のボランティア受け入れ状況は以下の通りである。

① 作業援助

個人の方 . . . 年間のべ 28名

② げんきかつどう . . . 年間のべ 17名

③ NPO法人光輝による光輝温術法 . . . 年間のべ 34名

④ 施設行事への援助・適宜以来 . . . 年間のべ 6名

⑤ 土曜通所日のレクレーションボランティア . . . 年間のべ 40名

年間のべ人数 125名 年間のべ日数 67日

尚、今年度も引き続き、堺市社会福祉協議会の「ボランティア体験プログラム事業」、及び「大阪ボランティア協会 kvネット」の申し込みを行ったが、いずれも応募はなかった。年々、ボランティアの確保が困難になってきているので新しい展開も考えていきたい。

(23) 外部派遣の職員研修報告

○堺市社会福祉協議会堺障害児(者)施設部会の研修会〈実践交流会〉

24年度テーマ

「寄り添う支援を考えよう——その人らしさに着目した生活支援を考える——」

・11/9(金) (於:堺市総合福井会館)

講演会 講師 深水 清氏 (訪問看護ステーション セレーノ 理学療法士)

・2/17(金) (於:堺市総合福井会館)

分散会 テーマ別事例発表

○その他

- ・大阪府指定障がい福祉サービス事業者等集団指導(海谷、藤本、中村、林 4/20)
- ・大社協セルフ部会コンプライアンスセミナー(東 5/14、9/10、10/15)
- ・自閉症eサービス研修(坂本・岩渕・大川 年数回土曜日内容によって参加)
- ・自閉症eサービス公開講座(坂本 5/12)
- ・大阪府社会福祉協議会新任職員研修(宮崎 5/16、5/28)
- ・マッセ市民セミナー「障がい者の自立支援と成年後見制度」(田中、金銅 6/12)
- ・堺市社会福祉施設協議会総会(海谷 6/19)
- ・大阪知的障害者福祉協会総会・研修会(田中、吉田、宮崎 6/22)
- ・堺市社会福祉法人、施設指導監査説明会(海谷、藤本 6/25)
- ・トウギャザー研修「積水ハウス、ノベルティ商品製造について」(岩渕 7/4)
- ・大阪府社会福祉協議会「個別相談援助技術研修」(東 7/19、8/6、8/23)
- ・てんかん協会「てんかん基礎講座」(大川 7/26、東 7/27)
- ・大阪府平成24年度障がい者虐待防止・権利擁護研修(海谷、築山 8/8)
- ・大阪府平成24年度障がい者虐待防止・権利擁護研修分野別演習管理職コース(海谷 8/17)
- ・平成24年度社会福祉法人会計研修(中村 8/22、8/29、9/5、9/12)
- ・大阪府平成24年度障がい者虐待防止・権利擁護研修分野別演習従事者コース(築山 8/31)
- ・大阪府社会福祉協議会福祉専門職講座中堅職員研修(築山 9/11、9/18)
- ・自閉症eサービス4days トレーニングセミナー(坂本 9/13、14、15、16)

- ・会計簿記研修(中村 9/19、26)
- ・大阪知的障害者福祉協会研修「人材確保・育成を考える」(稷山 10/16)
- ・大阪府社会福祉協議会新任職員研修(大川 10/18、10/31)
- ・堺障害フォーラム第4回集会(海谷、稷山、岩渕 11/6)※利用者5名参加
- ・堺市感染症予防対策講習会(稷山 11/15)
- ・コスモス主催「介護保険と障害福祉サービス」(小谷 12/12)
- ・サービス管理責任者全体研修(築山 1/18)
- ・堺市授産事業活性化セミナー(岩渕 1/29)
- ・サービス管理責任者研修「生活介護」(築山 1/30、1/31)
- ・近畿セルフ研修会 和歌山(吉田 2/8)
- ・サービス管理責任者研修ファシリテーター研修(坂本、稷山、東 2/14、2/15)
- ・ビッグアイ福祉避難所解説訓練(稷山 2/22)
- ・ピース主催「防災ワークショップ」(稷山 3/7)
- ・エル・チャレンジ工賃引き上げ作成説明会計画シート(吉田 3/19)
- ・大阪府社会福祉協議会平成24年度障がい児者施設課程リーダーズコースⅡ(東 3/21)
- ・第2回堺市経営パラリンピック(岩渕 3/24)

(24) 地域交流実施報告

地域交流については地元の平井中学校より、職業体験学習の依頼があった。支援学級の生徒が、作業所の雰囲気を体験したいとの事で、先生2名と体験された。

大規模修繕時には、堺みなみ施設近隣に工事開始の挨拶を兼ねて、施設パンフレットの配布を行った。今後施設と地域が共に協力し合えるような関係になっていくことが、課題の一つである。

(25) 施設間交流、加盟団体

今年度も年度当初の運営方針に従って以下の関係諸団体や組織に加盟。必要に応じて職員を派遣し、活動に積極的に参加した。

- ① 大阪府社会福祉協議会 セルフ部会
- ② 大阪授産事業振興センター
- ③ 全国社会就労センター協議会・近畿社会就労センター協議会
- ④ 堺市社会福祉協議会 堺市社会福祉施設協議会(堺障害者児施設部会)
- ⑤ 日本知的障害者福祉協会・大阪知的障害者福祉協会
- ⑥ 全国重症心身障害児(者)を守る会(大阪府重症心身障害児(者)を支える会)
- ⑦ 堺障害フォーラム(SDF)
- ⑧ 堺障害者(児)施設・事業所運営連絡会(障運連)
- ⑨ パッセネットワーク
- ⑩ NPO法人トゥギャザー
- ⑪ ナカ・ナカマネット(中区作業所交流会)

職員派遣会議

- ・大阪府社会福祉協議会セルフ部会(吉田 偶数月の第3水曜日)
- ・堺市社会福祉協議会堺障害児(者)施設部会(施設長・主任 原則偶数月の第2木曜日)
- ・堺市社会福祉施設協議会中区地域交流会(稷山 2/26、)
- ・堺市社会福祉協議会堺障害児(者)施設部会研修会議(岩渕 毎月1回)
- ・堺障害児(者)施設・事業所運営者連絡会、同日中活動部会(施設長 不定期)

- ・大阪知的障害者福祉協会日中活動支援部会(稚山<評議員対象>宮崎<幹事対象>各隔月1回):
- ・パッセ担当者会議・同事務局会議(吉田 毎月1回) ※事務局を担う
- ・堺市の新障害程度区分認定審査会に委員として職員を派遣(主任支援員 隔月1回)
- ・大阪遊戯業組合ブロック会議(不定期 吉田)
- ・就労移行支援事業者連絡会(就労支援員<東>・就労サービス管理責任者<築山> 毎月1回)
- ・堺・障害者(児)の生活の場を考える会(吉田 毎月1回)
- ・サンスキットフキン会議(不定期 東)
- ・中区作業所交流会<ナカ・ナカマネット>(隔月 岩淵・坂本)

(26) 施設家族会との関係

今年度も家族会には、施設運営に関して様々にご協力をいただいた。

5月の家族会総会、並びに毎月第1水曜日の定例家族会に、施設長と主任支援員が出席し施設運営等について意見交換、情報提供などを行った。

今年度の家族会の施設見学は前年度末開所した法人内の「ケアホームなでしこ」見学(6/6)に行った。連絡等の準備と当日のマイクロバス送迎の支援を施設としておこなった。

例年のように家族会から施設行事(クリスマス・堺みなみまつり)と利用者の傷害保険加入金などの資金的援助を受けることができた。

今年度も授産活動として参加していた「中区フェスタバザー」の販売補助をしていただいた。

昨年に続き家族会への参加者が減ってきているが、参加されない方でも、「家族会たより」による情報を頼りにして、家族同士のつながりを確認されている。何かのときに頼る場所として「堺みなみ」に寄せる想いは引き続き強い。活動を続けていることの大切さと責任を感じる。

(27) 後援会との関係

今年度も引き続き、当施設職員が事務局を担当した。

(28) 平成24年度月別特記事項

< 4月 >

- 2日 新年度の開始
- 7日 利用者Yさん一周忌
- 5日 ドクター相談／法人職員ビギナーズ研修(わららか草部にて)
- 6日 GH・CH世話人研修会(わららか草部にて)
- 10日 法人職員ビギナーズ研修(わららか草部にて)
- 12日 法人職員ビギナーズ研修(わららか草部にて)
- 14日 土曜通所日／家族会総会・成年後見制度について家族勉強会／Nさん父死去(15日通夜 16日告別式)
- 16日 Nさん平井ホーム入居／F.Kさんケース会議(中区役所 田中・小谷出席)
- 20日 大阪府指定障がい福祉サービス事業者集団指導
- 23日 ポップサーカス観賞(さくら)
- 24日 後援会役員会
- 25日 利用者自治会総会／Y.Sさんケース会議(中区 海谷・金銅・築山出席)
法人職員ビギナーズ研修(わららか草部にて)／大阪府工賃向上計画支援事業説明会
- 26日 ニッソーネット実習2名(～27日)
- 28日 土曜通所日
- 30日 Iさん就労継続A型事業所へ入所のため退所

< 5月 >

- 1 日 利用者、職員新年度班体制スタート
- 2 日 たんぽぽ班外出(大阪ガス科学館)
- 7 日 ニッソーネット実習1名(～9日) / 利用者の班異動日(たんぽぽ, さくら→あん各1名)
- 8 日 Nさん肺・心臓に水が貯まっておられ、ベルランド病院に入院(～5/27退院)
法人職員ビギナーズ研修(わららか草部にて)
- 9 日 法人職員ビギナーズ研修(わららか草部にて)
- 11 日 アクティブエイジング技術指導
- 12 日 土曜通所日 / ふれあいホームつつじ開所式(海谷)
- 13 日 Kさん・Mさん職場体験実習ハートコープいずみ(～15日)
- 14 日 法人内部奥野監事監査
- 15 日 法人職員ビギナーズ研修(わららか草部にて)
- 16 日 利用者自治会会長選挙
- 17 日 法人内部上溝監事監査
- 21 日 地震避難訓練
- 22 日 法人職員ビギナーズ研修(わららか草部にて)
- 24 日 利用者自治会役員および各係り任命式
- 26 日 土曜通所日 / 障友会後援会総会(総合福祉会館)
- 29 日 泉北支援学校家族見学 / 理事会、評議員会
- 30 日 N.Sさん退院ケース会議(ベルランド病院 穂山)
法人職員ビギナーズ研修(わららか草部にて)
- 31 日 Fさん退所・6/1付でわららか草部へ異動

< 6月 >

- 1 日 ニッソーネット実習1名(～5日)
- 6 日 家族会见学会(ケアホームなでしこ)
- 7 日 法人職員基礎(初任者)研修(わららか草部にて)
- 8 日 わくわく大運動会(原池体育館)
- 9 日 土曜通所日(手話ダンスゆうゆう)
- 11 日 せんぼく支援学校生徒実習(2名:～12日)
- 13 日 せんぼく支援学校生徒実習(2名:～14日)
- 14 日 法人全体研修(わららか草部にて)
- 15 日 たんぽぽ班外出(滝畑ダム)
- 18 日 アクティブエイジング経営指導
- 19 日 I.Eさんケース会議(中区 穂山出席)
- 20 日 せんぼく支援学校生徒実習(2名:～21日)
- 22 日 新廃品倉庫が設置
- 25 日 送迎うてなコース廃止、一部別便に統合
- 28 日 法人内リーダーズ研修(わららか草部にて)
- 29 日 さくら班外出(とんぼ池公園) / 高齢施設見学(シャローム)

< 7月 >

- 1 日 創立記念日(28回目)
- 2 日 Uさん貧血のため耳原病院入院(～10/10退院) / 中消防署立ち入り点検

- 5日 自治会七夕の集い
- 9日 たんぽぽ班レクレーション(流しそうめん)
- 10日 法人職員ビギナーズ研修(わららか草部にて)
- 13日 アクティブエイジング技術指導
- 14日 土曜通所日(PM山本一美先生とじゃんけんぽんの歌の会)
- 18日 法人職員スキルアップ研修(わららか草部にて)
- 20日 消防自主避難訓練
- 23日 いきいき堺市民大学見学実習4名
- 24日 法人職員スキルアップ研修(わららか草部にて)
- 27日 理事会・評議員会
- 28日 土曜通所日(AM夏祭り)
- 30日 いきいき市民大学見学実習4名／せんぼく支援学校生徒実習(1名:~31日)

< 8月 >

- 1日 社会福祉士実習(桃山学院大学生1名~9/7)
- 2日 社会福祉士実習(日本福祉大学生1名~11/29)／せんぼく支援学校生徒実習(2名:~3日)
- 7日 アクティブエイジング経営指導
- 9日 さくら班Hさんうらら外食に合わせ久々の通所
- 11日 土曜通所日(マジックレインボーと手品と風船アート)
- 13日 夏期休暇(~15日)
- 21日 N.Sさんケース会議(中区役所 吉川・田中出席)
- 25日 土曜日通所日(ビデオ会)
- 30日 障害程度区分認定審査会事前研修(前任者引き継ぎのため・稷山)

< 9月 >

- 6日 たんぽぽ班外出(滝畑ダム)
- 8日 土曜通所日(PM大正琴レディース)
- 10日 職員Tが産休に入り、パートスタッフ1名入る
- 11日 法人職員ビギナーズ研修(わららか草部にて)／かんなびの丘見学
- 14日 14~15時、激しい雷雨の為、自力通所者・ホーム利用者を送迎対応で帰宅してもらう
- 18日 理事会・評議員会
- 15日 法人職員スキルアップ研修(わららか草部にて)
- 21日 日帰りレクレーション(あん・さつき班)
- 25日 法人職員スキルアップ研修(わららか草部にて)
- 27日 法人職員スキルアップ研修(わららか草部にて)
- 29日 土曜日通所日(ビデオ会)

< 10月 >

- 4日 敷地内剪定(シルバー人材センター)
- 5日 日帰りレクレーション(さくら・たんぽぽ班)
- 10日 虐待防止法について利用者への説明会／U.Cさんケース会議(西区 海谷・稷山・阪本)
- 11日 法人内リーダーズ研修(わららか草部にて)
- 13日 土曜日通所日(ビデオ会)

- 16日 定期健診／Uさん退院後の初通所
- 18日 Nさんケース会議(東区 海谷・築山)
- 19日 理事会・評議員会
- 22日 厨房グリスストラップ清掃／介護等体験実習2名(～26日)／堺市実地指導
- 23日 Iさんケース会議(堺みなみ 築山)
- 24日 高齢者施設見学(美樹の園 築山・小谷)／家族会新倉庫設置
- 27日 土曜通所日(桜太鼓)
- 29日 介護等体験実習2名(～29日)／大規模修繕現場説明会／
たんぽぽ班外出(リサイクル公園)
- 30日 泉北支援学校家族見学

<11月>

- 1日 感染症予防強化月間(～3月)
- 2日 中区基幹型相談支援センター見学
- 3日 祝日開所日。堺市障害者スポーツレクリエーション大会参加(希望者42名)
- 5日 インフルエンザ予防接種実施(みやわき医院往診・実施者33名)
- 6日 堺障害者フォーラムSDF第4回集会(利用者5名・職員3名参加)
- 7日 サービス管理責任者研修(全体研修1日目 林)／
介護体験実習(大阪体育大学2名～11日)／
社会福祉士相談援助実習(～22日 人間科学大学1名)
- 8日 パート職員会議をスタート(今後、第2火曜日に実施)
- 9日 アクティブエイジング技術指導／実践交流会
- 12日 いちご農園施設外作業体験／介護等体験実習2名(～16日)
／インフルエンザ予防接種(ホーム入居者22名)
- 14日 たんぽぽ班レクリエーション(ほのじの里)
- 15日 さつき班レクリエーション(チキンラーメン館)／大規模修繕入札日／
Nさん卵巣腫れのため入院(堺市民病院～11/25退院)
- 16日 あん班レクリエーション(アクアライナー)／
Oさんケースカンファレンス(堺みなみ宮崎)
- 18日 Nさん自宅にて急死される(19日通夜 20日告別式:あん班利用者参列)
- 20日 和泉支援学校家族見学
- 21日 法人職員スキルアップ研修(わららか草部にて)
- 22日 泉北支援学校家族見学
- 23日 農業祭バザー(堺みなみ家族会による後援会資金活動)
- 24日 土曜通所日(WEST WINDギター演奏)
- 26日 いちご農園施設外作業体験
- 27日 法人職員スキルアップ研修(わららか草部にて)
- 29日 たんぽぽ班レクリエーション(天王寺動物園)
- 30日 Uさんケースカンファレンス(西区 阪本)／大規模修繕について利用者向け説明会

<12月>

- 3日 大規模修繕工事着工
- 4日 家族会忘年会
- 8日 土曜通所日(ビデオ会)
- 17日 Nさん退院後初通所
- 18日 Iさんケースカンファレンス(中区 坂本)／ショートステイ問題抗議行動参加

- 19日 実地指導調査
- 20日 消防点検／たんぽぽ班レクリエーション(難波方面)
- 21日 クリスマス会／Iさんケースカンファレンス(中区 築山・穂山)
- 22日 土曜通所日(ビデオ観賞会)
- 27日 あん班忘年会
- 28日 年内作業納めの日、大掃除／さつき班・さくら班・たんぽぽ班忘年会
- 29日 冬期休暇(～1/6)

< 1月 >

- 7日 新年作業始め
- 11日 アクティブエイジング技術指導
- 12日 土曜通所日(ビデオ観賞会)
- 16日 法人職員スキルアップ研修(わららか草部にて)
- 17日 成人・還暦の集い(利用者自治会主催)
- 18日 たんぽぽ班レクリエーション(天王寺方面)
- 22日 法人職員スキルアップ研修(わららか草部にて)
- 23日 新規利用者説明会(わららか草部にて)
- 25日 Uさんケースカンファレンス(西区 阪本・穂山)
- 28日 大阪保育福祉専門学校実習2名(～2/9)
- 29日 Nさん草津総合病院入院に備え、本日より長期欠席に(1/31手術)
- 30日 サービス管理責任者研修(介護分野～1/31築山)

< 2月 >

- 1日 節分行事(利用者自治会主催)
- 4日 わららかマイクロバス(リフト付き)と交換し、運行開始
大規模修繕工事竣工検査
- 5日 Aさん堺みなみ体験実習(～2/8)
- 6日 Nさん退院され自宅療養開始
- 7日 中長期検討委員会報告 利用者向け説明会
- 8日 近畿セルフ研修会IN和歌山(吉田)
- 9日 土曜通所日(ビデオ鑑賞会)
- 13日 平井中学校体験実習(1名)／利用者自治会バレンタインの会
- 14日 大阪府サービス管理責任者研修ファシリテーター派遣(～2/15穂山・東・坂本)
- 15日 堺障害者児施設部会第2回実践交流会(堺市総合福祉会館)
- 18日 Aさん就労継続B型事業 正式利用開始
- 22日 福祉避難所開設訓練研修・ビックアイ(穂山)
- 23日 土曜通所日(ビデオ鑑賞会)
- 25日 わららか祭り→わららか草部でインフルエンザ発症ありで参加中止
- 26日 中区地域交流会議(穂山)／堺市授産製品コンクール本審査
- 27日 生活の場を考える会・LSA見学会(吉田)
- 28日 介護保険に関する学習会(中村・穂山・東・小谷)

< 3月 >

- 1日 アクティブエイジング技術指導
- 2日 自閉症eサービス実践報告会(坂本)
- 5日 中区交流会(岩淵・坂本)

- 7日 ピース・防災ワークショップ(稷山)
- 8日 堺みなみ祭り・Mさんを偲ぶ会(くるみの樹と合同行事)
- 9日 土曜通所日(山本一美先生とじゃんけんポン)
- 11日 和泉小川いちご農園体験(利用者5名・職員2名)／新設ホーム準備会(海谷・藤本)
- 12日 消防立ち合い総合避難訓練
- 13日 苦情解決第三者委員報告会(海谷・稷山)／Iさん介護保険ショートステイ2泊3日利用
- 14日 虐待防止受付担当者会議(海谷・林・築山)／
実践交流会実行委員会(岩渕)／生活の場を考える会(吉田)
- 18日 和泉小川いちご農園体験(利用者3名・職員2名)
- 19日 工賃向上計画シート説明会(吉田)／臨時総括会議
- 20日 堺市障害者施設経営フォーラム(岩渕)
- 21日 大阪府社会福祉協議会リーダーズコースⅡ研修(東)／
泉北支援学校先生との引き継ぎ会
- 22日 新採用職員オリエンテーション(海谷)
- 23日 土曜通所日(レディバーズさん大正琴)
- 25日 新規利用者2名実習(25・26日)／理事会評議員会
- 26日 アクティブエイジング経営指導／送迎会議／30周年記念事業会議
- 28日 さつき班レクレーション(関西国際空港スカイビュー)／法人研修委員会(大川)
- 29日 深井清水町更生保護女性会見学(10名)／退職辞令交付

定例行事

- ・毎月第3金曜日 身体測定
- ・毎月第3木曜日特定非営利法人「光輝」スクールのボランティア活動による温熱施術
- ・毎月第3火曜日業者による口腔ケア
- ・毎月第2・4金曜日PM1:00～2:30「げんきかつどう」
- ・毎月第2木曜日AM9:00～9:30 全体そうじ(主に草抜き)
- ・隔月1回外食日「うららの日」(各班ごとに)

施設・法人内定例会議

- ・毎月第1金曜日夕 職員会議／安全衛生委員会
- ・個別支援計画書作成およびモニタリング会議
生活介護グループ、就労継続支援グループ(9月・3月の第1金曜日夕)
- ・毎月第1水曜日AM 堺みなみ家族会(施設長・主任出席)
- ・毎月末火曜日の夕 障友会連絡会(法人全体 主任級以上出席)
- ・法人管理職会議(不定期 施設長以上出席)
- ・毎月1回中長期計画検討委員会(9月～ 法人全体 管理者以上・事務局員出席)
- ・至心会議(発行月に 各事業所担当者出席)
- ・防災会議(6月～毎月1回 各事業所担当者出席)
- ・法人研修委員会(不定期 担当者2名出席)
- ・虐待防止受付担当者会議(11月から隔月開催 施設長、担当者出席)
- ・新設ホーム設立準備会(10月から毎月1回 施設長出席)
- ・30周年記念行事企画会議(11月から不定期 担当者出席)

平成24年度（2012年度）－第11期－ わららか草部事業報告書

（運営の概要）

- 1) 施設経営の安定のため、今年度も月2回の土曜日通所（第2、4土曜日）を継続した。利用者、ご家族のご理解とご協力を得た。多くの個人、団体のボランティアのご厚意とご支援（演奏会、踊り、マジック等の鑑賞）を受けることができた。ソフトボール大会に向けての練習も公立の学校をお借りして練習を実施した。季節に応じたプログラム（流しそうめん、カキ氷、ポップコーン、焼き芋等）も実施した。
- 2) 利用者の「作業」の確保に尽力した。企業などからの受託作業がもっぱらで今年度もオリジナルな作業活動は実現しなかった。「工賃向上計画事業」を活用し、「工賃引上げ計画シート」を作成する。作業を確保できたものの、利用者工賃も低位なままで一層の検討、研究を要する。
法人内でリサイクル活動に昨年度よりとり組み、ご家族のご協力のもとリサイクル用品を回収。係活動の一環として、廃品係が整理、堺みなみへの運搬等をにない、その収益を工賃として支給させて頂く。
- 3) 就労継続B型事業の利用者を中心に、職場体験実習（施設外支援）を定期的に継続することが出来た。今年度も相手先のご理解を得て隣市のいちご農園の小川農園、福本青果の筍の水煮作業の実習が実現した。利用者の意欲の向上につながるが、夏季の実習で体調を崩された人があり、配慮不足が課題となる。
- 4) 日中活動の一つにレクリエーション活動を定期的、季節に応じた活動を取り入れ、利用者の余暇活動の充実となり、利用者の方に楽しんで取り組んで頂けた。（行事、クラブ、散歩、園芸、創作、ビデオ鑑賞、りみちゃん体操、エアロビクス、各班の取り組み等）
- 5) 重度の利用者に対して、日々の様子、健康状態に注意しながら、食事、排泄、入浴、移動、着脱等介助支援を個別に実施した。異常に気が付いた際はご家族に連絡した。
- 6) ご家族、利用者の高齢化、利用者の重度化に伴い、またケアホームの利用の増加に伴い、定期的、緊急的な通院同行、受給者証のためのドクターの意見書作成等、通院支援の機会が増加した。（下記の表参照）通院支援の増加に伴い、今後の支援体制が課題となる。
- 7) 生活の場において、多岐にわたる支援（サービス）を必要とする利用者に関して、他事業所（相談支援、居宅介護、介護保険等）や公的機関、医療機関をふくめてのケース会議を多数実施し、他事業所と連携をして生活の場の支援にあった。
- 8) 法人全体の職員研修会が盛んに行われたが、職員の自主的研修、勉強会（堺の障がい者の生活支援を考える会、aの会）も行われた。また、外部研修会の派遣、参加も多数回実施した。
- 9) 就労移行支援事業の利用者の就職の結果が出ず、また支給期間2年の任期が終了する利用者が多数のため就労移行事業を24年3月末日で廃止とし、24年度より就労継続B型事業定員12名（登録者数平成24年4月1日付15名）、生活介護事業定員58名（登録者数平成24年4月1日付76名）の2事業での事業開始となる。
- 10) 障害福祉サービスのための区分認定調査の対象利用者が多い年度になり、前回の調査の開示請求や支援員による区分認定調査時の立会や医師の意見書作成のための通院同行などをご家族と相談しながら多数回実施した。
- 11) 障害者自立支援法改正によりサービスを受けているすべての障がい者を対象にサービス利用計画書等の作成（指定特定相談事業）がはじまり、ご家族と相談しながら、障害者地域生活支援センターうてなに計画依頼、情報提供、ご家族への説明、面談、契約時に立ち会う機会が多数あった。
- 12) 堺市委託事業「児童入浴サービス」が再開。毎週金曜日に実施。中等部1年生男性A・Kさんが利用される。しかし、ご本人の入院や医療（的）ケア（？）の必要性（検討中）から実施回数が減少

している。

- 13) 5月より、つき班の日中活動の取り組みとして、調理プログラムを毎月第3水曜日に「つき班クッキング」として実施。二時のおやつ作りを利用者が買い物や調理を主体的に実施する。
- 14) 「みんなの時間」の書道クラブでボランティアとして永年お世話になっている尾郷光子さんが、ワイズメンズクラブより昨年度の堺市障がい者作品展で書道クラブの作品「絆」のYMC A賞の受賞に対し、6月23日感謝状を受けられる。
- 15) 7月より、ご家族から身体を動かす取り組みを実施して欲しいとの要望があり、ボランティアの今岡先生に指導して頂きエアロビクスを食堂にて毎月一回水曜日に実施することになる。
- 16) 法人内の取り組みとして、法人内の他事業所への実務研修を8月より実施し、堺みなみへ1名、デイセンターフレンズへ1名、わららか草部に1名の受け入れ、実務研修を行う。
- 17) 法人内の事故傷病のある事例より、利用者の安全確保と快適に過ごしていただくため、8月より毎月第1月曜日に備品・器具定期検査日とし、各部屋の椅子、机を中心に各備品の点検を実施、記録する。
- 18) 公用車、職員の自家用車の増加に伴い、敷地内での外来者の駐車困難、また敷地内での車輛事故のリスクの増加に伴い、わららか草部建物前の耕地部分を購入し、職員の自家用車を主に駐車場（18台分）を設置。日々の送迎車輛の運行、外来者の駐車がスムーズになる。（工事期間8月27日より2週間）
- 19) ほし班生活支援員室井徹と事務職員高田千登世が日本知的障害者福祉協会より、20年間の勤務に対し、知的障害者福祉事業功労者を10月に受賞する。
- 20) 10月より、各班レクリエーションが実施される。本年度は施設全体で一つの場所へ行くのではなく、それぞれの班が企画をし、日程、行き先、内容を決め、実施した。利用者の意向、意見を参考にし、利用者参加型の行事となる。
- 21) 10月1日より「障害者虐待防止法」が施行され、法人、施設として、研修、虐待防止対応規程、倫理要綱、委員会等の体制を整える。また、職員会議の中で虐待防止委員会を実施し、利用者へのより良い支援に向けて更なる研鑽を行う。
- 22) わららか草部が創立して11月1日で10周年となり、記念行事を食堂にて実施。理事長にも参加して頂き、利用者、職員で利用者の顔がスクリーンに映しだされるゲームで楽しいお祝いをする。
- 23) ケアホーム利用者に対して、11月12日堺みなみにてインフルエンザ予防注射の集団接種を行う。
- 24) 11月シュートステイウてなの利用者が5名程下痢、嘔吐を発症。
- 25) 堺市障がい者作品展に書道クラブ、華道クラブ、おひさま班、個人作品で合計6点を出展し、書道クラブの「笑」が努力賞を受賞。
- 26) 25年2月以降の開所となる、法人として11番目のケアホーム、場所は八田西町住宅にある「ケアホームすみれ」を、準備委員会で入居利用者の検討を実施する。法人内の他ケアホームの高齢化、同性化の課題を含めて検討する。
- 27) 平成27年7月に法人設立30周年を迎えるにあたり、記念事業の実施のため実行委員会を立ち上げる。わららか草部からは館野支援員が実行委員会のメンバーとなる。
- 28) 堺市のショートステイ設備整備補助金の0予算に対して、堺障害児（者）施設部会を中心に堺市に対して抗議行動を実施する。12月18日ご家族、利用者、職員が堺市市庁舎前で抗議、ビラ配りに参加。1月の堺市からの説明会にも多数参加する。
- 29) 12月に法人内において虐待の疑いのある事例が発生し、吉川総合長、堺みなみ海谷施設長が堺市へ相談。その後、堺市より調査がある。法人全職員への事例の報告と今後の法人の人権擁護、虐待防止の方向性の確認のため、25年1月7日に法人全体会議をわららか草部にて行う。その後、堺市より口頭でこの件に関して虐待では無いとの報告がある。
- 30) 今後の障友会の事業展開を検討する中長期事業計画検討委員会が結論（まとめ）をだし、終了（1月23日）となる。その後、2月15日利用者への説明会、3月11日職員と理事長との懇談会を

実施し、様々な角度から更なる検討をする。

- 31) 利用者の乗車状況により、マイクロバスAコース車輦と堺みなみマイクロバス車輦を交換する。
- 32) ひまわり班支援員、北山光春が諸事情により、2月25日より休職、3月末で退職となる。
- 33) 2月22日より、送迎バスマイクロBコースの利用者を主にインフルエンザB型の発症が利用者11名職員4名、発熱者が数名となり、2月27日より3月1日まで三日間施設休所となる。また、25日に実施されたわららかまつりは、午前は福泉小学校と福泉東小学校の参加はあるが、午後から法人内の他事業者の参加はなく、わららか草部の利用者だけの実施となる。
- 34) 毎年恒例となる堺市から委託の菜の花の育成をビオトープ係が主となり実施し、3月に堺市市庁舎前広場に「おもてなし・花風景千の花広場～春・菜の花」として設置される。
- 35) 家族会の活動
毎月第1火曜日家族会を実施。7月に成年後見制度についての講演会、10月にファインプラザのバザー活動、11月に堺障害フォーラム集会の参加、12月ショートステイ整備に関する抗議行動、説明会に参加。また、今年度も他法人が立ち上げた「障害者の生活の場を考える会」に毎回会長が臨まれた。当法人を含む4法人の家族会が共同して検討し、堺市に対して政策提案しようというもの。

以下、利用者の個別の状況

- 36) 高等部を卒業されたS・Iさん。4月1日よりひまわり班にて利用開始。
- 37) 他事業所を利用されていたK・Hさん。自宅での入浴が困難となり、毎週火曜日おひさま班を利用し入浴を行う。また、7月腸に膿、卵巣に腫瘍の疑いで入院。障害者地域生活支援センターうてな地域定着支援を利用されながら、退院後週2回の利用となる。
- 38) 4月から開設された「堺市立重症心身障害者（児）支援センターベルデさかい」の入所のため、おひさま班利用者T・Yさんが5月18日付で利用中止となる。
- 39) 「じょぶライフだいせん」の入所のため、おひさま班利用者K・Sさん。5月25日付で利用中止となる。
- 40) おひさま班利用のY・Nさんが5月自宅にて入浴中、肺に水がはいり、入院。また、1月自宅にて転倒し、股関節上部を骨折し、入院、手術となる。25年5月以降の利用再開予定。
- 41) おひさま班利用者M・Nさんが嘔吐、下血にて入院。
- 42) つき班利用者Y・Kさんが昨年度より引続き複数のショートステイ施設利用。（利用の可能な施設は法人内施設を含めて4ヶ所）他県・他市の施設（ショート扱いで）へのアプローチを障害者地域生活支援センターうてなと協同行い、体験利用を重ねる。奈良県の入所施設「あけみどり」の利用が8月に決まり、8月末日で利用中止となる。
- 43) ひまわり班利用者N・Yさんが10月14日交通事故に遇い、左側鎖骨を骨折し、手術、入院。その後、退院されるが現在、利用再開されていない。
- 44) 12月1日よりH・Mさんが、退院後おひさま班利用となる。（毎月・木曜日利用）
- 45) 1月8日よりH・Mさんが他事業者から、おひさま班利用となる。
- 46) ひまわり班の利用者T・Mさんが25年度の堺市障害者施策推進協議会臨時委員に承認される。
- 47) 通所困難であった利用者S・Wさんのお母様が入院される。12月より障害者地域生活支援センターうてなやつき班の職員で送迎体制を整備し、毎日利用へとつながる。
- 48) 1月25日ひまわり班利用者K・Sさんのお父様がお逝去される。ご本人は近所に住むお姉様の支援を受けながら一人暮らしが始まる。
- 49) おひさま班利用者E・Nさん、ひまわり班K・Kさんが介護保険の認定をうける。
- 50) 利用者の高齢化、ケアホーム利用者の同性化に伴い、ひまわり班利用者K・Kさん、ほし班M・Tさん、K・Kさん、J・Nさんが身体への負担が少ないケアホームの転居となる。10月に、つき班T・Tさんケアホームを退去。また、おひさま班利用者K・Nさん、A・Oさんが他法人運営のケアホーム利用開始となる。

◇各班の今年度の特記すべき報告

- ・ほし班 利用者25名(男17名、女8名)(就労継続B11名、生活介護14名)

昨年度に引き続き、外部体験実習としてイチゴ農園と、フクモト青果のタケノコ水煮工場の手伝いに月2回ペースで職員同行にて2名の利用者に体験していただいた。気分転換と農園の人との交流もあり、モチベーションにもつながっていたが、夏場の作業で体調を崩される人も出て体調への配慮不足が課題となり反省される。

また、新しい取り組みとして月1回のエアロビクスを始め、日頃の運動不足解消と気分転換につながっている。

その一方で、年齢からくるケガや病気のケースが目立っており、受診の頻度も増えてきているように感じられる。

- ・ひまわり班 利用者20名(男14名、女6名)(就労継続B4名、生活介護16名)

野菜、軽作業の内職の作業が中心とした班である。利用者個人に合ったペースや量で作業提供ができる様に取り組んでいるが、今後も継続して提供していきたい。

その他、高齢化、重度化に伴う体力低下、精神面の不安定による、長期欠席のケースがあり、どのように利用につなげるか、支援していくべきかが大きな課題となる。

- ・つき班 利用者19名(男11名、女8名)(生活介護19名)

今年度(平成24年度)より月1回、班クッキングを実施する。個々利用者へ事前に手順を説明し役割分担でおやつ作りに取り組む。班レクリエーションでは、ハーベストの丘へ行きバーベキューを食事された後、自由行動とし介助職員と一緒にトレインに乗られたり遊具で遊ばれたりお土産屋に寄られたりと楽しまれた。みんなの時間では、社会福祉法人南湖会いずみホームさんの体育館をお借りし、バスケットボール、バトミントン、大縄跳びをすることで利用者のリフレッシュを図ることができ、また今までにない笑顔も多かった。班内の席替えについては構造化を図り休憩ブースを設置したことや個々利用者の環境を整える。利用者の運動不足からの体重の増加や肥満傾向が問題視されており外出レクリエーションを含む体を動かしていただく機会を提供することについて今後の課題である。

- ・おひさま班 利用者27名(男17名、女10名)(生活介護27名)

今年度も引き続き、おひさま班の役割として、作業中心ではなく、身体、身辺介助に重点を置き活動を行った。利用人数はもともとのデイサービスの名残で日替わりの利用者がおり、毎日変化する。今年度おひさま班の新規利用を開始されたのが、3名である。入浴介助は日平均3～4名行った。見守りも含めると、トイレ介助は日平均10名である。食事介助は日平均12名であった。送迎も班独自で行い、日平均15名であった。今年度の新たな取り組みとして、班独自のレクリエーションの拡充を行った。公園やショッピングモールへの外出は随時、堺市健康福祉プラザの見学もおこなった。また掲示物、うちわなどの創作活動の機会を作り、室内レクリエーションでオリンピックや祭り、運動会、人間すごろく、正月遊びなども行った。忘年会や班別レクリエーション行事では引き続き、一般の店舗で外食し、社会経験を持つ良い機会になった。作業はお守りの紐の作業とアルミカップ(9月～12月)の2種であった。

次年度はレクリエーションでは、外出の参加人数を小人数にして、個人に応じた活動にしていきたい。また、生活スキルの向上にも関連させていきたい。日中活動では作業を保障しつつ、必要者にはリハビリ的な体操などの活動を取り入れていきたい。

1) 2012年度月別特記事項(全事業合同)

(4月)

2日(月) 新年度開始、新規職員、非常勤から正規職員、昇任職員、異動職員の辞令交付、青年学級(毎週月曜日に実施)、高等部からの新入所者1名の「入所式」

3日(火) 散髪ボラ(毎月第3火曜日)、管理職会議(毎月不定期に実施)

4日(水) ウォーキング(お花見)(浜寺公園)

- 5日(木) 法人職員研修(ビギナーズ研修)(不定期に実施)、ドクター相談(澤田ドクター
整形外科)、aの会(不定期)障がい者の生活支援を考える会(不定期)
査定会議(毎月利用者給与前に実施)
- 6日(金) 定期健診(わららか草部(利用者、職員)、デイセンターフレンズ(利用者、職
員)、ショートステイうてな、地域生活支援センターうてな、地域活動支援セン
ター遊夢音、エリアサポートグループ各職員、ケアホーム世話人、実施)
世話人研修、職員会議+安全衛生委員会(毎月第1金曜日、第3水曜日に実施)
- 10日(金) 利用者給与日(毎月10日に実施、休日の場合は前日)、
オーラルケア(毎月第4火曜日)、りみちゃん体操(毎月不定期に実施)
- 11日(水) 堺市健康福祉プラザ開設記念式典(吉川)
- 12日(木) 光輝スクール(毎月第2木曜日に実施)
- 13日(金) うららでランチ(毎月第2金曜日、ほし→つき→ひまわりの順番で実施)
(おひさま班は毎月不定期に実施)
- 14日(土) 土曜日通所日(毎月第2、第4土曜日に実施)、家族会総会、家族と職員との懇
談会
- 16日(月) 法人研修委員会(毎月不定期に実施)
- 17日(火) 浄化槽の点検(毎月第三火曜日に実施)
- 18日(水) 中・長期事業計画検討委員会(毎月第2水曜日に実施)
- 19日(木) 防災会議(毎月不定期に実施)各班会議(ひまわり)(毎月不定期に各班実施)
- 20日(金) 児童入浴サービス再開(毎週金曜日に実施、中学部1年生男性A・Kさん)
- 23日(月) 職場実習(小川いちご農園)(就労継続B型事業利用者3名参加)
- 24日(火) 障がい者の生活の場を考える会(家族会)(奇数月の第4火曜日に実施)
- 25日(水) 障友会連絡会(毎月最終水曜日に実施)
- 26日(木) みんなの時間(毎月第4木曜日に実施)
- 27日(金) 利用者身体測定(毎月最終金曜日に実施)、
利用者自治会役員会(毎月第4金曜日に実施)

(5月)

- 2日(水) WAPS定例会
- 8日(火) 自治会役員あいさつ回り、家族会(毎月第1火曜日に実施)
- 10日(木) 自治会役員選挙投票日
- 11日(金) 自治会役員当選発表、地域活動支援センター遊夢音オープンセレモニー
- 14日(月) 17日(木) 18日(金) 法人内部監査
- 16日(水) 自治会総会
- 18日(金) 利用者T・Yさんお別れ会、利用中止
- 19日(土) 豊中愛和会創立10周年記念式典(吉川)、
自立支援協議会当事者部会(東京)(T・Mさん)
- 21日(月) ~25日(金) モニタリング及び個別支援計画策定会議
- 24日(木) 利用者K・Sさんお別れ会、利用中止
- 25日(金) 松原市第5中学校講演(吉川)
- 26日(土) 後援会総会(堺市総合福祉会館)
- 28日(月) 職場実習
- 29日(火) 理事会・評議員会

(6月)

- 1日(金) 在宅生活をされているK・Hさん利用開始、大阪知的障害者福祉協会ソフトボ
ール大会(久宝寺緑地)

- 2月(土) フィルター清掃(2月、6月、10月)
- 5日(火) プール学院大学オリエンテーション(藤原た)
- 6日(水) 消防避難訓練
- 10日(日) 青年学級レクリエーション(館野、藤原ゆ、飯坂)
- 12日(火) ウォーキング(雨天中止)
- 15日(金) 中・長期事業計画検討委員会(こんごう福祉センターかなびの里見学)
- 18日(月) エレベーター点検(偶数月)
- 19日(火) 台風4号で暴風警報発令のため午後施設休所、消防点検(6月、12月)
- 20日(水) 21日(木) 大阪府立泉北支援学校高等部3年生4名実習
つき班調理プログラム(毎月第3水曜日)
- 21日(木) 職場実習
- 27日(水) 第1回医的ケア会議

(7月)

- 2日(月) 法人経営会議
- 3日(火) 計画停電についての会議
- 4日(水) エアロビクス(毎月不定期に実施)
- 10日(火) 浴槽水水質検査(3月、7月、11月)
- 11日(水) むうみん新入生顔合わせ
- 15日(日) ジャパンパラ水泳競技大会開会式出席(吉川)
- 25日(水) ドクター相談
- 27日(金) 理事会・評議員会

(8月)

- 13日(月)～15日(水) 夏季休暇
- 17日(金) ドクター相談(堺みなみにて)
- 20日(月) 駐車場工事現場説明会 23日(木) 入札
- 27日(月) 駐車場整備工事開始(～約2週間)

(9月)

- 18日(火) 理事会・評議員会
- 20日(木)～25日(火) モニタリング及び個別支援計画策定会議
- 21日(金) 職場実習

(10月)

- 2日(火) 日帰りレクリエーション(おひさま班一部)(アゴーラ・リージェンシー)
- 4日(木) 日帰りレクリエーション(つき班)(ハーベストの丘)
- 10日(水) 日帰りレクリエーション(おひさま班一部)(アゴーラ・リージェンシー)
ドクター相談(郭ドクター)
- 11日(木) 赤い羽根街頭募金(築山)
- 18日(木) 日帰りレクリエーション(おひさま班一部)(アゴーラ・リージェンシー)
ショートステイうてな実地指導
- 19日(金) 理事会・評議員会
- 20日(土) 当事者部会交流会グループホーム、ケアホーム部会(J・Aさん、A・Mさん、
志堂寺)
- 21日(日) ファインプラザバザー(家族会)、青年学級日帰りレクリエーション(ハーベスト
の丘)
きぼうの会新施設竣工式(吉川)
- 22日(月) 法人本部、堺みなみ実地指導

24日（水）日帰りレクリエーション（ほし班）（ボーリング、ベビーフェイス）

（11月）

1日（木）わららか10周年記念行事（食事会一昼食）

2日（金）日帰りレクリエーション（ひまわり班）（こんぺいとうプチミュージアム、南海グリル）

3日（土）堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会（大仙公園）

6日（火）堺障害フォーラム第4回つどい（利用者6名、家族多数参加）

12日（月）ケアホーム利用者インフルエンザ予防注射（堺みなみにて）

15日（木）第1回虐待防止受付担当者会議（藤原た）

19日（月）理事会・評議員会

26日（月）新設ホーム準備委員会（築山）（不定期実施）

30日（火）障友会30周年記念事業実行委員会（舘野）（不定期実施）

（12月）

3日（月）新規利用者H・Mさんおひさま班にて利用開始

5日（水）消防避難訓練

12日（水）フレンズ、うららのお店実地指導

18日（火）シュートステイ設備整備補助に対しての堺市への行動抗議（堺市市庁舎前）

19日（水）くるみの樹実地指導

22日（土）堺市障害者虐待防止啓発セミナー（パネリストとして吉川参加）

28日（金）大掃除、各班忘年会

29日（土）～1月6日（日）冬季休暇

（1月）

7日（月）新年通所開始、法人全体会議

9日（水）堺みなみ家族会（わららか草部会議室にて、堺みなみ大規模修繕のため）

21日（月）成人の日の集い（成人2名）

23日（水）法人新規利用者合同説明会（堺みなみ、くるみの樹、わららか草部）
中長期事業計画検討委員会が終了となる。

28日（月）主任、副主任で来年度の送迎体制についての会議

31日（木）堺市の障害者児のシュートステイの設備整備についての説明会（利用者6名、家族会数名、職員2名参加）

（2月）

1日（金）マイクロバスAコース車輛と堺みなみマイクロバス車輛を交換、送迎コース変更

8日（金）理事会

15日（金）中・長期事業計画（まとめ）について利用者への説明会

20日（水）生活の場を考える会のための勉強会（家族5名、吉川）

25日（月）わららかまつり（福泉小学校、福泉東小学校参加）

27日（水）～3月1日（金）インフルエンザB型利用者11名職員4名発症のため施設休所

（3月）

11日（月）中長期事業計画についての理事長と職員との懇談会

13日（水）苦情解決事業第3者委員への報告会

19日（火）還暦の日の集い（1名）

21日（木）～26日（火）モニタリング及び個別支援計画策定会議

23日（金）新規採用職員オリエンテーション

25日（月）理事会・評議員会

29日（金）退職辞令、24年度最終日

31日（日）ケアホームすみれ、サウスライト、福田ホーム、フレンドハウスひまわり
一部利用者引越し

（その他 定期的なとりくみ ――― 全事業合同）

①みんなの時間（クラブ活動）、毎月第4木曜日の午後、ほし班、ひまわり班

②うららでランチ、毎月第2金曜日、おひさま班のみ不定期

③光輝法 温熱施術 毎月第2木曜日の午後

④オーラルケア 毎月第4火曜日の午前

⑤利用者給与日、毎月10日、賞与は12月20日

⑥利用者自治会役員会、毎月第4金曜日

⑦利用者身体チェック、毎月最終金曜日

⑧りみちゃん体操

⑨散髪ボランティア

⑩エアロビクス

⑪青年学級、毎週月曜日

⑫土曜日通所、毎月第2、第4土曜日、希望者のみ

⑬家族会、毎月第1火曜日の午前

2）利用者の状況（25年3月31日現在）

○事業別利用者数（定員）

平成24年4月1日現在		⇒	平成25年3月末日現在	
① 就労継続支援B型	15名（定員12名）		15名（定員12名）	
② 生活介護	76名（定員58名）		76名（定員58名）	
合計	91名（定員70名）		合計	91名（定員70名）

○平成24年度の利用開始、利用中止状況

① 就労継続支援B型 0名

② 生活介護 +2名（他施設から当施設への利用）+1名（退院）+1名（高等部）
-3名（入所施設利用（5月（2名）、8月（1名））

○男女別年令別 91名： 男59名 女32名

	20才未満	20～24歳	25～29才	30～34才	35～39才	40～44才	45～49才	50～54才	55～59才	60～64才	65才以上	合 計
男	1	9	9	7	14	9	5	0	1	3	1	59名
女	0	4	1	4	5	4	4	0	3	3	4	32名
合計	1	13	10	11	19	13	9	0	4	6	5	91名

【平均年令・男性35.5才、女性44.0才、全体平均年令38.4才】

○男女別・障害程度別（療育手帳による）

	全体	男	女	就労継続B	生活介護
A	71	48	23	10	61
B1	17	8	9	4	13
B2	1	1	0	1	0

無	2	2	0	0	2
合計	91	59	32	15	76

無の方は高次脳機能障害

○男女別、事業別・障害程度区分（91名について）

区分	非該当	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	0	2	13	14	16	14	59名
女	0	0	2	5	9	10	6	32名
就労継続B型	0	0	3	8	3	1	0	15名
生活介護	0	0	1	10	20	25	20	76名
合計	0	0	4	18	23	26	20	91名

区分6	—	20名	} 69名≒75.8%
5	—	26名	
4	—	23名	
3	—	18名	} 22名≒24.2%
2	—	4名	
1	—	0名	
非該当	—	0名	

○介護保険利用状況

区分	要支1	要支2	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0名
女	0	1	0	2	0	0	0	3名
合計	0	0	0	2	0	0	0	3名

○他障害との重複状況（91名について）

①精神疾患との重複	13名	
②身体障害との重複	24名	肢体不自由 20名 聴覚障害（音声言語） 4名 視力（覚）障害 3名 内部障害 6名 言語機能障害 1名 ※個々の障害別でダブルカウントもあり
③自閉症	30名	
④ダウン症	6名	
⑤高次脳機能障害	2名	
⑥てんかん	28名	

○家族の状況

- ・両親死亡 10名（男 5名 女 5名 ※この内一人暮らしの利用者 1名）
- ・片親の人 32名（母のみ 29名 父のみ 3名）
- ・80歳以上の家族 7名

○金銭管理等支援利用状況

- ・成年後見制度

(事業別・就労人数別・年間給与総額)

① 就労継続支援B型(15名) 733,000円(平均 4,072円/月)

② 生活介護事業(76名) 1,500,270円(平均 1,645円/月)

合計(91名) 合計2,233,270円

4) 年間行事、いろいろなとりくみ(4月1日～3月31日 ——全事業合同)

- 4月 2日(月)入所式
4日(水)ウォーキング(お花見)(浜寺公園)
- 6月 1日(金)大阪知的障害児・者ソフトボール大会(久宝寺緑地)(藤原ゆ、松田、築山)
10日(日)青年学級レクリエーション(関西空港)(館野、藤原ゆ、飯坂)
12日(火)ウォーキング(大泉緑地)(雨天中止)
- 10月 2日(火)日帰りレクリエーション(おひさま班一部)(アゴーラ・リージェンシー)
4日(木)日帰りレクリエーション(つき班)(ハーベストの丘)
10日(水)、18(木)日帰りレクリエーション(おひさま班一部)(アゴーラ・リージェンシー)
24日(水)日帰りレクリエーション(ほし班)(ボーリング、ベビーフェイス)
- 11月 1日(木)創立10周年記念行事(食堂)
2日(金)ひまわり班レクリエーション(こんべいとうプチミュージアム、南海グリル)
3日(土)堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会
7日(水)ウォーキング(大泉緑地)
- 12月 4日(火)～10日(月)障がい者作品展(3日搬入、11日搬出)
4日(月)おひさま班、ひまわり班 6日(木)つき班 10日(月)ほし班見学
25日(火)クリスマス会
28日(金)各班忘年会
- 1月21日(月)成人の日の集い(成人者2名)
- 2月 1日(金)節分の日(豆まき)
25日(月)わららかまつり(食堂)
- 3月13日(水)、22日(金)、26日(火)おひさま班レクリエーション(桜珈琲)
19日(火)還暦の日の集い(食堂)(還暦者1名)
29日(金)つき班レクリエーション(お別れ会)

(土曜通所日の取組み) ※「フリー」はビデオ観賞、カラオケ、折り紙、ゲーム、トランプなど

	午 前	午 後
4月14日	フリー、家族会総会	ビデオ鑑賞、職員と家族の懇談会
28日	フリー、ソフトボール練習	フリー、ビデオ観賞
5月14日	フリー、ソフトボール練習	フリー、ホットグランパさんによるギター演奏
26日	フリー、ソフトボール、後援会 総会	今岡さんによるエアロビクス
6月 9日	フリー	津久野いぶき連さんによるよさこいソーラン、阿波踊り
23日	フリー、ソフトボール	フリー、ビデオ観賞
7月14日	フリー	フラダンス
28日	カキ氷作り、フリー	フリー、ビデオ鑑賞
8月11日	フリー	フリー、ビデオ鑑賞

25日	フリー	フリー、流しそうめん
9月 8日	フリー	森さんご夫婦によるジャングリング、手品等
29日	フリー	フリー、ビデオ鑑賞
10月13日	ソフトボール、フリー	フリー、夢楽ライブ座
27日	フリー	フリー、ビデオ鑑賞
11月 3日	堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会	フリー、ビデオ鑑賞
24日	わららか運動会	わららか運動会
12月 8日	フリー	ゴスペルによるクリスマスソング
22日	フリー	わららか紅白歌合戦
1月12日	フリー	はっぴいえんどによる音楽演奏
26日	フリー	フリー、ビデオ鑑賞
2月 9日	フリー	大賀千夏子さんによる音楽演奏
23日	フリー	フリー、ビデオ鑑賞
3月 9日	フリー、ソフトボール	ホットグランパさんによるギター演奏
23日	フリー、ソフトボール	フリー、ビデオ鑑賞

5) みんなの時間の取組み（全事業合同）

毎月第4木曜日の午後に実施 活動終了後おやつを食べる。

- ① 華道 — 職員が指導（作品を障害者作品展に出展）
- ② 書道 — 専門家ボランティアの指導（作品を障害者作品展に出展）
- ③ レクリエーション（毎月、各所に外出、散歩など）
- ④ 華道、書道、レクリエーションに属さない利用者はりみちゃん体操（毎月第2火曜日に実施）、DVD鑑賞、スポーツ活動に参加

6) 班会議（全事業合同）

各班、グループ毎の課題や問題点の協議、検討。いろいろな決め事、年間行事についての意見の集約など。利用者自身の発言をうながし、できる限り利用者の主体性を高めることを目的。

又、法人機関紙「至心」の発刊時には職員のリードで内容の読みあわせ。いろいろな「情報」の提供に努めた。

7) 利用者自治会の活動支援（全事業合同）

- ① 利用者の主体的な施設運営や活動への参加を支援した。
- ② 毎月第4金曜日に自治会役員会を行い月間予定の確認、承認を行い、又行事や議題のある際には、臨時の役員会を行い、行事の際には企画・運営などの役割を担っていただいた。
- ③ 5月8日（火）に役員立候補者の挨拶回り、10日（木）投票、11日（金）当選発表
5月16日（水）に事前の選挙にて選任された役員の改選と共に総会を実施。前年度の事業報告、自治会の会計決算報告を行い、又、新たに就任した利用者の各役割への「任命式」を行った。
定期自治会役員会の実施（原則として毎月第4金曜日）

年間諸活動

- 4月 月間予定の確認、選挙の準備
- 5月 選挙、新役員の顔合わせ、総会に向けての準備、実施、自治会総会
- 6月 月間予定の確認、

- 7月 月間予定の確認、年間の各行事への参加打合せ
 8月 月間予定の確認
 9月 月間予定の確認
 10月 月間予定の確認
 11月 月間予定の確認、堺障害フォーラム参加、わららか運動会の準備・実施
 12月 月間予定の確認、クリスマス会の準備・実施、大みそか、正月の準備、飾り付け
 1月 月間予定の確認、初詣、新年の挨拶回り（法人施設内）、成人の集いの準備・実施
 2月 月間予定の確認、豆まきの準備・実施、わららかまつりの準備・実施、バレンタインの準備・実施
 3月 月間予定の確認、還暦の集いの準備・実施

8) 利用者の係活動（全事業合同）

利用者主体の施設運営方針にもとづき、利用者の係活動を職員主導で設定して支援した。係の数、内容は11係である。

- ①行事係 ②誕生日係 ③ラジオ体操係 ④給料係 ⑤給食係
 ⑥ピオトープ係 ⑦お知らせ係 ⑧合図係 ⑨施設美化係 ⑩買い物係
 ⑪廃品整理、運搬係

9) 利用者の健康管理（全事業合同）

- ① 定期健康診断 4月 6日（金）（関西健康福祉協会）
 年1回の実施となる。4月にわららか草部、10月に堺みなみで実施し、ショートステイうてな・ケアホームの宿泊をとともう勤務につく職員と運転手は年2回受診する。わららか草部の利用者・職員、ショートステイうてなの職員、フレンズの利用者・職員、地域生活支援センターうてなの職員、地域活動支援センター遊夢音の職員、エリアサポートグループの職員、ケアホームの世話人が受診。年々人数が増加し、検診時間が伸びていることが課題になっていると思われる。
- ② 体重測定、身体各所のチェック 毎月の最終金曜日、結果を「健康カード」でご家族に報告。
- ③ 服薬管理、服薬支援 家族からの依頼を前提に、日々必要な利用者に実施
- ④ 傷病への対応、通院支援 家族からの依頼、同意の上で必要な利用者に必要な際に実施。

通院は主に堺温心会病院、馬場記念病院、小川内科、辻本クリニック、にしで皮膚科
 阪南病院、小滝歯科、おくだ耳鼻咽喉科、ベルランド病院等

○職員による傷病受診、通院の状況 のべ件数

診療科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2	3	5	4	2	3	2	0	2	1	1	4	29
整形外科・外科	1	3	1	3	7	0	2	1	3	0	3	1	25
皮膚科	2	1	3	2	7	1	6	2	1	4	8	0	37
歯科	1	5	10	8	5	5	7	7	7	4	3	3	65
耳鼻咽喉科	1	3	3	4	5	10	14	7	10	6	0	2	65
眼科	0	0	2	1	1	0	0	1	0	2	2	0	9
精神科・神経科	3	2	2	2	0	3	3	4	2	3	2	2	28
婦人科	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	2	6
区分認定のための意見書	7	2	0	2	0	2	3	0	1	0	2	1	20
合計（認定区分意見書）	17(7)	20(2)	26(0)	26(2)	29(0)	25(2)	37(3)	22(0)	26(1)	20(0)	21(2)	15(1)	284(20)

- ⑤ 身体障害、その他事情によって家族介助による自宅での入浴の困難な利用者への、入浴、洗身支援。
又必要に応じてシャワーによる洗身、清拭など。（入浴支援は主に生活介護利用者）。
- ⑥ 定期の排便支援 — オムツ等の交換、洗身
- ⑦ 給食提供に関する配慮（栄養調整、調理方法、量、形状の工夫など）摂食支援
- ⑧ ラジオ体操の取組み（毎朝）
- ⑨ 嘱託医相談の実施 実施日 4月5日（木）澤田先生、10月10日（金）郭先生
今年度は、施設と先生の都合により、それぞれ一回のみの実施となった。澤田先生への相談は2件、郭先生の相談は1件と新規の利用者の方の紹介を行った。郭先生への相談は従来の精神科の相談とは違い、ご本人の様子を見て具体的な助言をいただけたように思われる。澤田先生への相談では、今まで医療機関を受診することができていなかった方も相談を機に通院リハビリにつながることが出来、医療機関へつなげることが出来た。
- ⑩ 季節や気象状況に応じた利用者への注意喚起
- ⑪ 冬期の感染症予防強化期間の設定とうがい、手あらい、などの励行
- ⑫ 口腔歯科検診（毎月1回実施 —— 希望者のみ、毎月約30名が受診）
（オーラルケア）
- ⑬ 医療的ケアの実施（喀痰吸引、経管栄養、血中酸素濃度測定）（主治医の指示書に基づく）

10）利用者の安全管理（全事業合同）

- ① 門、玄関ドア付近のチェック
- ② 危険物の管理の徹底
- ③ 転倒防止のため床面の水分の常時のふきとり（とくに食堂）
- ④ 廊下などの荷物のできる限りの除去
- ⑤ 室内の整理整頓、床面のコード類の除去
- ⑥ 階段、昇降時の職員の付き添い（てんかん発作のある利用者や歩行の不安定な利用者など）
- ⑦ 昼の休憩時の館内全体の安全管理
- ⑧ 利用者の「事故・傷病」の記録化（50件）、「ヒヤリ・ハット」の記録化（17件）、職員会議での検討（安全衛生委員会の開催）と具体的な取組み
- ⑨ 8月より毎月第1月曜日に備品・器具定期検査日とし、各部屋の椅子、机を中心に各備品の点検を実施、記録化する。

11）利用者の就労に向けての取組み

（職場実習について）

4月23日（月）4月27日（金）5月28日（月）6月21日（木）7月17日（火）

7月19日（木）9月21日（金）

・・・3名参加

（一般就労について）

22年度末に医療法人杏和会阪南病院に1名就労。2年継続して就労。23年の6月で利用中止となるが、ご本人の休暇日にボランティアとして定期的（毎週水曜日）来所。相談支援の実施。

＊新規一般就労者は今年度はおられず

今年度の職場体験実習は一年間を通して、いずみ小川いちご農園・福本青果にて職場体験実習を行っている。昨年度と同様長期間同じ場所での実習となった。利用者みなさんも長期にわたり継続して同じ仕事に取り組んでいることもあり自信を持って積極的に取り組まれている。昨年度で就労移行支援事業は廃止となるがご本人達からの訴えもあり就労継続B型事業で引き続き取り組んでいきたいと考えている。また、夏季中は体調不良の利用者があり、今後の課題となる。

1 2) 利用者の地域生活支援（全事業合同）

- ① 平成 24 年度よりケアホームのバックアップを日中職員から専属の職員の配置とし、名称を「エリアサポートグループ」とし、新しい部所を設置。ケアホーム利用者に対して、エリアサポートグループ職員と協力し、地域生活支援（通院支援、金銭管理、申請手続き等）を実施。
- ② 改正障害者自立支援法の施行に伴う各種の申請支援（助言や同伴、代行）など。
- ③ ショートステイ、ガイドヘルプなど居宅生活支援事業の事業所との調整や予約、代行など。
- ④ 一部のショートステイ先と施設間の職員による送迎など。
- ⑤ 福祉事務所の各種ききとり調査に対するバックアップ。担当職員のききとり調査への参画、直接対応など。
- ⑥ 家庭訪問などによる利用者本人への対応。ご家族との調整。家族機能の代行（いろいろ）など。
- ⑦ 法人内ショートステイ施設「うてな」への応援宿直、入浴介助、浴室清掃。
- ⑧ 必要な利用者の通院支援。
- ⑨ 障害者地域生活支援センターうてなと協同し、サービス利用計画書作成の準備、地域定着支援の実施。

1 3) 利用者の預かり金管理（全事業合同）

今年度、11 名の利用者の現金等を預かり、その出納等について管理させていただいた。各利用者の状況と預かり管理させていただいているものは下記のとおり。

Y・Nさん 預金通帳、印鑑、生活諸費

こちらで預かっている金額が少なくなると、銀行から出金。定期的に本人に渡す。

H・Yさん 生活諸費

家族より毎月生活諸費を預かる。週末に本人に一定額を渡す。

S・Mさん 預金通帳、キャッシュカード、生活諸費

週末の小遣いとして、毎月預かっている給料より渡せる額を渡す。ガイドヘルパーへ外出費を通帳から相当額渡す。日用品補充時に相当額での買い物。

Y・Tさん 生活諸費、印鑑

兄より生活諸費を預かり、通院、ガイドヘルパーの利用時、お小遣いを手渡す。

T・Kさん 預金通帳、印鑑を預かり、施設利用料の支払いと生活諸費に使用している。

本人同行による銀行からの出金。

J・Nさん 預金通帳、印鑑、生活諸費。週末本人に定期的に渡す。通院費。

A・Mさん 兄よりお小遣い程度の預かり。現金のみ。ガイドヘルパー時に渡す。

T・Nさん 母よりガイドヘルパーの利用、お小遣いの預かり。現金のみ。

R・Sさん 姉より日用品の購入費として預かり。現金のみ。

E・Nさん 本人の給料の預かり。

M・Mさん 保佐人さんより、日用品購入、ガイドヘルパー時のお小遣いの預かり。

1 4) 利用者の通所支援・送迎の実施（全事業合同）

自力通所の困難な利用者（91 名中 82 名、9 名自力通所及び家族による送迎）を対象に施設の送迎車輛による送迎を実施。マイクロバス 2 台車椅子対応のワゴン車 2 台、10 人乗りワゴン車 1 台、5 人乗り乗用車 1 台を使用。送迎車による他車との接触事故は 3 件あった。その他、送迎忘れ数件、車内での転倒など数件あり。

1 5) 給食の提供（うららでランチ）

今年度も前年度の栄養量を参考に給与目標を設定し、栄養計算に基づいた給食を調理し提供した。調理スタッフ一同、利用者に満足してもらうことや、衛生的で快適な食事を提供するよう努めた。

今年度は4名の利用者を対象に「糖尿食」、1名の利用者に「臍臓食」を実施し指示通り制限内で提供した。また、糖尿病性腎炎を患っている利用者1名についても前年度に引き続き、病院からの指示通り病状に合わせた食事を提供した。自己摂取や、嚥下の困難な重度障害を持つ利用者については、主菜、副菜、汁物等、それぞれにあった刻み食を実施できるように工夫した。献立によって（固形物、魚等）配慮が必要な利用者についてはその都度対応した。また、偏食のはげしい利用者については、できるだけ栄養の偏りのないよう本人にあわせた給食を実施し、その都度配慮が必要な利用者に対しては、利用者の給食配慮（変更届）を厨房に設置し確実に対応できるよう努めた。全体での昼食時に食事摂取困難な利用者には、食事場所の移動や時間帯を早める等できるだけ摂取してもらえるように配慮した。

今年度も法人内の障害福祉サービス事業（うららのお店）での外食（うららでランチ…メニューを利用者自身が選択、施設外でのランチ）を設定。うららのお店の協力を得てランチを楽しんだ。3 ヶ月に1 回のサイクルで利用した。おひさま班については利用者が平均してサイクルできるように3 ヶ月に1 度2 回実施するなどして調整した。なお、2/1～3/8 までうららのお店リニューアル工事のためうららのお店での外食は実施せず。

[illegible]

6月 6日(水)	午後	1時30分～	2時00分(避難所要時間3分20秒・7分30秒)
12月 5日(水)	午後	1時30分～	2時00分(避難所要時間3分24秒・6分46秒)
3月27日(水)	午前	11時～	11時30分(避難所要時間4分35秒)消防署立会

(2つの所要時間は、前記はおひさま班以外の利用者が避難した時間、後記はおひさま班を含む利用者全員が避難した時間)

1. 職員会議（第1金曜日、第3水曜日の夕刻及び随時、全正職員）
2. 安全衛生委員会（同上）
3. 個別支援計画書策定会議（サービス管理責任者・担当支援員・5月9月3月）
4. ケース会議（職員会議時及び随時、全正職員）

5. 自主製品開発会議、作業開拓会議（利用者給与査定会議時、全正職員及び非常勤職員）
6. 利用者給与査定会議（利用者給与の支給前、生活、就労支援員と施設長）
7. 各事務分掌等担当者会議（随時、担当職員）
8. 朝の連絡会議（毎朝、全職員出勤後、全職員）
9. 給食会議（随時、栄養士、調理員、施設長）
10. 班会議（随時、原則として月に1回、各班の支援員）
11. 障友会連絡会（月に1回最終水曜日の夕刻、理事長、施設長、事務長、主任支援員など）
12. 管理職会議（不定期）
13. 防災会議（法人の各施設担当職員）
14. 至心会議（法人の各施設担当職員）
15. 法人研修委員会（法人の各施設担当職員）
16. 法人経営会議（不定期）
17. 医的ケア会議（法人各施設担当職員、主に看護師）
18. 主任・副主任会議（不定期）
19. 虐待防止委員会（職員会議にて実施）
20. 虐待防止受付担当者会議（法人の各施設担当職員）
21. 法人虐待防止委員会
22. 法人30周年記念行事実行委員会（法人の各施設担当職員）
23. 新設ホーム準備委員会

18) 職員の研修（全事業合同）

＜法人（施設）内職員研修の実施状況＞

- | | | |
|-----|-----------------------|--|
| 4月 | 5日（月）法人職員研修（ビギナーズ研修 | 担当海谷、吉川） |
| | 6日（金）法人職員研修（世話人研修） | |
| | 10日（火）法人職員研修（ビギナーズ研修 | 担当田中、藤原た） |
| | 12日（木）法人職員研修（ビギナーズ研修 | 担当志堂寺） |
| | 25日（水）法人職員研修（ビギナーズ研修 | 担当田中）（新世話人、新調理員対象） |
| 5月 | 8日（火）法人職員研修（ビギナーズ研修 | 担当田中） |
| | 9日（水）法人職員研修（ビギナーズ研修 | 担当藤原た）（新世話人、新調理員対象） |
| | 15日（火）法人職員研修（ビギナーズ研修 | 担当片岡） |
| | 22日（火）法人職員研修（ビギナーズ研修 | 担当志堂寺）（新世話人、新調理員対象） |
| | 30日（水）法人職員研修（ビギナーズ研修 | 担当築山ひ） |
| 6月 | 14日（木）法人職員研修（トータル研修 | 担当吉川） |
| | 28日（木）法人職員研修（リーダーズ研修 | 担当福井恵美子氏（西区基幹型相談支援センターセンター長）） |
| 7月 | 10日（火）法人職員研修（ビギナーズ研修 | 担当駄田井） |
| | 18日（水）法人職員研修（スキルアップ研修 | 担当北山み） |
| | 24日（火）法人職員研修（スキルアップ研修 | 担当北山み） |
| 9月 | 11日（火）法人職員研修（ビギナーズ研修 | 担当吉川） |
| | 19日（水）法人職員研修（スキルアップ研修 | 担当築山け） |
| | 25日（火）法人職員研修（スキルアップ研修 | 担当築山け） |
| 10月 | 11日（木）法人職員研修（リーダーズ研修 | 担当智原正行氏（前大阪知的障害者福祉協会権利擁護委員会委員長、前育成会支援センターさくら施設長） |
| | 18日（木）法人職員研修（リーダーズ研修 | 担当森泉美紀氏、岡田泰恵氏）（家族会） |
| 11月 | 21日（水）法人職員研修（スキルアップ研修 | 担当館野） |

- 27日（火）法人職員研修（スキルアップ研修 担当館野）
- 1月16日（水）法人職員研修（スキルアップ研修 担当穂山）
- 22日（火）法人職員研修（スキルアップ研修 担当穂山）

<職員の自主研修実施状況>

- 4月 5日（木）堺の障がい者の生活支援を考える会、aの会
- 5月 8日（火）、6月12日（火）、7月31日（火）、8月21日（火）、9月5日（水）aの会
- 9月13日（木）堺の障がい者の生活支援を考える会
- 10月24日（木）aの会
- 11月19日（月）堺の障がい者の生活支援を考える会
- 12月11日（火）aの会
- 1月23日（水）aの会
- 3月 8日（金）AED勉強会
- 21日（木）aの会

<法人内 実務研修>

- 8月 6日（月）堺みなみたんぽぽ班（藤原た）
～8日（水）堺みなみたんぽぽ班本並支援員がつき班にて実習
- 3月14日（木）デイセンターフレンズ（藤原ゆ）

<各種外部研修の職員派遣状況>

- 4月20日（金）障がい者自立支援制度における指定事業者・施設 集団指導（高田、築山）
- 25日（水）工賃向上計画支援事業説明会（杉本、築山）
- 5月 2日（水）堺市高次脳機能障害支援普及研修会（館野）
- 12日（土）TEACCHプログラム研修会（宮原）
- 13日（日）自閉症eサービス定例会（藤原た、伊名岡、松田）
- 16日（水）新任職員研修（松田）
- 17日（木）ボランティア担当者会議（藤原ゆ）
- 18日（金）うさぎの会（高田）
- 28日（月）新任職員研修（松田）
- 29日（火）自閉症支援コンサルタント養成講座（藤原た）
- 6月 1日（金）食中毒予防研修（岩野）
- 9日（土）自閉症eサービス定例会（藤原た、松田）
- 13日（水）大阪府社会福祉協議会経営協議会研修会（吉川）
- 22日（金）うさぎの会（高田）
- 25日（月）堺市社会福祉法人施設指導監査説明会（築山）
- 26日（火）自閉症支援コンサルタント養成講座（藤原た）
- 27日（水）集団指導者養成教室（伊名岡）
- 28日（木）自閉症支援コンサルタント養成講座（藤原た）
- 30日（日）TEACCHプログラム研修会（宮原）
- 7月 4日（水）自閉症支援コンサルタント養成講座（藤原た）
- 7日（土）TEACCHプログラム研修会（宮原）、自閉症eサービス定例会（藤原た、伊名岡）
- 18日（水）自閉症支援コンサルタント養成講座（藤原た）
- 26日（木）～27日（金）てんかん基礎講座（中林）

- 8月 7日(火) 自閉症支援コンサルタント養成講座(藤原た)
8日(水) 障がい者虐待防止、権利擁護研修(室井、宮原)
31日(金) 障がい者虐待防止、権利擁護研修(宮原)
- 9月 3日(月) 利用者支援の研修(前畑)
6日(木) 障がい者虐待防止、権利擁護研修(室井)
11日(火) 相談支援従事者初任者研修(伊名岡)
13日(木) 相談支援従事者初任者研修(伊名岡)
14日(金) うさぎの会(高田)、指定障がい児支援事業者等集団指導(築山)
18日(火) 利用者支援の研修(前畑)
29日(土) TEACCHプログラム研修会(宮原)
- 10月 1日(月) 自閉症支援コンサルタント養成講座(藤原た)
3日(水) 看護職員研修(飯坂)
5日(金) 成人施設課程研修(藤原ゆ)
6日(土) 自閉症eサービス定例会(藤原た、伊名岡、松田)
11日(木) 集団指導養成講座(杉本)
12日(金) 成人施設課程研修(藤原ゆ)
15日(月) 大阪知的障害者福祉協会研修会(松田)
27日(土) TEACCHプログラム研修会(宮原)
- 11月 2日(金) 堺市感染症予防講習会(飯坂)、大阪障害フォーラム主催シンポジウム(吉川)
9日(金) 実践交流会(藤原ゆ、築山)
10日(土) 自閉症eサービス定例会(藤原た、伊名岡、松田)、
TEACCHプログラム研修会(宮原)
16日(金) うさぎの会(高田)
19日(月) 堺市社会福祉施設職員研修会(築山)
26日(月) 自閉症eサービスフェロー研修(藤原た)
28日(水) マッセ、市民セミナー(舘野)
30日(金) 施設階層別人権研修(藤原ゆ)
- 12月 12日(水) 堺市高次脳機能障害支援普及研修会(藤原ゆ)
20日(木) リスクマネジメントに関する研修(田中)
- 1月 18日(金) 21日(月) 22日(火) サービス管理責任者等研修(舘野)
22日(火) 金剛福祉センターAAC研修(伊名岡)
25日(金) うさぎの会(高田)、大阪知的障害者福祉協会研修会(宮原)
29日(火) 自閉症eサービスフェロー研修(藤原た)
- 2月 2日(土) 自閉症スペクトラムの評価セミナー2(伊名岡)
14日(木) ~15(金) 近畿地区知的障害関係施設職員研修会(杉本)
サービス管理責任者研修ファシリテーター派遣(藤原た)
15日(金) 実践交流会分散会(藤原ゆ、伊名岡、築山)
調理師研修(青山)
21日(木) じょぶライフだいせん研修会(室井)
22日(金) 高次脳機能障がい支援機関職員研修会(松田)
福祉避難所訓練(舘野)
- <各種会議(外部)への参加状況>
- 4月 6日(金) 堺市立庭代台小学校校庭開放会議(藤原ゆ)
10日(火) 堺障害児(者)施設部会役員会(吉川)、パッセ会議(舘野)
12日(木) 堺障害児(者)施設部会(築山)、障がい者の生活の場を考える会(宮原)

- 13日（金）大阪知的障害者福祉協会日中活動支援部会（伊名岡）
- 14日（土）大阪障害フォーラム定期総会（吉川）
- 17日（火）堺障害児（者）施設・事業所運営者連絡会 短期事業所部会（吉川）
- 20日（金）大阪知的障害者福祉協会役員会（吉川）
- 26日（木）パッセ会議（館野）
- 5月 8日（火）堺市立庭代台小学校校庭開放会議（藤原ゆ）
- 10日（木）障がい者の生活の場を考える会（宮原）
- 16日（水）NPO法人堺市相談支援ネット理事会（吉川）、堺障害児（者）施設部会役員会（吉川）
- 18日（金）大阪知的障害者福祉協会ソフトボール大会抽選会（松田）
- 19日（土）大阪知的障害者福祉協会機関紙取材（伊名岡）
- 21日（月）堺市相談支援ネット総会（吉川）
- 23日（水）障がい者の生活の場を考える会総会（家族会、宮原）
- 24日（木）堺障害フォーラム運営委員会（吉川）
- 28日（月）堺市就労・生活支援センター総会（吉川）
- 29日（火）重症心身障害者の日中活動を考える会（築山）
- 30日（水）大阪知的障害者生活サポート協会理事会、評議員会（吉川）
大阪知的障害者福祉協会日中活動支援部会（伊名岡）
- 6月 8日（金）NPO法人堺市相談支援ネット総会（吉川・築山）
- 14日（木）堺障害児（者）施設部会（築山）、実践交流会実行委員会（藤原ゆ）
- 15日（金）障がい者の生活の場を考える会（宮原）
- 19日（火）堺市社会福祉施設協議会総会（築山）
- 22日（金）大阪知的障害者福祉協会役員会（吉川）
大阪知的障害者福祉協会総会研修会（吉川、伊名岡）
- 27日（水）堺市社会福祉施設協議会研修員会（築山）
- 28日（木）大阪知的障害児者生活サポート協会評議員会（吉川）
- 29日（金）重症心身障害者の日中活動を考える会（田中、藤原ゆ、築山）
- 7月 2日（月）泉北ブロック進路指導連絡会（藤原た）
- 4日（水）NPO法人堺市相談支援ネット理事・懇談会（吉川）
- 6日（金）堺障害フォーラム（SDF）運営委員会（吉川）
- 10日（火）堺市立庭代台小学校校庭開放会議（松田）
- 12日（木）障がい者の生活の場を考える会（宮原）、実践交流会実行委員会（藤原ゆ）
- 19日（金）大阪知的障害者福祉協会日中活動支援部会（伊名岡）、エルチャレンジ作業説明会（宮原）
- 20日（金）堺市相談支援ネット新任職員研修（吉川）、大阪知的障害者福祉協会役員会（吉川）
- 21日（木）ひかり協会社会保障関係部会（吉川）
- 30日（月）NPO法人堺市相談支援ネット理事会（吉川）
- 8月 6日（月）NPO法人堺市相談支援ネット理事会（吉川）
- 9日（木）堺障害児（者）施設部会（築山）、実践交流会実行委員会（藤原ゆ）
障がい者の生活の場を考える会（宮原）
- 11日（土）NPO法人堺市相談支援ネット理事会（吉川）
- 17日（金）大阪知的障害者福祉協会役員会（吉川）
- 23日（木）大阪知的障害者福祉協会日中活動支援部会（伊名岡）
- 27日（月）NPO法人堺市相談支援ネット理事会懇談会（吉川）
- 9月 3日（月）大阪知的障害者福祉協会機関紙編集委員会（伊名岡）

- 4日(火) 大阪知的障害者生活サポート協会理事会、評議員会(吉川)
- 6日(木) 堺障害フォーラム(SDF)運営委員会(吉川)
- 13日(木) 障がい者の生活の場を考える会(宮原)、実践交流会実行委員会(藤原ゆ) 堺障害フォーラム(SDF)運営委員会(吉川)、NPO法人堺市相談支援ネット理事会(吉川)
- 19日(水) NPO法人堺市相談支援ネット市との協議(吉川)
- 20日(木) 大阪知的障害者福祉協会日中活動支援部会(伊名岡)
堺障害児(者)施設部会役員会(吉川)
- 24日(月) 堺障害フォーラム(SDF)第4回集会の案内、市・市議会回り(吉川)
- 25日(火) 堺市社会福祉施設協議会研修員会(築山)、堺市立庭代台小学校校庭開放会議(松田)
- 10月 1日(月) NPO法人堺市相談支援ネット運営調整会議(吉川)
- 3日(水) 堺障害フォーラム(SDF)運営委員会(吉川)
- 11日(木) 堺障害児(者)施設部会(築山)、実践交流会実行委員会(藤原ゆ)
- 16日(火) 重症心身障害者の日中活動を考える会(築山)
大阪知的障害者福祉協会日中活動支援部会(伊名岡)
- 24日(水) NPO法人堺市相談支援ネット運営調整会議(吉川)
- 11月 1日(木) 障がい者の生活の場を考える会(宮原)
- 13日(火) 堺障害フォーラム(SDF)運営委員会(吉川)
- 15日(木) 大阪知的障害者福祉協会日中活動支援部会(伊名岡、中林)
- 21日(水)～22日(木) 近畿地区知的障害関係施設長会(築山)
- 27日(火) 障がい者の生活の場を考える会(家族会)
- 12月 5日(月) 堺障害児(者)施設部会役員会(吉川)
NPO法人堺市相談支援ネット運営調整会議(吉川)
- 12日(水) サービス管理責任者ファシリテーター事前打ち合わせ(藤原た)
- 13日(木) 堺障害児(者)施設部会(吉川、築山)、障がい者の生活の場を考える会(宮原)
実践交流会実行委員会(藤原ゆ)
- 14日(金) NPO法人堺市相談支援ネット運営調整会議(吉川)
堺障害フォーラム(SDF)運営委員会(吉川)
大阪知的障害者福祉協会機関紙編集委員会(伊名岡)
大阪知的障害者福祉協会日中活動支援部会(藤原た、伊名岡)
- 1月 8日(火) 堺市立庭代台小学校校庭開放会議(松田)
- 10日(木) 大阪障害フォーラムの集い(吉川)、実践交流会実行委員会(藤原ゆ)
- 18日(金) 大阪知的障害者福祉協会役員会(吉川)
- 23日(金) 堺市社会福祉施設協議会新年初会合(築山)
- 29日(火) 障がい者の生活の場を考える会(家族会)
- 30日(水) NPO法人堺市相談支援ネット運営調整会議(吉川)
- 31日(木) 堺障害フォーラム(SDF)運営委員会(吉川)
- 2月 7日(木) NPO法人堺市相談支援ネットセンター長こん談会(吉川)
- 12日(火) 西区授産施設交流会(室井)
- 13日(水) 障がい者の生活の場を考える会施設づくり検討会(吉川)
- 14日(木) 堺障害児(者)施設部会(築山)、障がい者の生活の場を考える会(宮原)
- 15日(金) 堺障害フォーラム(SDF)運営委員会(吉川)
- 21日(木) 大阪知的障害者福祉協会役員会(吉川)
- 27日(水) NPO法人堺市相談支援ネット運営調整会議(吉川)

28日（木）大阪知的障害者福祉協会日中活動支援部会（伊名岡）（ショートステイうてな見学会）

3月 4日（月）泉北ブロック進路指導関係機関連絡会（藤原た）

7日（木）大阪障害フォーラム（ODF）団体連絡会（吉川）

8日（金）堺障害フォーラム（SDF）運営委員会（吉川）

12日（火）堺市立庭代台小学校校庭開放会議（松田）

14日（木）障がい者の生活の場を考える会（宮原）、実践交流会実行委員会（藤原ゆ）

15日（金）NPO堺市相談支援ネット理事会（吉川）、近畿運輸局バリアフリー会議（吉川）

19日（火）障がい者の生活の場を考える会（経営部門）（吉川）

19）苦情解決事業・ご意見箱（全事業合同）

日常的な多数の苦情、要望が寄せられた。しかし、いずれの場合も公式な「苦情解決事業」にのことはなく、一定の改善、解決をみた。全てをあげればきわめて多数になるが書面に示して対応したケースは以下のとおり。（18件）

①防災対策の更なる充実、実施	1件
②日中活動への要望（行事、運動、レクリエーション活動等）	5件
③家族への連絡の方法	5件
④送迎のあり方	4件
⑤休憩時間の間食について	1件
⑥家庭訪問してほしい	1件
⑦健康管理について	1件
⑧利用者から ―― 旅行の実施、備品の購入等	多数
⑨その他	多数

解決したような形をとりながら問題が潜在化した場合も多いのではないかと考えられる。

20）安全衛生委員会報告（全事業合同）

定例の職員会議の中で委員会を実施。ヒヤリ・ハット報告、事故、傷病報告を分析、改善に努めた。書面で報告されたものとして

- ①ヒヤリ・ハット報告数 17件
- ②利用者事故・傷病記録数 50件

軽微で書面報告に至らなかったもの、職員が気づかなかったケースなども含めるともっと多数と考えられる。以下それぞれの概要（大別）

- ①ヒヤリ・ハット（17件）
 - ・利用者の不調時による受傷（擦り傷）（1）
 - ・不注意による受傷（擦り傷、火傷）（2）
 - ・利用者間のトラブル中の受傷（2）
 - ・転倒（送迎中含む）（3）
 - ・利用者行方不明（1）
 - ・エレベーターの扉開放状態（1）
 - ・備品紛失（3）
 - ・備品転倒（1）
 - ・送迎ミス（1）
 - ・利用者私物返却忘れ（2）
- ②事故、傷病など（50件）
 - ・他害（すり傷、噛傷、打撲等）（10）

- ・病気による通院（１、多数）
- ・不注意による受傷（１０）
- ・異物を身体にいれる（２）
- ・てんかん（入浴中、送迎中、作業中等）（３、多数）
- ・利用者間のトラブルによる受傷（４）
- ・服薬ミス（４）
- ・公用車、職員の自家用車の事故（送迎中含む）（７）
- ・職員の不注意による送迎ミス（４）
- ・行動制限による受傷（３）
- ・職員間連絡ミス（１）
- ・原因不明の受傷（１）

２１）法人機関紙「至心」の発刊（全事業合同）（法人事業報告と同様）

今年度は、№.１４８～№.１５１まで、計４回発刊した。（４月・７月・１０月・１月の２５日発行）
今年度も引き続き３ヶ月に１回の発刊。

改善のとり組みにより、昨年度より発行に余裕がでる。至心会議の開催を早めたことによると思われる。その後の原稿提出にも各職員に意識の向上が見られた。５事業所合同となったことで紙面が一新される。それに伴い編集長を設定したが、チェック漏れなどの課題が残った。次年度は№.１５２～の発刊となる。

２２）加盟団体・組織など（全事業合同）

- ① 堺市社会福祉協議会、堺市社会福祉施設協議会、堺障害児者福祉分野連絡会
- ② 大阪府社会福祉協議会、成人施設部会
- ③ 大阪府授産事業振興センター（賛助会員）
- ④ 大阪知的障害者福祉協会、日本知的障害者福祉協会、近畿地区知的障害者施設協会
- ⑤ 堺障害児者施設部会、堺障害児（者）施設事業所・運営者連絡会
- ⑥ パッセネットワーク
- ⑦ ティーチプログラム研究会大阪支部
- ⑧ 自閉症eサービス
- ⑨ 堺障害フォーラム（SDF）

２３）ボランティアの支援（全事業合同）

今年度はボランティア体験プログラムによる参加２名。（７／１０、７／１４）

平成２４年２月より散髪ボランティアが再開となる。

ヨガは引き続き休止状態。

７月より月１回エアロビクスをボランティアにより実施。

今年度のボランティアの受け入れ人数(延べ人数)は下記の通り。

- 作業・介助ボランティア ２３８名
- 散髪ボランティア １２名
- 光輝法（別途報告書あり） ３６名（月１回 ４名）
- 青年学級 月曜日（むうみん 人数不明）
- レクレーション

書道 ７名（月１回の予定だったが、ボランティアさんの都合によりお休みの場合もあった為）

土曜日通所レクレーション ５３名

その他 １５名

24) 施設（見学）実習・研修などの受け入れ（全事業合同）

- 1.（職場体験実習）無
 - 2.（支援学校等施設実習）
 - ・大阪府泉北支援学校高等部学生三年生（4名）（6月20日～21日）
 - ・体験実習（1名）（7月23日～25日）
 - ・大阪府和泉支援学校学生三年生（1名）（8月2日～3日）
 - ・大阪府和泉支援学校学生三年生（1名）（10月29日～30日）
 - ・Mさん（10月30日、11月2日）
 - ・新規利用予定者体験実習（Hさん、Tさん）（3月21日、22日）
 - 3.（介護体験実習）
 - ・大阪体育大学
 - ・教員来所11月2日（金）・12月13日（木）
 - 11月26日（月）～30日（金）（1名）、12月3日（月）～7日（金）（3名）
 - 12月10日（月）～14日（金）（3名）
 - ・プール学院大学
 - ・オリエンテーション（藤原た）6月5日（火）
 - 8月20日（月）～24日（金）（3名）、8月27日～31日（金）（3名）
 - 9月3日（月）～7日（金）（2名）、9月10日（月）～14日（金）（2名）
 - ・羽衣国際大学
 - ・オリエンテーション（藤原た）2月12日（火）
 - 2月25日（月）～26日（火）（2名）（インフルエンザ流行のため施設休所となり残り3日間は25年度に実施）、3月4日（月）～8日（金）（2名）
 - 4.（社会福祉士実習）
 - ・堺みなみの実習生2名 8月21日（火）
 - 5.（その他現任研修）
 - ・ニッソウネット 4月26日（木）27日（金）6月1日（金）4日（月）5日（火）（1名）
 - 6.（見学者の状況）
 - 4月12日（木）プール学院大学教員（2名）
 - 26日（木）ニッソウネット担当者（1名）、利用希望者（T・Dさん）
 - 5月11日（金）堺市自立支援協議会当事者部会関係者（2名）
 - 6月 8日（金）大阪府立泉北支援学校高等部3年（親子3組）
 - 13日（水）大阪府立和泉支援学校高等部3年（山盛先生、家族2名）
 - 18日（月）大阪府立泉北支援学校高等部（家族6名）
 - 19日（火）大阪府立泉北支援学校高等部1年（家族3名）
 - 7月 9日（月）堺市授産活動支援センター2名
 - 26日（木）大阪府立和泉支援学校実習事前打ち合わせ
 - 30日（月）堺市相談支援ネット中区基幹相談支援センター職員（3名）
 - 8月 6日（月）貝塚いぶき作業所職員2名
 - 11月15日（木）ケアネットサービス打ち合わせ
 - 12月 3日（月）ケアネットサービス打ち合わせ
 - 3月12日（火）中区相談支援事業者見学会
- *利用希望等による個人的な見学多数あり。

25) 家族会活動、後援会活動

定期（原則として毎月第1火曜日の午前）に家族会が開催された。月毎の案件については事前の役員

会で協議検討され、家族会で諮られた。施設からは毎回、施設長、主任が臨席し、施設からの報告やお願い、又諸情報の提供などをさせていただいた。7月3日に社会福祉士の高橋 攝さんにより成年後見人制度について講演をして頂いた。11月に堺障害フォーラム集会の参加、12月ショートステイ整備に関する抗議行動、1月の説明会に参加。

昨年度に引き続き他の法人施設の家族会と連携され、「堺・障害者（児）の生活の場を考える会」の活動に取り組まれた。

後援会活動にも多数の家族が参加された。後援会への個別の入会をはじめ、既定の資金あつめ活動（バザー活動（10月21日ファインプラザバザー実施））への参加など、相当の労を提供していただいた。

平成24年度（2012年度） -第8期- ショートステイ うてな 事業 報告

開所より8年目を迎えたショートステイうてな（以下 S.S うてな）。今までにない課題が次第と浮き彫りになった。

今年度についても引き続き各行政機関やご家族の方からの依頼が多数あったが、職員体制、および習得スキルでは対応できかねる方が多く、こちらからお断りさせていただくケースがほとんどで新しい受け入れ体制を作っていかなければいけない課題が出てきた。又、夜間時の病気、ケガ、てんかん発作等、医療行為が必要な時の病院の協力が難しく、今後の大きな課題となる。

1) 職員体制

正 職 員	男性	3 名	女性	1 名	
非 常 勤 職 員	男性	3 名	女性	4 名	
(非常勤 介助職員 男性 1 名、非常勤 送迎職員 女性 1 名 24 年 6 月～)					計 11 名

職員体制は上記の通りであるが、スタッフの強化と増員、年度途中より非常勤介助職員の配置を行い、送迎業務を担当する職員を配置した。食事については、食事の準備と土曜日の入浴介助はシルバー人材センターを活用した。又、アルバイト宿直の人数を増やし、利用者のニーズに対応できるように努めた。全体としてはうてなの専従職員の絶対数が足りないので、法人全体の事業であるという意識を高め、できるだけ他部門の業務に支障をきたさないよう体制を整えた。

2) 支援実施状況

○食事について

食事は栄養補給だけではなく利用者の楽しみのひとつである。食事を楽しく、又、安全な食事提供を実施する為に、利用者の体調・疾患・嚥下状態などに合わせた食事内容や介助方法が必要である。①栄養士との定期的な打ち合わせ②アレルギー食材の除去③きざみ食ー一口大・2cm×2cm・小豆大・米粒大など調理方法の工夫④カロリー制限食⑤ミキサー食、ペースト状食などの対応を行った。

全職員が対応できるように、配慮方法を記入した個々のプレート作成を実施している。

○入浴または清拭について

入浴に関しては「S.S うてな 入浴マニュアル」にしたがい、入浴前のバイタルチェック、衣服の脱衣介助、身体洗い介助、洗髪・洗顔介助、見守り介助、着衣介助、入浴後バイタルチェックなどを行った。また、現在の「S.S うてな」人員配置では、常時2名以上の入浴介助体制が困難なため、スタッフの増員により入浴介助体制を強化して事故のないように努めた。自力での座位保持困難な方々には、シャワーチェアを使用し、洗身・洗髪後リフトにて一般浴槽に入湯していただき、重症心身障害の方々には、御一人に2名以上の体制で介助にあたり、リフト付の浴槽で入湯していただいた。

○清掃について

清掃に関しては「S.S うてな 清掃マニュアル」にしたがい、施設内を消毒用洗剤で毎日清掃した。また、感染症に対しても「S.S うてな 感染症マニュアル」にしたがい、塩素系洗剤で洗浄後、上記の通常清掃を行い対応した。

○健康管理について

うてな利用中の健康管理については事前情報などによりできる限り対応しているが、特に自宅での健康管理の難しい方（糖尿病・肥満など）については、うてなを利用することによって改善を図るなど本人の健康管理の一端を担っているケースもあった。

○他機関との連携

利用者の方で、特に他機関との連携が必要な場合は、随時 S.S うてなスタッフが各会議に出席し、同じ方針でその方に対応できるよう連絡を取り合った。

○堺市障害者（児）短期入所緊急利用支援事業

11月1日より堺市障害者（児）短期入所緊急利用支援事業開始。毎日緊急用ベットとして1床確保し、緊急時に備える。

11月 12日間（8床）

4件 ご親戚のご不幸 1件 介助者の体調不良 3件

12月 6日間（5床）

1件 介助者の体調不良 1件

1月 23日間（18床）

5件 虐待 1件 介助者の体調不良 4件

2月 11日間（9床）

3件 介助者の体調不良 3件

3月 24日間（20床）

4件 虐待 2件 介助者の体調不良 1件 一人暮らしで体調不良 1件

3) 利用状況（2013年3月31日現在）

○障害程度区分状況

	男	女	計	重度支援	医療型 (療養介護)	重複
区分1	2	1	3			
区分2	5	14	19			
区分3	25	10	35			2
区分4	22	21	43			7
区分5	31	15	46		2	7
区分6	29	26	55	32	19	33
合計	114	87	201	32	21	49

○利用状況（満床１０床）

月	利用率	延べ人数	月	利用率	延べ人数
４月	９１％	２７３	１０月	９５％	２９４
５月	９１％	２８１	１１月	９５％	２８５
６月	９１％	２７２	１２月	８９％	２７５
７月	８８％	２７４	１月	９０％	２７８
８月	９３％	２８９	２月	８９％	２５０
９月	９１％	２７２	３月	９２％	２８５

年平均 ９．１床 延べ人数 ３３２８人

平成24年度（2012年度）－第9期－ うららのお店（就労継続B型）事業報告書

◇運営の概要

- 1) 障害福祉サービス事業「就労継続B型」として6年半事業を運営してきた。
運営の安定を図るため月2回の土曜日開所を継続。
- 2) 年2回アセスメント・支援計画の作成・モニタリングを行い、それに従い利用者支援を行った。
- 3) 授産活動については、利用者の給与アップを目標とし、スタッフミーティングにおいて毎回意見を出し合い、実行に移していった。また、新装オープンにより、新規のお客が増え、売り上げもアップした。
- 4) 職員体制については、常時4名の職員を配置。正職員1名と月ぎめ月給職員1名以外の時間給職員は、午前午後に分けたシフトに従って勤務を行った。
- 5) 自力通所困難な利用者に対して、2コースを組み送迎支援を行った。
- 6) 利用者の自治会活動や自主的な活動への支援を行った。
- 7) ショートステイ・ガイドヘルパー利用について、申請手続きや予定の調整などの支援を行った。
- 8) 安全衛生委員会を中心に、特別対応月間を設け感染症予防の対策に取り組んだ。
毎朝の体温チェック、消毒など利用者の健康面に留意した。
- 9) 虐待防止受付担当者を置き、虐待の防止に努めた。
- 10) 災害に備え防災対策に取り組んだ。
- 11) 団体活動として合唱に取り組み、地域活動支援センター遊夢音の音楽プログラムに参加した。
- 12) 地域の中学校より体験学習、高等支援学校より現場実習を受け入れた。
- 13) 地域の幼稚園とお誕生日会など、様々な行事で交流を行った。
また、地域の小学校との交流会にも参加した。
- 14) らららイーストとして毎月1回東区役所でのらららバザーに参加し、授産活動及び啓発活動を行った。
- 15) 合同区域交流会に参加し、美原区・東区内の、障害、老人、保育の3分野が各施設を順に見学、交流を深めた。
- 16) 4施設の自主製品の店頭販売を行った。
- 17) 家族会は、今年度は施設において3回開催された。職員も同席し情報交換を行った。
- 18) 障友会後援会うらら支部として店頭での商品販売を行い、また東区民祭りにも参加した。
- 19) 大阪府障がい者自立支援基盤整備事業補助金を受け、施設改修工事を行なった。

(1) 利用者の状況 (平成25年3月31日現在)

○平成24年度の利用契約状況

【利用開始】 該当者なし

【利用中止】 該当者なし

○男女別年齢別 15名: 男3名 女12名

	20才未満	20～24才	25～29才	30～34才	35～39才	40～44才	45～49才	50～54才	55～59才	60～64才	65才以上	合計
男						1		1	1			3
女		1	3		1	2	3	2				12
合計		1	3		1	3	3	3	1			15

【平均年齢】 男性 51才 女性 39才 全体 41才

○男女別・障害程度別(療育手帳による)

	全体	男	女
A	6	1	5
B1	7	2	5
B2	2		2
合計	15	3	12

○男女別、障害程度区分(全員 就労継続B型)

区分	非該当	1	2	3	4	5	6	合計
男				2			1	3
女			6	6				12
合計			6	8			1	15

○介護保険利用状況 該当者なし

○他障害との重複状況

①精神疾患との重複		何らかの精神薬服用者 4名
②身体障害との重複	3名	肢体不自由 2名 視覚障害 1名
③自閉症	3名	
④ダウン症	なし	
⑤てんかん	5名	

○家族の状況

- ・両親死亡 3名 (男 1名 女 2名 ※この内一人暮らしの利用者 1名)
- ・片親の人 5名 (母のみ 4名 父のみ 1名)
- ・80歳以上の家族 2名

○金銭管理等支援利用状況

・成年後見制度

	後見	保佐	補助
家族による	1		
第三者による	1	1	
合計	2	1	

・日常生活自立支援事業

利用者・・・該当者なし

・日中活動担当職員による管理

通帳管理も含む … 1名

小遣い(現金)のみ … 2名

○地域生活支援サービス利用状況

	一人暮らし	ホーム入居者	在宅者	計
ガイドヘルプ	1	4	8	13
ホームヘルプ (家事援助)			1	1
(身体介護)			1	1

○利用率の状況(月別、年度の全体の利用率、%)

月 事業別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均 利用率
開所日数	22	23	23	23	20	21	24	23	21	20	21	22	22日
平均利用率	81.5	79.1	79.6	76.2	75.2	77.1	77.8	77.2	79.1	79.6	76.0	74.8	77.8

※定員 15名

○職員配置状況

・正職員 1名

・月ぎめ非常勤職員 1名

・時間給職員 8名(内2名 運転職員)

(2) 平成24年度 授産事業の取り組み

授産内容

① 喫茶作業

たこ焼き・焼きそば・ケーキ・クッキー・ハンバーグその他の調理及び調理補助、
他施設の授産製品・リサイクル品・その他店頭商品の販売

レジ作業、売上伝票記帳と統計、仕入、配達業務、掃除、リサイクル品整理

② 委託加工作業

レオニス、(カギホック、シャツボタン、セーフロック、シャツ入れ替えなど)

新光加工(あさがお種セット、糸巻き、カラーシートセット、毛糸結び等の教材作り)

近畿商会(宅急便荷札のひもむすび)

③ 主製品の刺繍布巾の縫製

④ アルミ缶収集

24年度授産事業の収支

月分	喫茶		喫茶利益	アルミ缶 回収	自販機 収入	受託加工 作業	堺みなみ 廃品	純利益
	売上	仕入						
4	316,905	166,683	150,222	11,376	0	28,438	0	190,036
5	430,790	191,052	239,738	7,164	0	34,183	0	281,085
6	434,118	267,100	167,018	7,845	0	20,207	0	195,070
7	471,661	300,122	171,539	9,712	0	16,145	7,440	204,836
8	423,260	218,845	204,415	9,180	8,484	25,483	0	247,562
9	324,420	176,405	148,015	10,095	10,819	23,018	3,205	195,152
10	452,213	269,862	182,351	7,207	8,981	31,855	0	230,394
11	445,887	243,423	202,464	5,752	8,143	10,257	4,700	231,316
12	462,675	291,531	171,144	6,434	6,414	30,539	1,000	215,531
1	225,823	87,846	137,977	6,016	6,384	28,930	0	179,307
2	89,170	43,147	46,023	6,917	4,426	31,234	2,700	91,300
3	401,485	324,927	76,558	3,186	8,875	28,275	0	116,894
合計	4,478,407	2,580,943	1,897,464	90,884	62,526	308,564	19045	2,378,483

月分	受託加工作業所別収入			合計（円）
	レオニス	近畿商会	新光加工	
4	0	12,500	15,938	28,438
5	9,255	15,000	9,928	34,183
6	4,226	10,000	5,981	20,207
7	0	7,500	8,645	16,145
8	9,257	10,000	6,226	25,483
9	5,386	7,500	10,132	23,018
10	14,397	12,500	4,958	31,855
11	0	0	10,257	10,257
12	18,878	7,500	4,161	30,539
1	10,188	12,500	6,242	28,930
2	12,856	10,000	8,378	31,234
3	11,475	5,000	11,800	28,275
合計	95,918	110,000	102,646	308,564

利用者の平均工賃（給与） 月額 11,218円

（3）平成24年度月別特記事項と諸行事

《4月》

- 1日 新年度体制スタート
利用者自治会新役員スタート
- 10日 消防署定期立ち入り検査
- 14日 土曜通所日 大掃除
新職員歓迎会
- 18日 法人中長期計画検討委員会
- 19日 法人防災会議参加
- 20日 らららバザー(東区役所)
- 23日 土曜通所日 和泉小川農園にてイチゴ狩り
- 26日 サーカス鑑賞会
- 28日 土曜通所日 合唱指導ボランティアさん来所

《5月》

- 2日 『風うらら』発送
- 8日 子育て支援参加
- 10日 遊夢音開所セレモニー参加
- 12日 土曜通所日 大掃除
- 17日 法人内部監査
- 23日 登美丘東幼稚園お誕生会参加（2名）
- 20日 区民まつりバザー参加
- 25日 らららバザー（東区役所）
- 26日 土曜通所日 浜寺公園バラ園見学
- 28日 工賃向上計画提出
- 30日 遊夢音にて音楽プログラムに参加（5名）
- 31日 店頭にて北野田医療生協健康チェック
法人防災会議参加

《6月》

- 1日 食中毒予防講習参加
- 6日 歯科検診開始
- 9日 土曜通所日 大掃除
- 11日 登美丘東幼稚園授業研究会参加
- 12日 子育て支援参加
- 13日 遊夢音にて音楽プログラムに参加（7名）
- 14日 トータル研修参加
- 15日 法人中長期計画検討委員会
- 19日 台風接近のため13時帰所
- 22日 らららバザー参加（東区役所）
- 23日 土曜通所日 シャボン玉作り
- 25日 法人防災会議参加
- 26日 火災避難訓練（消防署立ち合い）
- 27日 登美丘東幼稚園お誕生会参加（1名）
遊夢音にて音楽プログラムに参加（7名）
- 29日 登美丘東幼稚園七夕飾り作り参加（4名）

《7月》

- 2日 運転職員体調チェック開始
- 4日 遊夢音にて音楽プログラムに参加（7名）
- 6日 登美丘東幼稚園七夕まつり参加（3名）
- 10日 地震避難訓練（自主訓練）
子育て支援参加
- 11日 法人中長期計画検討委員会
- 13日 健康福祉プラザ見学
利用者賞与日
- 14日 土曜通所日 大掃除
午後 家族会
- 18日 法人スキルアップ研修参加（2名）
登美丘東幼稚園お誕生会参加（3名）

- 21日 高松団地夏祭り参加
- 24日 法人スキルアップ研修参加（5名）
- 25日 遊夢音にて音楽プログラムに参加（9名）
- 26日 泉北高等支援学校保護者見学
- 27日 らららバザー参加（東区役所）
- 28日 土曜通所日 陶芸
害虫駆除

《8月》

- 8日 法人中長期計画検討委員会
- 11日 土曜通所日 大掃除
- 13日 高松青年団夏祭り
- 13日～17日 夏季休暇
- 22日 遊夢音にて音楽プログラムに参加（通所者全員）
- 23日 合同区域交流会参加
法人防災会議参加
- 24日 らららバザー参加（東区役所）
- 25日 土曜通所日 吉本新喜劇観劇
- 28日・29日 泉北高等支援学校より現場実習（1名）
- 29日 登美丘東幼稚園お誕生会参加（2名）
遊夢音にて音楽プログラムに参加

《9月》

- 8日 土曜通所日 大掃除
- 11日 子育て支援参加
- 12日 遊夢音にて音楽プログラムに参加（通所者全員）
法人中長期計画検討委員会
法人防災会議参加
- 14日 うらら横の電柱に落雷
- 19日 法人スキルアップ研修参加（2名）
- 21日 登美丘東幼稚園お誕生会参加（1名）
- 25日 法人スキルアップ研修参加（3名）
- 26日 遊夢音にて音楽プログラムに参加（通所者全員）
- 28日 らららバザー参加（東区役所）
- 29日 土曜通所日 調理実習

《10月》

- 9日 子育て支援参加
- 10日 赤十字街頭募金参加（北野田駅）
- 11日 法人リーダーズ研修参加（1名）
- 13日 土曜通所日 大掃除
- 16日 定期健診
- 17日 遊夢音にて音楽プログラムに参加（通所者全員）
法人中長期計画検討委員会
- 19日 日帰り旅行（マリーナシティ）
- 22日 登美丘東幼稚園お誕生会参加（1名）

- 24日 遊夢音にて音楽プログラムに参加（通所者全員）
- 27日 土曜通所日 作品展に向けて絵画制作
家族会
- 31日 体験学習打ち合わせ（登美丘中）

《11月》

- 6日 SDF集会参加
- 6日・7日 体験学習（登美丘中・2名）
- 8日 インフルエンザ予防接種（GH入居者4名）
- 9日 体験学習打ち合わせ（野田中）
実践交流会参加
- 10日 土曜通所日 大掃除
- 13日 子育て支援参加
- 14日 遊夢音にて音楽プログラムに参加（通所者全員）
法人中長期計画検討委員会
法人防災会議参加
- 15日・16日 体験学習（野田中・2名）
- 21日 法人スキルアップ研修参加（3名）
- 22日 らららバザー参加（東区役所）
- 24日 土曜通所日 腹話術ボランティアさん来所
- 26日 登美丘東幼稚園授業研究会参加
- 27日 法人スキルアップ研修参加（3名）
- 28日 遊夢音にて音楽プログラムに参加（通所者全員）
- 29日 登美丘東幼稚園お誕生会参加（3名）

《12月》

- 1日 遊夢音にて音楽発表会参加（土曜通所日）
- 4日 作品展見学（努力賞受賞）
- 6日 登美丘東小お餅つき大会参加（5名）
- 12日 堺市より実地指導
- 14日 利用者賞与日
- 17日 クリストフォーリークリスマス会に参加（5名）
- 18日 堺市への抗議行動に参加（ショートステイ増設について）
- 19日 遊夢音にて音楽プログラムに参加（通所者全員）
法人虐待防止委員会参加（家族会より）
登美丘東幼稚園お誕生会参加（1名）
- 21日 らららバザー参加（東区役所）
- 22日 土曜通所日 うららにてお楽しみ会
- 25日 フレンズクリスマス会参加
- 27日 火災避難訓練（自主訓練）
- 28日 仕事納め 大掃除
平成24年振り返りミーティング

《1月》

- 7日 仕事始め
合同区域交流会研修参加

- 8日 子育て支援参加
- 12日 土曜通所日 アンゴリーノつつじにて新年会
- 16日 法人スキルアップ研修参加（2名）
- 21日～ 喫茶休業・改修工事準備
- 22日 法人スキルアップ研修参加（3名）
- 23日 遊夢音にて音楽プログラムに参加（通所者全員）
法人中長期計画検討委員会
法人防災会議参加
- 25日 改修工事着工
- 26日 土曜通所 東区自立支援協議会ゆるキャラデザイン制作
- 28日 登美丘東幼稚園お誕生会参加（2名）

《2月》

- 6日 遊夢音にて音楽プログラムに参加（通所者全員）
- 8日 ドクター相談（Kさん）
東区自立支援協議会研修参加
- 9日 大阪ガス科学館見学
- 12日 子育て支援参加
- 14日 バレンタインチョコ配る
- 15日 登美丘西小学校との交流会
実践交流会参加（1名）
- 19日 登美丘東幼稚園お誕生会参加（1名）
- 20日 遊夢音にて音楽プログラムに参加（通所者全員）
- 22日 らららバザー見学へ
- 23日 土曜通所日 手話ボランティアさん来所
- 25日 荒山公園にて梅見学
- 26日 登美丘東幼稚園お別れ会参加（3名）
- 28日 改修工事終了

《3月》

- 4日 開店準備開始
- 6日 堺市より建築確認調査
遊夢音にて音楽プログラムに参加（通所者全員）
- 7日 消防署確認調査
- 9日 土曜通所日 プレオープンセレモニー
- 11日 喫茶うららのお店新装オープン
- 12日 登美丘東幼稚園お誕生会参加（1名）
- 22日 らららバザー（東区役所）
- 23日 土曜通所日 イチゴ狩り
- 29日 利用者自治会選挙
年度末手当支給
- 30日 異動職員送別会

定例会議

- 毎月 スタッフミーティング 第一金曜日PM7：00から
- 毎月 障友会連絡会 最終水曜日（わららかにて）

定例行事

毎月 子育て支援に参加 第二火曜日 登美丘東小学校
毎月 土曜行事 第四土曜日
毎月 登美丘東幼稚園お誕生会に参加
毎月 大掃除 第二土曜日
毎月 らららバザーに参加
毎月 地域活動支援センター遊夢音にて音楽プログラム参加（水曜日）
年1回 定期健診

（４）利用者の通所支援、送迎の実施

- ・ 自力通所困難な利用者に対し送迎支援
- ・ 15名中8名の利用者に対して実施
- ・ Aコース、Bコースの2コースで対応
- ・ 利用者の要望に柔軟に対応（雨天時など）
- ・ 運転者の体調については乗車前に必ず確認を行なった。

（５）利用者の自主活動

利用者全員による選挙で、会長、副会長、書記を選出。選ばれた役員は、利用者の代表として、行事の際の司会や挨拶を行った。会長は毎朝のミーティングの司会、書記は、ミーティングや自治会開催時の記録をまとめ、副会長は会長を補佐し、会長が不在の際はその代わりを務めた。自治会は必要に応じて不定期に開催し、職員は自治会が円滑に進行するよう支援を行った。

（６）利用者の健康、衛生管理

- ・ 定期健康診断 10月16日実施
- ・ 口腔歯科月間 6月
- ・ ドクター相談 2月8日（Kさん）
- ・ 体温チェック 冬期に実施した
- ・ 感染症が流行しやすい時期は特に手洗い・うがい・マスク着用・室内換気の声かけを徹底した。

（７）利用者の安全管理

- ・ 室内、廊下など整理整頓して通りやすくした。
- ・ 床のコードなど危険箇所の安全チェックを行った。
- ・ 危険物の管理の徹底（電気、ガス、刃物・ガラス製品）
- ・ 棚の上を整理し落下物の防止
- ・ 買物（仕入）には、必ず複数で行っていただいた。また安全確認の徹底を行った。
- ・ ヒヤリハット報告・事故報告についてはミーティング等で検証を行い、再発を防いだ。

（８）防災・防火・管理報告、消防避難訓練

- ・ 4月10日 消防署定期立ち入り検査
- ・ 6月26日 避難訓練（火事）・・・喫茶のコンロより火が出たと設定
- ・ 7月10日 避難訓練（地震）・・・避難所である東小学校まで歩いた
- ・ 12月27日 避難訓練（火事）・・・喫茶のコンロより火が出たと設定
- ・ 法人防災会議参加 4/19 5/31 6/25 8/23 9/12 11/14 1/23
防災対策として保存食・備蓄品の購入、携帯用個人情報カードの作成と配布を行った

(9) 利用者の地域生活支援

- ・利用者のニーズを適切に把握し対応できるよう努め、各グループホーム・エリアサポートと連絡を取り、安定した地域生活への支援を行った。
- ・計画相談支援事業利用者においては、事業所との連絡を密にして支援を行った。
- ・現在一人暮らしの利用者には、健康・食生活・入浴・清潔・衣類の調節など特に気を付けた。
- ・ショートステイ、ガイドヘルプ等の利用については、各機関と連携し支援を行った。
- ・成年後見人・保佐人とは定期的に連絡を取り、支援を行った。

(10) 苦情解決事業に関する報告

- ・苦情申し出窓口の設置
- ・事業所における苦情解決責任者・受付担当者、及び第三者委員を設置

- ・利用者同士の苦情 多数
- ・お客様からの苦情 1 件
- ・通行の方からの苦情 1 件
- ・御家族からの苦情 3 件

(11) 安全衛生委員会・ヒヤリハット・事故発生報告

- ・ヒヤリハット 7 件
食器を落とす、自転車に接触しそうになる、財布を落とす・体調の悪化等
- ・事故発生報告 8 件
調理中やけど・つまずいて転倒・ラップで手を切る・自販機で手を挟む等
- ・傷病報告 1 件
段差で足を踏み外し転倒による手首の骨折（職員）

(12) 虐待防止受付担当者会議参加

10 月の障がい者虐待防止法の施行により、法人虐待防止受付担当者会議を発足
当事業所においても虐待防止受付担当者を 1 名置き、会議に出席し虐待防止に努めた。
11/15, 1/21, 3/14

(13) 合唱活動への取り組み

- ・地域活動支援センター遊夢音にて水曜日の音楽プログラム及び発表会（12/1）に参加
- ・フレンズクリスマス会や喫茶プレオープンの際、合唱を発表した。
- ・日々、朝のミーティング時に自主練習を行った。

(14) スタッフミーティング（安全衛生委員会・個別支援検討会議を含む）

毎月第一金曜日午後 7 時より

議題

- ・ケース会議・個別支援の検討
- ・授産事業の現況報告
- ・工賃アップの工夫と改善
- ・各会議、研修などの報告と周知
- ・行事の計画と実施報告
- ・ヒヤリハット・事故報告と検討

(15) 職員の研修と講習

- ・ 法人研修 6月14日（トータル研修） 6月28日（リーダーズ研修）・
7月18日・24日（スキルアップ研修） 9月19日・25日（スキルアップ研修）
10月11日（リーダーズ研修） 10月18日（トータル研修）
11月21日・27日（スキルアップ研修）
1月16日・22日（スキルアップ研修）
- ・ サービス管理責任者講習 1月18日・1月30日・1月31日

(16) 清掃への取り組み、第二土曜日の大掃除

- ・ 第二土曜日の午前中は利用者とスタッフ全員で大掃除を行った。
- ・ 毎日PM3：10からPM3：30までを掃除の時間とし、作業室①・②・トイレ・廊下など担当場所を決め清掃、喫茶室の清掃はお客様がおられないときに行った。

(17) 機関誌「風うらら」最終号の発刊および障友会「至心」への統合

- ・ ディセンターフレンズと年4回の合同発刊を行ってきた「風うらら」最終号の第29号を発刊
- ・ 障友会との事業完全一体化に伴い、機関誌においても統合
「至心」第149号・150号・151号を発刊した。

(18) 体験学習・実習の受け入れ

- ・ 泉北高等支援学校 現場実習 8月28日・29日 2日間（1名）
- ・ 登美丘中学校 職業体験 11月 6日、7日 2日間（2名）
- ・ 野田中学校 職業体験 11月15日、16日 2日間（2名）

(19) 施設間交流・協議会への加盟

- * 他施設の授産製品の販売を行った。
 - ・ 堺みなみ（サンスキットふきんなど）の販売
 - ・ とうぶ作業所（パン）の販売
 - ・ ゆめ工房（シフォンケーキ）の販売
 - ・ 白鷺園（縫製品いろいろ）の委託販売
 - ・ あいらぶ作業所（パワーストーンストラップ）の委託販売
 - ・ 堺みなみ家族会からの委託販売
- * 東区・美原区合同区域交流会に参加。障害・保育・介護の分野を超えた施設交流及び研修に参加
8/23 1/7
- * 堺市社会福祉協議会、堺市社会福祉施設協議会に加盟
- * バザー等でのららら EAST（らららバザー参加施設団体）間の交流

(19) 地域交流

- ・ 高松団地夏祭り（7/21）・高松青年団夏祭り（8/13）に参加
- ・ 登美丘東幼稚園のお誕生日会・七夕まつり（7/6）・クリスマス会（12/17）・
お別れ会（2/26）に参加
- ・ 登美丘東小学校にてお餅つきに参加（12/6）
- ・ 野田小学校・登美丘東小学校のびのびルームから軽食のパンの注文をいただき、配達
- ・ 「とんとん登東」の子育て支援に利用者が参加
- ・ 登美丘西小学校3年生の児童のみなさんと交流会（2/15）

(20) 家族会活動

家族会については今年度は改修工事の関係で年3回の開催となった。日程は、家族会役員と施設との調整で決定し、主に土曜日通所の午後に開催。案内や議事録は家族会書記が作成し施設から配布した。

家族会の開催により、施設運営の理解を得ることができ、家族間交流も深まった。各種会合・研修や活動への参加、またバザー等への協力を得ることができ、施設運営にさまざまな支援を受けた。

(21) 後援会活動

- ・ 障友会との事業完全一体化に伴い、4月よりうらら後援会も障友会后援会へ統合。
以降は障友会后援会うらら支部として活動を行った、
- ・ 東区民祭りに参加（5/20）
- ・ 食料品以外の店頭商品の売り上げを後援会の売り上げとし、販売活動を行った。

(22) 大阪府障がい者自立支援基盤整備事業の補助金を受けての施設改修工事

1/25～2/28 施設改修工事として、喫茶外観の整備・厨房スペースの移動および拡張・利用者玄関の整備を行った。結果、新規のお客様に来店していただけるようになり、また厨房作業も効率化し、利用者出入りの際の安全を確保できた。

平成24年度（2012年度） —第9期— デイセンターフレンズ（生活介護）事業報告

（運営の概要）

- ① 障害程度区分の重い利用者の障害機能や症状の重度化、日々の体調変化に対応できる職員体制に心掛け、個々の支援に取り組んだ。
5月・8月に計2名の他の入所施設への希望退所があり、また9月より1名の新規受け入れを行なった。計15名の利用支援を行なう。
- ② 利用者の個々の障害機能や特性・体調に合わせた日課活動や家族支援その他の活動を行ない適切な支援・アプローチに心掛けた。
（スタッフ会議や家族懇談会、ドクター相談等で個々の課題やアプローチ方法等のアセスメント・モニタリングを適宜行ない、日々改善するよう取り組んだ）
- ③ 医療的ケアの必要な利用者へ主治医の意見書の提出を依頼し、それに合わせたケアや看護（褥瘡処置・服薬・点眼・塗布・排便・吸引・計測その他）や管理を行なう。また日々、それぞれの利用者の体調変化（口内炎・発熱・てんかん発作や睡眠リズム・打ち身・その他）の早期発見に心掛け、複合的な介護支援を行なった。
- ④ 自宅送迎への体調を配慮したルート・乗車時間短縮に心掛け、家族からの要望に応える送迎を行なった。また、家族支援のためケアホームやショートステイ「うてな」利用時への介助送迎運行を臨機で対応した。
- ⑤ 利用者家族の体調不良（腰痛・ぎっくり腰・メンタル他）による支援要請があり、関係事業所（地域福祉、ショートステイ、相談支援センター、居宅介護）との連携に取り組み、可能な限りの援助支援を行なった。
- ⑦ 施設デイリーや外出時のボランティアの協力を継続的に受けることができた。（機能体調に合わせた活動計画を図り、金曜外出時の天候や個々の体調に合わせ臨機な対応と支援行なった）
- ⑧ 個々の利用者の生活習慣の改善を試み、ADL向上や主体性・協調性・社会性への様々な成果が見られた。しかし一部の利用者の体調不良（重積発作、脱水症状、機能低下による失調や捻挫、急性腎盂炎等による発熱など）が発生し早期対応した。
- ⑥ 障害福祉の制度研修や、障害特性、医療的ケア学習会、防災やリスクマネジメント等への法人内外の研修会に積極的に職員を派遣し利用者支援に活かした。
- ⑦ 利用者・職員の安全や体調面を配慮するため非難訓練や健康診断を開催。9月～3月「感染症予防強化期間」として、石鹸手洗い・消毒・マスク着用など周知徹底して感染予防に努め、家族向けに情報提供を随時発信し協力を呼びかけた。
- ⑧ 地域の交流としてフレンズ家族後援会主催の地域バザー等が行なわれ、多数の協力支援を受け好調だった。
- ⑨ 他の事業所交流会やイベントの参加を行なった。（クリスマス会・中区作業所交流パネル展・障害者作品展など）
- ⑩ 他の事業所利用者の入浴支援のため浴室の提供を行なった。
- ⑪ 利用者使用のデイリーの遊具としてキーボード1台と介助用車いす1台の寄贈を受けた。

(目 次)

- 1) 利用者の状況
- 2) 事業内容
- 3) 平成24年度月別活動特記事項（年間行事含む）
- 4) 利用者の処遇
- 5) 利用者の健康管理と安全管理
- 6) 利用者の金銭管理と保管
- 7) 利用者の通所・送迎支援
- 8) 消防避難訓練
- 9) 各種の職員会議
- 10) 職員の研修
- 11) 苦情・相談解決事業の報告
- 12) 安全衛生委員会の報告（ヒヤリ・ハット）事故・傷病など
- 13) 加盟団体・組織など
- 14) ボランティア支援
- 15) 事業所（見学）実習、研修の受け入れ
- 16) 後援会活動（家族会）

1) 利用者の状況 (平成25年度3月31日現在)

◎平成24年度の利用開始・中止の状況

【利用開始】

9 / 3 男性1名 うららのお店と併用で利用

【利用中止】

5 / 12 女性1名 ベルデさかいを利用するため

7 / 30 男性1名 ベルデさかいを利用するため

◎男女別年齢別 13名: 男8名 女5名

	20～29才	30～39才	50～59才	合計
男	5名	2名	1名	8名
女	2名	2名	1名	5名
計	7名	4名	2名	13名

【平均年齢】 男性29.1才 女性33.2才 全体30.7才

◎男女別・障害程度別 (身体障害者手帳・療育手帳による)

	全体	1級	2級	3級	A	
男	8名	6名	1名	1名	7名	1名
女	5名	2名	3名	0名	4名	1名
合計	13名	8名	4名	1名	11名	2名

【てんかん】 男性8名 女性3名 計11名

◎男女別・障害程度区分別

【男性】

区分6・・・8名

【女性】

区分4・・・1名 区分6・・・4名

◎地域生活支援サービス利用状況

	在宅者	ホーム入居者	計
ガイドヘルプ	7名	2名	9名
ホームヘルプ (家事援助)	7名		7名
ホームヘルプ (身体介護)	8名	0名	8名

◎利用の状況 (月別、年間の全体の利用率、%)

月 事業別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均 利用率
開所日数	22	23	23	23	20	21	24	23	21	20	21	22	22日
平均利用率	80.0	79.4	80.0	78.6	73.3	73.0	71.9	75.4	75.2	76.0	73.0	75.2	75.9

※定員15名

2) 事業内容

◎施設デイリー（プログラム）

曜時	AM10:00～	～	～AM11:00	～AM11:45	～	～PM1:00	～	PM1:30 ～PM2:30	～PM3:15
月	朝の会	ト	健康活動	個別課題	ト	昼食	休憩	*カラオケ・入浴 *アート・作業・入浴 *調理実習・行事・入浴 *音楽療法・作業・入浴	お茶
火	*バイタルチェック	イ	*マッサージ	*立位台 *歩行器 *三輪車 *外気浴 *スポーツ	イ				ト
水	*今月の歌	レ	*ストレッチ		レ				イ
木	*連絡事項	レ	*訓練						茶
金	*構外学習・施設見学・買い物学習など外出活動								レ
土	朝の会		健康活動	個別活動		昼食	休憩	レクリエーション、入浴、お茶	会

<各プログラムの目的>

- ・健康活動—身体をリラックスさせ、楽な姿勢がコントロールできるよう機能訓練士指導と個別ストレッチ票に基づいたストレッチ・マッサージ・訓練を行ない、機能後退や2次障害を防ぐ。
- ・個別課題—天候が良い時は裏庭に出て、歩行器・クラッチ・三輪車・車椅子・介助歩行などで身体を動かす。
- ・昼食—わららか草部より給食の配送があり、ペースト食調理や摂取し易い形状や大きさ・量を個別に切り分けて配膳し、15名の食事介助および見守りと口腔ケア・清拭を行なう。
- ・作業—「個別学習」「アートワーク」グループ分けし、作業療法的な学習やカルチャー的な教材を使用して集中力や自己能力の向上を促し、作品等を掲示し達成感を味わう。
- ・調理実習—楽しみながら作る工程を体現し、満足感や達成感、集中力を高める。（個々の機能や能力に合わせた参加を促し生活自立につなげる）
- ・音楽療法—専門の資格所持者による指導援助で、言語・音感・リズム感の発達につなげられるように支援し、楽しみながら集団意識や協調性、社会性および集中力を養う。
- ・外出活動—重度障害者の社会参加（環境の変化に順応）や啓発の機会とする。ボランティアの参加協力を受けて社会ルールを学び、自己決定や自己実現につなげ社会性を養う。
- ・入浴—家族の要望により、家庭での入浴支援が困難で施設の浴槽の大きさやリフト設置で入浴が可能な利用者を対象に（介助体制範囲内）入浴支援を行う。

3) 平成24年度月別活動特記事項

- 4月 2日（月） 「辞令式」（堺みなみ）、外出活動（荒山公園）
 3日（火） 体重・血圧測定日（フレンズ）毎月第1火曜日開催＜以後省略＞
 「法人管理職会議」随時開催＜以後省略＞
 4日（水） 「家族会役員会」「至心会議」随時開催＜以後省略＞
 6日（金） 外出活動・花見（鉢が峯公園）
 「スタッフ会議」（フレンズ）毎月第1金曜日開催＜以後省略＞
 9日（月） 散髪日
 10日（火） 『法人研修・ビギナーズ①②』（わららか草部）
 12日（木） 『法人研修・ビギナーズ③』（わららか草部）
 13日（金） 後援会活動「フレンズの会最終回総会」（フレンズ）以後、家族会へ移行
 外出活動（ハーベストの丘）
 15日（日） 会報67号終刊発行
 18日（水） 『法人中・長期検討委員会』（わららか草部）

- 18～26日 **家族個人懇談会**（フレンズ）
- 20日（金） 外出活動（バリアフリー展）
「大阪府事業所集団指導」（堺市民会館）
後援会活動（サンブラザ三原台店バザー 第3金曜日開催）
- 23日（月） 「重心の日中活動を考える会」（かたくら）
- 24日（火） 「法人後援会役員会」（堺みなみ）
家族会活動「生活の場を考える会」（総合福祉会館）定例会開催＜以後省略＞
- 25日（水） **4月生まれ誕生会**（フレンズ）
「障友会連絡会」（わららか草部・毎月開催）＜以後省略＞
- 27日（金） 後援会活動（フレンズ物置片づけ）
外出活動（花の文化園）
- 5月 2日（水） 「健康福祉プラザリハビリセンター開所式」（健康福祉プラザ）
8日（火） 『法人研修・ビギナーズ④』（わららか草部）
10日（木） 「法人地域活動センター遊夢音セレモニー」（遊夢音）
Y・Aさん送別会（フレンズ）
11日（金） 外出活動（浜寺公園）
14日（月） 「法人研修会委員会」（わららか草部）随時開催＜以後省略＞
15日（火） 『法人研修・ビギナーズ重心⑤』（わららか草部）
17日（木） 「法人内部監査」（わららか草部）
18日（金） 後援会活動（サンブラザ三原台店バザー）
23日（水） 家族会活動「生活の場を考える会第4回総会」（総合福祉会館）
25日（金） 外出活動（アリオ鳳店）
26日（土） 「法人後援会総会」（総合福祉会館）
29日（火） 「法人理事会・評議員会」（わららか草部）
30日（水） **5月生まれ誕生会**（フレンズ）
『法人研修・ビギナーズ虐待防止⑥』（わららか草部）
31日（火） フレンズ家族会「打ち合わせ会」（フレンズ）
フレンズ見学者4名（フレンズ）
- 6月 1日（金） 外出活動（長居公園）
第1回家族会（フレンズ）
5日（火） 「中区交流会」（中支所）定例開催＜以後省略＞
8日（金） 外出活動（大泉緑地公園）
11日（月） 「法人なでしこミーティング」（わららか草部）
12日（火） Sさん祖父告別式
14日（木） 「堺市障害者施設部会」（総合福祉会館）偶数月開催＜以後省略＞
「堺市実践交流会委員会」随時開催＜以後省略＞
『法人研修・全体①リスクマネジメント』（わららか草部）
15日（金） 外出活動（蜻蛉池公園）
後援会活動（サンブラザ三原台店バザー）
「法人中・長期検討委員会見学会」（金剛コロニーかなびの郷）
19日（火） 「堺市社会福祉施設協議会総会」（総合福祉会館）
21日（木） 『外部研修・藤井DR医療的ケア（てんかん）』
フレンズ見学者1名
22日（金） 外出活動（堺浜シーサイドモール・南港エルシティ館）

- 退所者を面会訪問（ベルデさかい）
- 23日（土）『外部研修・てんかん治療の最前線』（堺市市民会館）
- 25日（月）「堺市事業所監査説明会」（堺市市民会館）
「法人防災会議」（わららか草部）＜随時開催、以後省略＞
- 27日（水）「法人ナース会議」（わららか草部）
- 28日（木）『法人研修・リーダーズ①』（わららか草部）
『外部研修・藤井DR医療的ケアと健康』（えると）
- 29日（金）「重心の日中活動を考える会・児玉DRとの懇談会」（ベルデさかい）
外出活動（ヨーグルト館～ベイサイドモール）
- 7月 3日（火）「法人計画停電打ち合わせ会」（堺みなみ）
- 6日（金）外出活動（イオンモール泉南）
植木剪定（フレンズ）
- 10日（火）『法人研修・ビギナーズ個別支援⑦』（わららか草部）
- 11日（水）「法人中・長期検討委員会」（わららか草部）
7月生まれ誕生会
- 13日（金）外出活動（健康福祉プラザプール①・イトーヨーカドー津久野店）
- 18日（水）『法人・スキルアップ①』（わららか草部）
- 19日（木）「入浴実習（くるみ利用者）」（フレンズ）
- 20日（金）後援会活動（サンプラザ三原台店バザー）
外出活動（イケア鶴浜店）
- 24日（火）『法人研修・スキルアップ②』（わららか草部）
- 27日（金）外出活動（健康福祉プラザプール②・イトーヨーカドー津久野店）
「法人理事会」（わららか草部）
- 30日（月）**N・Tさん送別会**（フレンズ）
- 8月 2日（木）**澤田整形外科DR相談日**（フレンズ）
- 3日（金）外出活動（堺市庁～中百舌鳥ダイエー店）
- 7日（火）**フレンズミニ夏祭り**（フレンズ）
- 8日（水）『外部研修・大阪府虐待防止・権利擁護管理者研修』（ビック・アイ）
「法人中・長期検討委員会」（わららか草部）
- 9日（木）「障害者施設部会」（堺市市民会館）
- 10日（金）外出活動（健康福祉プラザプール③・アリオ鳳店）
フレンズ家族会「ケアホームなでしこ見学」
フレンズ第2回目家族会（フレンズ）
「法人かがやきクリニック訪問」
- 13～19日 **夏休み**（フレンズ）
- 20日（月）印刷機交換搬入（フレンズ）
- 21日（火）フレンズ施設見学者3名（フレンズ）
- 22～23 **フレンズ体験実習**1名受け入れ（フレンズ）
- 24日（金）外出活動（健康福祉プラザプール④・アリオ鳳店）
- 25日（土）**交流会「わららか流しそうめん」**（わららか草部）
- 29日（水）「法人ナース会議」（フレンズ）
- 30日（火）フレンズ理学療法士訪問2名
8月生まれ誕生会（フレンズ）

- 9月 3日(月) フレンズ施設見学4名(フレンズ)
6日(木) 『外部研修・大阪府虐待防止・権利擁護管理者研修』(堺市市民会館)
7日(金) 外出活動(自然遊学館～イオン泉南店)
『内部研修・虐待防止と権利擁護』(フレンズ)
10日(木) **散髪日**(フレンズ)
11日(火) 『法人研修・ビギナーズ⑧』(わららか草部)
12日(水) 「法人中・長期検討委員会」(わららか草部)
13日(木) フレンズ施設見学1名(フレンズ)
「H24年度第1回目実践交流会」(総合福祉会館)
14日(金) 外出活動(イオンモール日根野店～愛彩館)
18日(火) 「法人理事会・評議員会」(わららか草部)
フレンズ2名見学者(利用希望者・他)
19日(水) 『法人研修・スキルアップ③』(わららか草部)
21日(金) 外出活動(キューズモール)
後援会活動(サンブラザ三原台店バザー)
24～29 家裁堺支部より1名職場実習受け入れ(フレンズ)
25日(火) 『法人研修・スキルアップ④』(わららか草部)
26日(水) **9月生まれ誕生会**
28日(金) 外出活動(長居公園)
- 10月 5日(金) 第3回目家族会(フレンズ)
外出活動(大浜公園～堺シーサイドステージ)
7日(日) 『外部研修・生活の場を考えるシンポジウム』(じばしん)
9～24日 **モニタリング家族個人懇談会**(フレンズ)
11日(木) 「堺市障害者施設部会」(総合福祉会館)
『法人研修・リーダーズ②』(わららか草部)
12日(金) 外出活動(中支所～コムボックス店)
交流活動「赤い羽街頭募金」(深井駅周辺)
16日(火) **健康診断日**(堺みなみ)
17日(水) 「法人中・長期検討委員会」(わららか草部)
18日(木) 『法人研修・トータル②研修親の願い』(わららか草部)
19日(金) 外出活動(イオンモール北花田店)
後援会活動(サンブラザ三原台店バザー)
21日(日) 後援会活動(ファインエリアバザー)
24日(水) **10月生まれ誕生会**(フレンズ)
26日(金) 外出活動(浜寺公園～アリオ鳳店)
29日(月) **散髪日**(フレンズ)
- 11月 2日(金) 外出活動(花の文化園)
6日(火) 交流活動「堺市障害者フォーラム」(総合福祉会館)
9日(金) 外出活動(大仙公園～イトーヨーカドー津久野店)
「堺市実践交流会研修・生活リハ①」(総合福祉会館)
10日(土) **土曜コンサート** West Wind(フレンズ)
14日(水) 「中区交流会他の事業所見学会」(あけぼの他)
15日(木) 『外部研修訪問・重心の介助支援の基本』(大阪府知的障害協会)
16日(金) 外出活動(堺支援学校生活発表会～中百舌鳥ダイエー店)

- 後援会活動（サンプラザ三原台店バザー）
- 19日（月） 「法人理事会・評議委員会」（わららか草部）
- 21日（水） 『法人研修・スキルアップ⑤』（わららか草部）
- 26日（月） 施設見学「ナカナカマネットより4名」（フレンズ）
- 27日（火） **避難訓練**（フレンズ）
『法人研修・スキルアップ⑥』（わららか草部）
「法人30周年記念事業実行委員会」（堺みなみ）＜随時開催、以後省略＞
- 29日（木） 中区職員による聞き取り調査（フレンズ）
- 30日（金） 日帰りレクリエーション（海遊館）
- 12月 1日（土） 「アトリエ・ユウ竣工式」
- 6日（木） **澤田整形外科DR相談日**（フレンズ）
- 7日（金） 外出活動（障害者作品展 本庁1F～イトーヨーカドー津久野店）
- 11日（火） 新規利用予定者のアセスメント（フレンズ）
- 12日（水） **堺市実地指導**（フレンズ・うららのお店）
『外部研修・口腔摂食嚥下リハビリ』（堺市文化会館）
- 13日（木） 「堺市施設部会」（総合福祉会館）
- 14日（金） 外出活動（ミカン狩り～イオンモール北花田店）
第4回目家族会（フレンズ）
- 17日（月） **散髪日**（フレンズ）
- 18日（火） 行動活動「ショートステイ拡充抗議」（堺東駅周辺）
- 19日（水） 「法人虐待防止役員会議」（わららか草部）
- 20日（木） 施設見学「他法人ケアホーム世話人2名」（フレンズ）
- 21日（金） 外出活動（アリオ鳳店）
後援会活動（サンプラザ三原台店バザー）
- 22日（土） 『外部研修・虐待防止法シンポジウム』（梅文化会館）
- 25日（火） **フレンズ・うらら交流クリスマス会**（フレンズ）
- 26日（水） **12月生まれ誕生会**（フレンズ）
- 28日（金） **年末短縮デイリーと大掃除**（フレンズ）
- 29～1/6 **冬休み**
- 1月 7日（月） **年初め・書き初め作業**（フレンズ）
「法人全体会合・虐待防止関連」（わららか草部）
- 8日（火） 『中区作業所交流会研修・作業療法士出前講座』（中支所2A会議室）
- 10日（木） 「わららか利用者自治会役員挨拶訪問」（フレンズ）
- 11日（金） **初詣**（多治速比売神社～コムボックス店）
- 15日（火） **成人祝賀会**（フレンズ）
- 16日（水） **家族会新年会**（阿波水産）
『法人研修・スキルアップ⑦』（わららか草部）
- 17日（木） 「法人新設ホーム会議」（わららか草部）
- 18日（金） 外出活動（弥生文化博物館～イトーヨーカドー）
「堺市施設部会」（総合福祉会館）
- 21日（月） 「法人虐待受付担当者会議」（堺みなみ）
- 22日（火） 『法人研修・スキルアップ⑧』（わららか草部）
- 23日（水） 「法人中・長期検討委員会」（わららか草部）
- 24日（木） 「法人厨房会議」（わららか草部）＜定例会議、以後省略＞

- 25日(金) 外出活動(イオンモール北花田店～ダイエー中百舌鳥店)
「堺市社会福祉協議会新年会」(リーガロイヤルホテル)
- 30日(水) 1月生まれ誕生会
- 31日(木) 「堺市主催・ショートステイ説明会」(総合福祉会館)
- 2月 1日(金) 外出活動(自転車博物館～アリオ鳳店)
- 8日(金) 外出活動(プラネタリウム・ソフィア堺)
第5回目家族会(フレンズ)
- 14日(木) 「堺市障害者施設部会」(総合福祉会館)
- 15日(金) 外出活動(アリオ鳳店～大阪ガス科学館)
後援会活動(サンプラザ三原台店バザー)
「堺市実践交流会研修・生活リハ②」(総合福祉会館)
- 20日(水) 「障害者の生活の場を考える会・吉川常務理事との懇談会」(わららか草部)
- 21日(木) 『外部研修・障害者総合支援法の施策の動向と課題研修』(健康福祉プラザ)
- 22日(金) 外出活動(狭山池博物館～ビック・アイ)
『外部研修・防災危機管理研修・福祉避難所』(ビック・アイ)
- 25日(月) 「法人防災会議」(堺みなみ)
2月生まれ誕生会
- 3月 1日(金) 外出活動(梅見・荒山公園～コムボックス店)
- 5日(火) 「中区交流会」(中支所)
- 7日(木) 「外部研修・ピースの防災ワークショップと支援」(地域活動支援センター)
- 8日(金) 外出活動(イケア鶴浜店)
- 13日(水) 「法人苦情相談事業報告会」(わららか草部)
- 14日(木) 施設見学・職場実習(フレンズ)
- 15日(金) 外出活動(イオンモール泉南店)
後援会活動(サンプラザ三原台店バザー)
臨時家族会(フレンズ)
- 18日(月) 散髪日(フレンズ)
- 21日(木) 新規利用契約日(フレンズ)
- 22日(金) 外出活動(アリオ鳳店))
後援会活動(フレンズ書庫の片づけ)
- 25日(月) 「法人理事会・評議委員会」(わららか草部)
- 26日(火) 「生活の場を考える会」(総合福祉会館)
- 28日(木) 家族会主催「片岡施設長、駄田井職員のお別れ会」(フレンズ)
- 29日(金) 片岡施設長・駄田井職員のお別れ会・年度末短縮デイリーと大掃除

4) 利用者の処遇

スタッフ会議やケースケア会議・ミーティング等で適宜アセスメントやモニタリングを行い、個々の利用者の障害の程度や特性・健康状態に見合った個別支援計画を作成した。

また、それら個別支援計画書のプラン説明を利用者・家族に行い、それらに基づいた支援・介助対応を行なった。家族よりの要請で6名の入浴支援をそれぞれ週1～4回行ない、土曜利用は9～11名の利用通所を行った。

5) 利用者の健康管理と安全

・毎朝と必要時にバイタルチェック(体温・脈拍・血圧・酸素飽和濃度)を行い、利用者のてんかん

発作や体重管理（毎月計測）、排泄チェック、水分補給量の記録など日々の利用者の体調の管理と把握に努めた。

- ・デイリーシフトの非常勤看護師とPT訓練士で、個々の利用者の身体状況（機能面・姿勢面）や体調・健康状況を早期に把握し、ポジショニングの改善や床ずれ防止を行なった。
- ・掻き傷・湿疹・打撲などの医療処置や点眼・浣腸・摘便・服薬支援を随時行なう。それに伴い利用者の症状の改善をみた。
- ・澤田整形外科のドクター相談が2回行なわれ、加齢による利用者の身体機能の低下や現況確認を行なった。家族やスタッフからの相談を紹介し、3名のケアホーム入居者を含んだ5名の利用者の機能面での助言をもらい事業所内での介助支援に活用した。
- ・家族の介助体制に問題がある利用者の受傷通院に同行したり、個人懇談等で家庭での様子や定期通院での検診結果のアセスメントと記録を行なった。そしてそれらを元に、職員間の情報交換や支援の見直し・改善を行ない、利用者への早期気づきと介助支援に活かした。
- ・施設預かりの車椅子管理と外出時の車いす修理の立会いを複数回行なう。
- ・施設内の衛生管理（清掃・消毒・他）の実施と、室温・湿度・水分補給など体温調整にも心掛けた。
- ・インフルエンザ感染予防対策を早期より行ない、事業所内外で職員全てのマスク着用と石鹸手洗い・消毒を徹底した。加湿器（空気清浄機能つき）を複数台活用したが、一部の利用者やスタッフ関係者による咳や発熱風邪が発生した。
- ・1月より足浴を開始した。
- ・母親の精神的不調による他のサービス利用停止や家族のぎっくり腰など自宅介助が困難な利用者が発生し、ショートステイの緊急枠の手配や自宅ベッドまでのこまめな介助送迎などを行なった。
- ・なにわ健康倶楽部による定期健康診断をわらか草部・堺みなみで受診した。

6) 利用者の金銭管理と保管

ケアホーム利用者などの外出活動時の現金持参の精算や管理を行ない、その後の他の事業所利用時には施設預かりとした。

7) 利用者の通所送迎支援

自力通所の困難な重度・重複障害の利用者（15名）を対象に、職員乗務（運転・添乗）の福祉車両（リフト車両）による通所送迎と、外出活動時の移動やショートステイ「うてな」や「ケアホーム」の利用者の送迎支援を行った。また一人暮らしやケアホームの利用者の週末外泊時の送迎先やルート変更等に臨機の対応を行った。

- ・スマイル号 トヨタハイエース（車椅子対応ワゴン車） 4～5人利用
送迎所要時間 約80分
- ・セレナ号 ニッサンセレナ（車椅子対応乗用車） 1～2人利用
送迎所要時間 約40分
- ・フレンズⅡ号 トヨタコミュニーター（車椅子対応ワゴン車） 4～5人利用
送迎所要時間 約60～70分（以下同様）
- ・ドリーム号 トヨタコミュニーター（車椅子対応ワゴン車） 5人利用

8) 消防避難訓練

第1回目ー 平成24年11月27日（火）AM11：15～11：25
（避難、119通報訓練、非常ベル、初期消火訓練）

9) 各種の職員会議（開催日は月別活動特記事項に記述）

- ①スタッフ会議（基本、毎月第1金曜日夕刻より開催、全スタッフ対象）
- ②ミーティング（随時、非・常勤職員）

- ③安全衛生委員会（随時、スタッフ会議、非・常勤職員）
- ④個別支援計画検討会議（スタッフ会議内や随時開催、全スタッフおよび担当職員）
- ⑤朝夕打ち合わせ（毎朝夕、非・常勤職員）
- ⑥法人内会議（ナース会議・虐待防止担当者会議・研修委員会・至心会議・厨房会議・中長期検討委員会・30周年記念事業委員会・防災会議・ケアホーム会議・その他一担当職員）

10) 職員他の研修

＜法人内研修＞

- ・ビギナーズ研修（4月10日、12日、5月8日、15日、30日、7月10日、9月11日）
- ・スキルアップ研修（7月18日、24日、9月19日、25日、11月21日、27日、1月16日、22日）
- ・法人全体研修（6月14日、10月18日）
- ・リーダーズ研修（6月28日、10月11日）

＜各種研修へ職員・家族の派遣＞

- ・医療的ケア学習会（てんかん 6月21日、23日、28日、作業療法士リハビリ 1月8日）
- ・堺市実践交流会（生活リハビリ 11月9日、2月14日）
- ・大阪府福祉協会（重症心身障害者の介助支援の基本 11月15日、虐待その他 11月21～22日）
- ・大阪府（虐待防止法と権利擁護 8月8日、9月6日）
- ・防災研修会（6月23日、3月7日）
- ・堺市（高次脳 5月2日、生活の場を考えるセミナー9月3日、虐待防止法シンポジウム12月22日、口腔摂食嚥下リハビリテーション 12月12日）

＜自立支援法関係＞

- ・大阪府 自立支援法事業所集団説明会（4月20日）
- ・堺市ショート説明会（1月31日）
- ・障害者総合支援法研修（2月21日）
- ・堺市施設部会（4月12日、6月14日、8月9日、10月11日、12月13日、2月14日）
- ・堺障害フォーラム（11月6日）

＜その他会合＞

- ・重度障害者の生活の場を考える（定例的に開催）—家族会代表参加
（4/24、5/23、7/24、9/25、11/27、1/29、2/20、3/26）計8回
- ・重心の日中活動を考える会（定例的に開催）—ベルデさかいとの懇談会あり
（4/23、6/29）
- ・ナカ・ナカマネットワーク（定例的に会合開催）
中支所内で「作業所パネル展示と授産品販売」2回開催

11) 苦情・相談解決事業の報告

日常に利用される上での支援に関する要望が多く、特に利用者のてんかん発作や体調変化の見守りや支援内容の要望、介助要請などの依頼を受ける。また、定期通院やショート・ケアホーム他の利用時の送迎変更の依頼も頻繁で、重度化した利用者への家族の介護能力の低下や生活環境の変化もみられた。それらの問題解決に向けた相談や他のサービス利用などの助言・援助をその都度行なった。今後も日常的な気付きと支援、家族への細やかな配慮が必要と思われる。他の関連事業所と情報を共有し協力しながら早期に解決していくことが必要と考えられる。

- | | |
|-------------------------------------|----|
| ①利用当日の送迎変更などの要望 | 多数 |
| ②利用者支援の内容 | 多数 |
| ③預かり装具・車イスの点検その他 | 多数 |
| ④家族から（腰痛や体調不良その他による介助協力やショート利用希望など） | 7件 |
| ⑤その他（トイレ便座の確認、トイレ利用時の誘導要望） | 2件 |

1 2）安全衛生委員会の報告

定例のスタッフ会議やミーティングの中で委員会を実施。支援上の傷病、ヒヤリ・ハットなどをその都度情報内容进行分析し、施設・設備整備の見直しや支援内容・介助方法の改善に努めた。

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| ①車両事故（車庫入れ、門扉破損、リフト捜査など） | 5件 |
| ②施設内事故（てんかん発作による遊具での受傷・他害） | 3件 |
| ③施設外事故（外出時のトイレ、フードコート） | 2件 |
| ④その他傷病・ヒヤリ・ハット | 多数 |
| ・他害・自傷（利用者・職員にむけ）噛みつき、衣服・メガネの破損その他 | 複数 |
| ・てんかん発作 | 誤嚥、意識消失、チアノーゼ、強直、自傷、多動 |
| ・誤飲（紙パット・マット引きちぎり他） | 複数 |
| ・誤嚥（昼食時の咽、背中タッピング、吸引） | 4回 |
| ・加齢による身体の冷え・腹痛の訴え（1名） | 頻繁 |
| ・車イス足置きやタイヤの破損その他 | 複数 |
| ・発赤、切り傷、噛み傷と打撲紫斑のあと | 多数 |
| ・発熱（急性腎盂炎・風邪・こもり熱など） | 複数 |
| ・嘔吐、下痢（腸炎、浣腸など） | 複数 |
| ・指づめ | 1件 |

事故を未然に防ぐよう周辺環境の点検や利用者の変化の気づきを職員全てが連携をもって行なえるようその都度周知徹底し、早期発見・解決に努めた。同時に家族への報告や他の事業所・ケアホーム等の連携も常時必須である。

1 3）加盟団体・組織など

- ①堺市社会福祉協議会、堺市社会福祉施設協議会
- ②堺市障害児者施設部会、堺障害児（者）施設事業所・運営者連絡会
- ③全国重症心身障害児（者）を守る会、大阪府重症心身障害児（者）を支える会
- ④重症心身障害者の日中活動を考える会
- ⑤ナカ・ナカマネットワーク

1 4）ボランティア支援

- ・事業所内一月曜日（1名）、音楽療法一木曜日（2～4名）
- ・散髪日一奇数月の第2月曜（1名）一計5回
- ・外出日一毎週金曜日（2～3名）
- ・その他イベント（土曜日音楽コンサート3名、クリスマス会3名、バザー家族数名・他4名）

1 5）事業所（見学）実習、研修の受け入れ

- ・支援学校より見学
 - 6月21日（1名）、8月21～22日（2名）
- ・その他見学、実習
 - 4名 — 5月31日（モンキーバナナ2名、その他2名）

- 3名 ― 8月21日（中区基幹相談支援課他）
- 2名 ― 8月30日（理学療法士）
- 4名 ― 9月 3日（新規利用希望者の家族、相談支援センター）
- 1名 ― 9月13日（栄友社マッサージ担当）
- 2名 ― 9月18日（利用者、相談支援センター）
- 2名 ― 9月24～28日（家裁堺市部より1名実習受け入れ実際は2日間のみ、調査官立会）
- 4名 ― 11月26日（中支所交流会より各作業所職員）
- 2名 ― 12月20日（青い鳥 大美野ホーム世話人）
- 1名 ― 3月14日（わららか草部職員）

16）後援会活動（家族会）

- ・平成24年度4月「フレンズの会（元後援会）」より、「障友会后援会フレンズ支部」に移行する。それに伴い、フレンズの会会報の発行を4月で終刊する。
- ・平成24年度より「フレンズ家族会」が創設され、元後援会会長が家族会会長に任命される。
- ・「フレンズ家族会」は偶数月の第2金曜に定例開催され、後援会活動（サンプラザ三原台店バザー・ファインエリアバザーなど）やその他活動事業の協議を行なった。毎回施設長が同席し事業所からの情報提供などの呼び掛けを行ない、家族会より協力を受ける。
- ・事業所イベント（クリスマス会・新年会・成人祝賀会・送別会など）への参加協力や資金援助、プレゼント品の提供を頂いた。
- ・「住み慣れた街で暮らし続ける」ことができる「地域生活支援のしくみ・システム」をともに作り出す活動につなげていくことを目的に『堺障害者（児）の生活の場を考える会』の実行委員会準備会に家族会代表が継続的に出席し活動協力を行なった。

平成24年度（2012年度） ー第6期ー くるみの樹事業報告

（運営の概要）

- ・平成20年1月に新事業に移行してスタートし5年目を迎えた。
- ・定員20名、職員は若干変更あり。

常勤職員2名（内、サービス管理責任者1名）、非常勤職員2名、パート職員5名、看護師1名、運転手4名（シルバー人材センターより）

今年度は、障友会で初の重症心身障害者対応のケアホーム「なでしこ」が誕生し、くるみの樹から2名の女性が入居されることになった。世話人、ヘルパーとご本人との関係や大きな環境の変化、また、精神面、体調面など様々なことが重なり、なかなかスムーズにはいかなかったが、約1年が経ち、少し形にはなってきたように思う。

また、ベルデ堺に週1ペースで通所を開始される方が増えた。（現在4名）

高齢の利用者の問題も出てきていて、3月に自宅にて転倒されてから一人暮らしが難しくなり長期にわたりショートステイを利用継続中。今後の生活の問題も大きな課題になっている。

今年度後半、産休や事故による休職などスタッフの入れ替わりが続き、なかなか落ち着かず利用者の動揺もみられ、外出行事など控えざるをえなかった。

次年度、久々に3名の新卒者を迎えることとなった。

目次

1. 平成24年度月別特記事項
2. 年間行事
3. 利用者の状況
4. 授産事業状況と利用者給与状況報告
5. 送迎（通所支援）の実施報告
6. 給食実施報告
7. 利用者の健康管理
8. ヒヤリ・ハット、事故・傷病、苦情・要望報告
9. 内外部研修報告
10. 事業所家族会との関係
11. ボランティアの受け入れ状況
12. 事業所機関紙「至心」の発刊
13. 利用者自治会活動支援報告
14. 利用者各係活動報告
15. 一人暮らしの利用者の地域生活援助報告

（１）平成２４年度月別特記事項

【４月】

- ２日 ケアホームなでしこミーティング（北山）
Aコース送迎ルート変更
- ３日 管理職会議（拡大）
- ４日 至心（改善）会議（北山・竹腰）
- ９日 ケアホームなでしこ（F・Eさん）入居
- 10日 外出「ハーベストの丘」
- 12日 ケアホームなでしこ（N・Tさん）入居
中区基幹相談支援センター来所
- 14日 家族会総会
ヒカリステーション来所
- 16日 研修係会議（竹腰）
- 20日 堺市集団指導（北山）
- 23日 ケアホームなでしこミーティング（北山）
- 26日 利用者自治会総会（くるみの樹で初）

【５月】

- １日 創立記念日（給食）
- ７日 ケアホームなでしこ面談（Fさん母・北山）
- 10日 遊夢音オープンセレモニー（田中・Nさん）
- 14日 研修係会議（フレンズで）
- 15日 浄化槽点検
- 16日 ヒカリステーション来所
- 17日 内部監査（処遇改善）
- 18日 外出「大仙公園・健康福祉プラザ見学」
- 24日 ヒカリステーション来所
- 25日 至心会議
- 30日 会長・係任命式
あすなろ授産所職員来所
- 31日 防災会議（竹腰）

【６月】

- ４日 中区基幹相談支援センター来所
- ５日 中区交流会（竹腰）
- ８日 「わくわく大運動会」（原池体育館）
- 14日 トータル研修
- 18日 至心会議
- 19日 台風のため午後から切り上げ帰宅
- 21日 広報誌研修（竹腰）
リーダーズ研修（北山・竹腰）
- 29日 AED バッテリー交換

【７月】

- ３日 関電節電対策（臨時）集会（堺みなみで）
- ４日 指定相談（支援センターうてな）

- 5日 「七夕の集い」
エアコン5台フィルター清掃
- 6日 くるみの木剪定
- 10日 中区交流会（竹腰）
- 18日 スキルアップ研修
- 24日 泉北支援学校職員来所
- 27日 エアコン修理
- 30日 泉北支援学校学生実習～31日まで（1名）

【8月】

- 3日 ケアホームなでしこ関係者来所
- 9日 施設部会（北山）
- 13日 夏期休暇～15日まで
- 17日 「縁日」
- 21日 あすなろ授産所職員来所
厨房会議（谷口）
中区交流会（竹腰）
- 29日 医療的ケア検討会（小牧・看）
O・Mさん救急搬送（ベルランド HP）
- 30日 O・Mさん入院（清恵会 HP）

【9月】

- 3日 健康福祉プラザ生活支援課2名来所
- 5日 「そうめん流し」
- 7日 モニタリング会議
- 14日 個別支援計画策定会議
O・Mさん退院
- 18日 訓練台頂く
カットボラの日
- 19日 スキルアップ研修
- 21日 Dr 相談日
- 25日 スキルアップ研修
中区交流会（竹腰）
厨房会議（谷口）

【10月】

- 2日 研修委員会（竹）
- 3日 防災会議（竹）
- 4日 Dr 相談日
- 5日 あすなろ授産所職員来所
- 10日 ナカナカマネットワーク～12日
玄関前倉庫設置（防災用）
- 11日 施設部会
リーダーズ研修
- 12日 ナカナカマネットワークバザー（作業G）
モニタリング・個別支援計画書の同意を頂く

- 16日 定期健康診断
- 18日 トータル研修
- 19日 外出「ハーベストの丘」
A・Bバス修理
- 22日 避難訓練
- 23日 厨房会議（谷口）
成年後見人面談（S・Mさん）

【11月】

- 2日 感染症研修（小牧・看）
- 3日 障害者スポーツ大会（大仙公園にて）・土曜通所
- 5日 Aバス点検
- 6日 SDF集会
中区交流会（竹）
- 8日 SSうてなスタッフ・看護師見学
- 13日 インフルエンザ集団接種（みやわき医院）
- 14日 防災会議（竹）
- 15日 虐待防止受付担当者会議（竹）
- 16日 Aバス修理
ケースカンファレンス（小牧・看・堺みなみにて）
- 19日 中区交流会見学会（竹）
- 20日 カットボラの日
- 21日 スキルアップ研修
- 27日 スキルアップ研修
職員と利用者がぶつかり転倒（救急搬送）

【12月】

- 14日 「日帰りレクリエーション」（淡路島方面）
Bバス点検修理
- 17日 カットボラの日
スタッフ通勤途上で事故（休職）
- 18日 スタッフ（パート）勤務時間変更
- 19日 堺市実地指導
- 20日 セコム（消防）点検
厨房会議（谷口）
- 21日 T・Mさん鼻腔栄養始める
- 25日 クリスマス会（利用者自治会主催）
- 26日 あすなろ授産所職員来所
- 27日 大掃除
- 28日 班忘年会（アンゴリーノつつじにて）
- 29日 冬季休暇（～1/6まで）

【1月】

- 7日 職員全体会議（わららかにて）
- 8日 中区交流会（竹）
- 10日 わららか自治会来所

11日 初詣（多治速比売神社）
 16日 スキルアップ研修
 18日 泉北支援学校職員来所
 21日 虐待防止受付担当者会議（竹）
 22日 スキルアップ研修
 23日 入所説明会（わららか・合同で）
 防災会議（竹）
 24日 厨房会議（谷口）
 28日 泉北支援学校学生実習（1名）

【2月】

4日 ベルデ堺スタッフ・看護師見学
 8日 Dr 相談日
 12日 ケースカンファレンス（真鍋・S・Mさん）
 竹（産休に入る）
 パート1名入る
 13日 ガス部品交換（プロパン）
 スタッフ面談（3名）
 14日 バレンタインチョコ配布（利用者自治会より）
 15日 スタッフ面談（4名）
 わららか祭り（インフルエンザ流行のため不参加）
 18日 カットボラの日
 20日 ベルデ堺PT見学（北山・増田）
 面談（T・Mさん母）
 21日 中長期計画について利用者と話しをする
 26日 厨房会議（谷口）

【3月】

1日 堺支援学校より見学（1名）
 Aバス修理
 4日 Cバスバッテリーあがる
 6日 S・kさんショートステイ、ロング利用
 7日 モニタリング会議
 8日 堺みなみ祭り（午前中のみ参加）
 9日 個別支援計画策定会議
 13日 苦情解決報告会（わららかにて）
 あすなろ授産所訪問（真鍋）
 14日 虐待防止受付担当者会議（真鍋）
 15日 シルバー運転手（4名）と来年度の打ち合わせ
 22日 オリエンテーション（真鍋）
 27日 作業G外出日
 入所予定者一日体験（1名）
 28日 S・Mさんお別れ会
 29日 入所予定者一日体験（1名）

定例行事

10日	利用者給料日
第2・4土曜	土曜通所日
第4火曜午後	口腔ケア（オーラルケア）
第3木曜午前	光輝法（光輝スクール・ボラ）
月2回	ミュージック・ケア（指導者有）
月1回	アートの時間
第2・4金曜	体重測定（月2回）
隔月	うららでランチ（2グループに分かれて）
月2回木曜	家庭訪問支援（1件）
誕生日月	誕生日会

定例会議

第1水曜午後	家族会（堺みなみ・くるみの樹合同）
第2金曜	早帰り日 職員全体会議 会議はパートも全員参加
月1月末	会議うちあわせ
月末水曜	障友会連絡会

（2）年間行事

4月	外出（ハーベストの丘）
5月	外出（大仙公園・健康福祉プラザ見学）
6月	わくわく大運動会（堺みなみ合同）
7月	七夕の集い プール（実施できず）
8月	「縁日」（祭り）
9月	そうめん流し プール（実施できず）
10月	外出日（ハーベストの丘）
11月	障がい者スポーツ大会（大仙公園）
12月	日帰りレクリエーション（淡路島方面） クリスマス会（利用者自治会主催） 班忘年会（アンゴリーノつつじ）
1月	初詣（多治速比売神社）
2月	節分の集い わららかまつり（不参加）
3月	堺みなみまつり（午前中）

初めて、臨時で「そうめん流し」を実施。少し暑かったが気分は涼しくなっていたよかったようだなかの好評だった。そうめんなので刻みややすく皆さんに楽しんでいただけたと思う。

毎年、わららか祭りの参加は、楽しみにしていたが、ちょうどインフルエンザの大流行と重なり、自粛することとなった。

堺みなみまつりでは、毎年、出し物の指導や企画を担っていただいていた東田和子先生が今回で辞められることになり、最後の合奏となった。

(3) 利用者の状況 (平成25年3月31日現在)

○平成24年度の利用開始・中止状況

【利用開始】3/11～ 女性1名

【利用中止】～3/31 男性1名(他の事業所へ)

○ 男女別年齢別 20名(男性7名、女性13名)

	20才 未 満	20～ 24才	25～ 29才	30～ 34才	35～ 39才	40～ 44才	45～ 49才	50～ 59才	60才 以上	合 計
男	0	0	0	4	0	0	0	0	1	5名
女	0	0	10	1	0	0	0	1	0	12名

○ 男女別・知的障害程度別

	A	B1	B2	合計
男	4	1	0	5名
女	12	0	0	12名

○ 身体障害手帳の所持状況

	肢体不自由	聴覚	内部障害	合計
1級	6	1	1	8名
2級	4	1	0	5名
3級	0	0	1	1名
				14名

その他の障害

体幹機能障害	5名	脳性麻痺	2名
脳原性上肢障害	2名	脳原性移動障害	2名
てんかん	10名	ダウン症	4名
糖尿病	2名	ペースメーカー装着	1名
色素性乾皮症	1名	聴覚障害	3名
視力障害	1名		

○利用率の状況(月別、年度の全体の利用率・%)

月 事業別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均 利用率
開所日 数	22	23	23	23	22	21	24	23	21	20	21	22	22日
平均 利用率	86	83	82	78	80	76	78	82	79	75	75	77	79

※定員20名

(4) 授産事業状況と利用者給与状況報告

今年度も「くるみの樹」独立採算による利用者給与支給を実施。

詳細は別紙「くるみの樹利給与規定」参照。

総支給額は149,411円（賞与を含まず）で、1人あたりの月平均支給額は1,634円。

主な授産活動は、「TKM」、「レオニス」の2事業者、ほとんどの利用者が賃金が発生する作業につけて、きれることなく作業が続けられた。また、作業にたずさわれない利用者についても、廃品回収で集まったアルミ缶の缶つぶしを行うことにより全ての利用者に安定した工賃が支払えた。

業 者 名	作 業 内 容	年間売上(円)
フジモトメール加工	ダイナシスタグ・ショッピングバック	39,948
レオニス	ソーイングでか丸缶	10,772
中谷金属工業	ステンコート台紙貼りかえ	986
ナカバヤシ	封筒	4,095
ボルトナット	(堺みなみより)	2,400
TKM	くみひも	91,210
総合計		149,411

(5) 送迎（通所支援）の実施報告

Aコース（ハイエース、リフト車） 5名

Bコース（ハイエース、リフト車） 5名

Cコース（ハイエース・エブリー） 1～5名（SSうてな便も含む）

(6) 給食実施報告

昨年に引き続き、わららか草部において調理したものをクックサーブ方式により食事を提供した。

各利用者に食事を提供する際、自己摂取や嚥下の困難な重度の利用者には、それぞれの利用者に対応した食事形態（刻み食・一口大等）にして提供した。また、昨年度から変わらず、1名の方は看護師による胃瘻をつづけているが、さらに1名の利用者は誤嚥していることがわかり、体重が30キロをきつてしまい、3月から鼻腔経管栄養となる。

その他、献立によって（固形物、魚等）配慮が必要な利用者についてはその都度対応、また見守りを強化した。

「うららのお店」は2ヶ月に1回のサイクルで実施し、今年度も1度での利用が困難なため2つのグループにわけて実施した。予定してても体調悪く交代、キャンセルが度々あった。

	5月	7月	9月	11月
第1グループ	15日	24日	11日	13日
第2グループ	22日	31日	25日	25日
	1月	3月		
第2グループ	15日	19日		
第1グループ	18日	26日		

(7) 利用者の健康管理

看護師により、バイタルチェック、発作時の対応と経過観察、座薬挿入、外傷の経過観察、発熱時の対応、腸閉塞再発予防のための腹部状態の変化観察、水分・食事摂取増量援助、吸引・酸素吸入対

応、胃瘻対応、導尿、浣腸、家族相談など様々な対応が必要とされた1年だった。
後退する機能に対応していくには、大変な1年だったように思う。

◆定期健康診断 10月16日実施

利用者14名職員9名が受診

前年度に引き続き、くるみの樹にて午後から行なった。

◆嘱託医相談

今年度は9、10、2月の計3回相談日を設けた。

対象者は、例年通り経過を追っていく形で進められた。

また、ケアホームなどでこの2名は必ず受けて頂いた。

◆体重測定

毎月2回実施第2・4金曜日実施

車椅子の人たちは車椅子用体重計にて測定。

重心の方は食事摂取の量により体重が激減される事もあった。

◆口腔歯科ケア

月1回第4火曜日の午後に実施（オーラルケア）

7～10名の方が受診された。

受診メンバーの中に遅参されて受診の機会が少ない方がおられたためこの変更が
メリットとなり確実に受診回数を増やすことができた。

3月、虫歯治療をうける（N・Tさん）

（8）事故、傷病、ヒヤリ・ハット報告

ヒヤリ・ハット 12件

事故・傷病 7件

苦情・要望 8件

他の事業所を度々希望され、もっと作業がしたい、自分のお金は自由に使いたい等要望がだされ

3月末をめどに次へのステップを検討

結果、ご自分の希望を叶えられた

他、要望として、日頃の訓練の追加などがあった。

ヒヤリ・ハットでは、うっかりミスで転倒されることが目立った。

確認、声掛けを徹底するようにしていきたい。

（9）内外部研修報告

内部：6/14 トータル研修 6/14 10/18

リーダーズ研修 6/28 10/11

スキルアップ研修 7/18 7/24 9/19 9/25 11/21 11/27 12/16 12/22

集団指導 4/22(北山)

看護師研修 11/2(小牧) 感染症研修

（10）事業所家族会との関係

以前の通り、堺みなみとの合同家族会として実施された。

（11）ボランティアの受け入れ状況

光輝法 毎月第3木曜日の午前に15名が施術を受けた。

(12) 事業所機関紙「至心」の発刊

4月、7月、10月、1月の計4回発行。

発刊の遅れや文字ミスが目立ったことから、至心改善会議を開いて今後の至心をどうするか、どうチェックするかなどを話し合った。

フレンズ、うららのお店の機関紙とも統合され、各事業所ごとのページをもうけることで、それぞれのカラーが出て個性的な至心になったように思う。

(13) 利用者自治会活動支援報告

くるみの樹利用者自治会として単体で運営。会長、副会長 その他会計、書記等が選出される。

行事前には話し合いの場を持ち、12月クリスマス会、2月バレンタイン、しおりの作成をおこなった。

4/26 利用者自治会総会が開催された。

(14) 利用者各係活動報告

班長 副班長 給料係 ホワイトボード係 おせわ係 納品係

積極的に活動をされていた。

(15) 一人暮らしの利用者の地域生活援助報告

金銭管理、長期休暇の支援、通院支援、コミュニケーション支援、生活品・日用品の買い替え支援をおこなう。お金に関するトラブルが目立ち、成年後見人をつけて頂く。

平成24年度（2012年度） -第1期- エリアサポートグループ 事業報告

グループホーム・ケアホーム事業に関して、23年度までは日中活動の場の支援員がバックアップ職員として兼務で支援を行っていた。23年3月に重度心身障害者対応の「ケアホームなでしこ」の開設に伴い、バックアップ体制強化の為、専属の職員を配置することとなった。24年度よりエリアサポートグループが各ホームのバックアップを行うこととなった。1年目が経過した現在、今まで以上に地域生活での受け皿として期待されるグループホーム・ケアホームにおけるサービスの質の向上が求められる中、支援を行う上で世話人が大きな役割を担っている。しかし、世話人確保の難しさ、また、ホーム利用者の多様化に伴い、世話人の役割が家事支援にとどまらず、きめ細やかな専門性を求められること等様々な課題が浮き彫りになった。

1) 職員体制

正職員	男性	0名	女性	1名		
非常勤職員	男性	1名	女性	1名	計	3名

職員体制は上記の通りである。業務の特殊性から労働時間の柔軟性が必要でありフレックスタイム制を導入し、日常の各ホーム運営業務及び世話人支援を行った。また、ホーム利用者のニーズに対応できるように努めた。

2) 業務内容

○利用者について

職員や関係者、世話人との話し合いの場として、エリアサポート会議・ケース会議・GHCHミーティング等を行い、利用者の課題やニーズに対してどのような支援ができるか十分に話し合う機会を設けた。支援上の着眼点が明確になり、利用者の支援に反映した。

半年に1度、モニタリング、アセスメント、個別支援計画を行い、各ホームの世話人にも内容を伝え支援を行った。

○健康管理について

通院同行や定期通院での検査結果の確認を行い体調管理に努めた。

通院の状況 述べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科		1					1	2	3	2	1	1	11
整形・外科			2	1		1		1			2		7
皮膚科	1			1	2		1	2	1				8
歯科		1											1
耳鼻科	1			1	1			7	1				11
眼科													0
その他													0
合計	2	2	2	3	3	1	2	12	5	2	3	1	38

感染予防として、帰宅時の手洗い、マスクの着用、11月には、利用者のインフルエンザワクチン接種を行った。

○避難訓練について

年2回各ホーム内で避難訓練を行った。

○職員及び世話人の研修について

・職員

＜法人内研修＞

トータル・ビギナーズ・スキルアップ・リーダーズ研修

(6月14日、28日、7月10日、18日、10月11日、18日、11月21日、1月16日)

＜外部研修＞

てんかんの治療の最前線(6月23日)

障がい者虐待防止・権利擁護研修(8月8日、17日)

堺障害フォーラム(11月6日)

平成24年度 堺市社会福祉施設職員研修会(11月19日)

福祉・共生のまちづくり(12月5日)

堺市障害者グループホーム事業者研修(2月6日)

障害者総合支援法等の施策の動向と課題(2月21日)

・世話人＜法人研修＞

トータル・ビギナーズ・スキルアップ

(4月25日、5月9日、15日、22日、7月18日、24日、9月19日、25日、10月18日、11月21日、27日、1月26日、22日)

平成24年度（2012年度） グループホーム・ケアホーム 事業報告

グループホーム・ケアホームは、自分らしい自立生活を営むことができるように、世話人等の支援を受けながら地域の中で暮らしたいという思い、ご家族の高齢化もあり利用希望者は増え、大きな期待が寄せられています。しかし、現状では様々な課題を抱えています。利用者の高齢化に伴い、公営住宅での高層階に住む利用者の移動が困難になり、1階であっても5段程の階段があり、また、お風呂場の段差も大変危険な状態です。また、世話人確保の難しさに直面し、世話人への役割においても家事支援にとどまらず、服薬管理・食事介助・入浴介助・てんかん発作があった際の対応・利用者間のトラブルに対しての支援等きめ細やかな配慮や専門性が求められています。認知症の方への支援も大変難しい状態です。利用者一人一人のニーズや課題も多く、世話人自身が試行錯誤の中で支援を行っているのが現状です。

1) ホーム利用状況

1. 形態

ホーム名称	定員（現員）	事業の開始		住宅状況
サウス・ライト	男性2名女性2名	平成10年8月1日	第15期	市営住宅賃貸借
フレンドハウスひまわり	女性4名	平成14年1月1日	第12期	府営住宅賃貸借
宮山台ホーム	女性8名	平成15年10月1日	第10期	府営住宅賃貸借
八田西町ホーム	女性4名	平成16年10月1日	第9期	府営住宅賃貸借
宮園ホーム	男性6名	平成16年10月1日	第9期	府営住宅賃貸借
福田ホーム	女性4名	平成19年10月1日	第5期	府営住宅賃貸借
すわの森ホーム	男性4名	平成21年5月1日	第4期	戸建住宅賃貸借
平井ホーム	男性7名女性2名	平成21年12月1日	第4期	法人所有
深阪ホーム	女性4名	平成23年7月1日	第2期	府営住宅賃貸借
ケアホームなでしこ	女性6名	平成24年3月1日	第2期	戸建住宅賃貸借
ケアホームすみれ	女性4名（0名）	平成25年3月1日	第1期	府営住宅賃貸借

*ケアホームすみれ：改修工事・準備等の兼ね合いで4月1日から入居

2. 男女別年齢別 53名：男19名 女34名

	20才未満	20～24才	25～29才	30～34才	35～39才	40～44才	45～49才	50～54才	55～59才	60～64才	65才以上	合計
男	0	0	1	1	3	4	5	2	1	0	2	19
女	0	0	4	5	0	3	5	2	4	8	3	34
計	0	0	5	6	3	7	10	4	5	8	5	53

【平均年齢】男性46.1才 女性48.5才 全体47.3才

3. 男女別 障害程度区分

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男	0	1	1	10	3	4	19
女	0	3	9	8	8	6	34
合計	0	4	10	18	11	10	53

2) 管理・援助体制

ホーム名	勤務時間	勤務内容
ケアホームなでしこ	16:00～21:00 6:00～9:00	
	21:00～6:00	宿直
	16:00～21:00	入浴介助あり
	16:00～21:00	入浴介助なし
	7:00～11:00	身体介助あり
	7:00～11:00	身体介助なし
	9:00～16:00	その他の日中勤務

世話人 13 名によって日常的な生活援助を行う。宿直 2 名

ホーム名	勤務時間	勤務内容
深阪ホーム・八田西町ホーム フレンドハウスひまわり・福田ホーム 宮山台ホーム 2・サウスライト	16:00～21:00 6:00～9:00	
	21:00～6:00	宿直
	9:00～16:00	その他の日中勤務

世話人 4 名によって日常的な生活支援を行う。宿直 1 名

ホーム名	勤務時間	勤務内容
宮園ホーム	16:00～21:00 6:00～9:00	
	21:00～6:00	宿直
	9:00～16:00	その他の日中勤務
	16:00～18:30	調理

世話人 3 名によって日常的な生活支援を行う。宿直 1 名

ホーム名	勤務時間	勤務内容
すわの森ホーム	15:30～21:00 6:00～9:00	
	21:00～6:00	宿直
	9:00～16:00	その他の日中勤務
	16:00～19:30	調理

世話人 4 名によって日常的な生活支援を行う。宿直 1 名

ホーム名	勤務時間	勤務内容
平井ホーム	16:00～21:00 6:00～9:00	
	21:00～6:00	宿直
	16:00～21:00	入浴介助あり
	16:00～21:00	入浴介助なし
	7:00～11:00	身体介助なし・調理
	17:00～19:30	調理
	9:00～16:00	その他の日中勤務

世話人 8 名によって日常的な生活支援を行う。宿直 2 名

ホーム名	勤務時間	勤務内容
宮山台ホーム 1	16:00～21:00 6:00～9:00	
	21:00～6:00	宿直
	9:00～16:00	その他の日中勤務
	16:30～18:30	入浴介助

世話人 4 名によって日常的な生活支援を行う。宿直 1 名

3) 費用

23 年 10 月以降 特定障害者特別給付 (10,000)

ホーム名	家賃	食費・水道光熱費
ケアホームなでしこ	25,000	35,000
深阪ホーム	8,950	35,000
サウス・ライト	9,300	35,000
宮園ホーム	9,400	35,000
すわの森ホーム	30,000	35,000
平井ホーム	15,000	35,000
フレンドハウスひまわり	9,350	35,000
宮山台ホーム	9,325	35,000
八田西町ホーム	15,100	35,000
福田ホーム	15,550	35,000

4) 食事

食事提供は、朝食は「大阪いずみ市民生活協同組合」、夕食は食材配送サービス「トドクック」、不足分に関しては近隣のスーパーを利用し、世話人が調理を行った。安全な食事提供を実施する為に、利用者の体調・疾患・嚥下状態に合わせた食事内容を行った。

平成24年度（2012年度）第9期の第1期

障害者地域生活支援センターうてな 事業報告

（運営の概要）

平成23年度まで堺市より「堺市障害者（児）生活支援事業」を受託してきたが、本年度より相談支援の充実、強化が図られ相談支援体制の整理で特定相談支援事業における「計画相談支援」、一般相談支援における「地域相談支援」更に「障害児相談支援事業」として位置づけられ、専門性に裏打ちされた相談については「基本相談支援」として各事業のベースに位置づけられたことにより、相談に応じて順次、計画作成を行った。計画作成後、計画に添って一人1人のニーズに基づいた本人中心の支援が受けれるよう行政、及び関係機関と連携を密に行いサービス等の調整、サービス担当者会議の開催等を行うように努めた。又、計画に基づいてサービスが適切に提供されているか、それによりニーズが充足されているかを確認、又、新たに対応すべきニーズが生じていないかを定期的、継続的に見守るためモニタリングを実施した。

外部的には西区自立支援協議会に参加した。

1. 事業の名称

指定特定・障害児相談支援事業所、指定一般相談支援事業所

障害者地域生活支援センターうてな

（堺市西区草部783番地 障害者福祉サービス事業「わららか草部」内）

2. 事業の開始年月日

平成16年4月1日

3. 職員の配置

- ・ 管理者（兼務 1名）
- ・ ソーシャルワーカー（非常勤職員 1名）
- ・ 相談支援員（常勤職員 1名）
- ・ 地域移行推進員（兼務 1名）

4. 支援実施状況

（1）年度内に支援した実人数

（単位：人）

障害種別	男				女				計
	18歳未満	18歳以上	65歳以上	計	18歳未満	18歳以上	65歳以上	計	
計画相談		30	1	31		30		30	61
地域定着		13		13		11		11	24
地域移行									
障害児	1			1					1
合 計	1	43	1	45		41		41	86

(2) 支援した延べ人数

(単位：人)

障害種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	2	3	3	7	4	8	15	15	17	21	19	27	141
地域定着	5	17	17	20	22	21	20	20	20	19	21	21	223
地域移行													
障害児							1						1
合 計	7	20	20	27	26	29	36	35	37	40	40	48	365

(3) コーディネーターの活動件数

研修会・講演会等への出席	関係機関等との会議	関係機関等への訪問	その他	合 計
34	222	10		266

(4) 支援の具体的な内容

1. 地域定着支援 ①相談者の状況 ②相談内容 ③対応等

① 在宅。55才。男性。自閉症。 ② 母と本人の2人暮らし。母の認知症が進んできたため本人の施設入所を探して欲しい。 ③ 障害福祉サービスの利用歴はなし。今般、今まで本人の介護を担ってきた母の体調が悪化し、認知症も発症していることから今後も本人の介護を続けることが困難になってきている。このため、まずは自宅にて障害福祉サービスが利用できるように調整を行い、同時に、施設入所支援の入所依頼を行った。
① ロングショートステイ利用中。33才。男性。知的障害。 ② 母が亡くなり、父だけでは本人の介護ができず、365日ショートステイをつないで利用している。3日から4日でショートステイ先を移動されており、父が通える範囲での入所施設を希望。 ③ B型肝炎を持たれており、睡眠の不安定があり、眠れない時はこだわり行動が強くなるが3日から4日でのショートステイ先の移動ではなく1週間、利用できるショートステイ先を探し、奈良県の入所施設に入所が決まった。

2. 計画相談 ①相談者の状況 ②相談内容 ③対応等

① 就労をしながらケアホーム入居。31才。知的障害者。女性。 ② ケアホームに入居中だが、1人暮らしを希望。家族関係に金銭面、精神面での問題があり、安心して1人暮らしが出来るように支援をしてほしいとの相談。 ③ 金銭面でのトラブルから回避するため、成年後見制度の利用を行い、保佐人さんがついた。その後、本人が希望する地域の市営住宅に申込みを行っている。
① 支援学校卒業から通所施設への通所。18才。知的障害。女性。 ② 学校卒業から通所施設への通所が変わるため相談あり。 ③ 学校卒業後、大きく環境が変わるため安定して過ごせるように調整を行っていく。通所施設職員とも連絡、調整を密に行い支援を継続できるようにした。

3. 障害児相談 ①相談者の状況 ②相談内容 ③対応等

- | |
|---|
| <p>① 3才。知的障害児。男性。</p> <p>② 母より来年の4月～通園を利用希望したところ利用計画を作成するように子ども家庭課より言われたため相談あり。</p> <p>③ 通園を利用希望される計画を作成した。</p> |
|---|

平成24年度（2012年度）―第1期―

地域活動支援センター遊夢音 事業報告

― はじめに ―

平成24年度から堺市の相談支援事業が再編されるということで、平成23年度で堺市から当法人に委託されていた堺市障害者（児）相談支援事業の「障害者地域生活支援センターうてなが」終了した。新たに堺市の相談支援体制がスタートしたが、その体制に組み込めないそれぞれの委託されていた支援センターが行っていた様々な障害者（児）のための取り組みをどうするかということが発端になり、新たな事業として地域活動支援センター事業がプロポーザルされた。23年2月のプロポーザルであったが、一応取得することが出来、準備を始めたが4月1日の開所ということでかなりの無理があり十分な準備も整わないまま見切り発車となった。

事業内容は障害者自立支援法に基づく「地域活動支援センター」で障害者（児）が利用することで地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう、創作的活動または生産活動の機会提供及び社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与を適切かつ効果的に行うことを目的としている。

それぞれの法人が特色を生かした内容でスタートしたが、当法人の地域活動支援センター遊夢音は支援センターうてなの時代からの取り組みを主体として引き継ぎ、コンサート活動を主にして音楽プログラムと芸術的な創作活動を中心とした美術プログラムで事業内容を実施した。

障害種別は支援センターうてなの流れから知的障害が主であるが身体障害、精神障害、その他の障害の他、ご家族やそれらの方々を取り巻く様々な方々が利用された。延利用者数は登録者の方が886人、登録外の方が1961人、計2847人となっている。登録外利用者の方の内訳も三分の一程は登録対象者の方であった。

地域の方々も訪れて頂き徐々に徐々に地域に密着した場所として定着してきている。その他、小学生、中学生、高校生、大学生など様々な世代の方の相談もあり、年齢の幅は0歳から95歳の方が利用された。

以下、当事業所としての平成24年度事業の報告である。

1) センターの年度内延べ通所者数

主たる障害種別		延べ通所者数	年 齢 別		
			18歳未満	18歳以上～65歳未満	65歳以上
利 用 登 録 者	身 体 障 害	162人	0人	74人	88人
	知 的 障 害	407人	0人	407人	0人
	精 神 障 害	73人	0人	71人	2人
	発 達 障 害	0人	0人	0人	0人
	高次脳機能障害	0人	0人	0人	0人
	その他(不明も含む。)	244人	0人	42人	202人
小 計		886人	0人	594人	292人
利 用 登 録 者 以 外		1961人	-人	-人	-人
合 計		2847人	-人	-人	-人

2) 事業の活動報告（総括）

1. 日常生活支援

支援の内容、効果等
① 基本的には日常生活の居場所としてカフェを開き、障害を持つ方々と地域の方々がお茶などを飲みながら交流できる場を設け、日常的に障害福祉の啓蒙、啓発活動を行った。その結果同じ場を共有することにより徐々にではあるが障害者理解が進んだ。 ② パペットセラピーコンサート、スペシャルオープンカフェのライブなどに地域の方々など全ての人を対象として参加していただき、良い音楽を共に楽しみ、その後茶話会など交流の場を設け、ゲストの方々と共に隔てのない交流を行った。その結果当事者だけでなく当事者を取り巻く人々も含めて障害理解、不安の解消、情緒の安定などに繋がった。 ③ 音楽プログラム、美術プログラム、その他のプログラムに障害を持つ方、その家族、支援者、地域の方々、などに参加していただき隔てのない日常的な交流を図った。その結果生きがい作りや仲間づくりなども日常的に進んだ。 ④ ケース例 ○ その1 30代 女性 知的障害（精神科通院） 就労継続事業所から就職。平日の休みの日にセンター来所。仕事でのトラブルや悩み、家族との人間関係の難しさなどに対する相談を受ける。傾聴をはじめとする心の安定を図る支援を行う。また、家族から離れ、自立し一人暮らしをしたいとの希望あり。基幹相談支援センター、就業・生活支援センターなどと連携し実現に向けての可能性を探りながら主に、情緒の安定を図るための支援をする。 ○ その2 50代 男性 精神障害 パニック障害で乗り物（電車など）に乗れない方。リハビリのためガイドヘルパーを使って乗車を試みたいとの相談。居宅事業所を紹介、またプログラムへの参加を促し社会参加、地域の人との交流を図りながら回復を目指す。 ○ その3 50代 男性 精神障害 精神科に通いながら治療中。精神的な不安が強く浮き沈みはあるが意志は前向きなので、慎重に様子を見ながらかつての仕事であった音楽関係の活動を紹介し、徐々に活動することによって、自信に繋げる支援をする。 ○ その4 20代 女性 知的障害 発達障害 就労中。休みの日にセンター来所。傾聴により心の中を吐露してもらいそれを受け止めることによって情緒の安定を図り就労の継続を支援する。 ○ その5 40代 女性 精神障害 就労が休みの日にセンター来所。精神疾患を抱えながらの就労なので難しい面も多く、傾聴により心の不安定さを受け止める。その支援によりより就労が継続可能となる。 ○ その6 90代 女性 身体障害 老化に伴う将来的な不安を抱えている方。心情を共に語り合うことによって寄り添い、精神の安定を図る支援をする。また、プログラムやコンサートへの参加により社会と交わり、地域の方々と交流も持て生きるモチベーションに繋がる支援をする。

○その7

60代 女性 身体障害 精神障害

一人暮らしの方。通院の行き帰りなどに立ち寄られ、一人暮らしの寂しさなどを訴えられる。傾聴し受け止めることで精神の安定を図り、豊かな生活に繋がる支援をする。また、ヘルパーさんとの付き合い方などについても助言しスムーズな人間関係が保てるよう支援した。

○その8

60代 男性 身体障害

内部障害。時折仕事の合間に来所され、体の状態などを話される。他の利用者さんと接することで生きるモチベーションに繋がり仕事をする意欲が持続するよう場面設定などの支援をする。

○その9

40代 男性 知的障害

就労されているが休みの日などに来所。仕事の厳しさなどの悩みを傾聴。就業・生活支援センターに繋げ連携を取る。話を聞くことなどによって就業継続の支援をする。

○その10

40代 男性 知的障害 自閉症

こだわりなどの障害行動が絶えず、日常的に受け入れ先のない重度の知的障害の方。週に3～4日来所され日常的な活動の支援をすることによって生活リズムがつき、情緒の安定が図られてきている。また、母親も一緒に来所され日常のトラブルなどの話を聞くことで精神的に安定され、子供に対する対応の仕方なども徐々に変化の兆しが見られる。

○その11

10代 女性 精神障害

精神障害により引きこもり状態であったが来所されるようになり、生い立ちや現況を丁寧に聞き取ることによって、徐々に精神の安定が図られた。その結果活力も生まれてきて諦めていた大学受験を試み合格することができた。また、プログラムに参加することにより、地域の方々との交流も図ることができ、社会参加の一歩となる支援をすることができている。

○その12

30代 男性 知的障害 自閉症

運動をしたがらない知的障害の方。週に1度来所を目的として遠くから歩いてきて体力をつけている。こだわりが強いのでそれが日常的支援になっている。

○その13

20代 女性 知的障害 発達障害 精神障害

大学を中退し、無気力になられていた知的障害の方。十分に傾聴し少しモチベーションのあった保育士になることをプログラムに取り入れ継続的支援を行った結果、少し意欲も出てきて自分に向いたと思われる通所施設を見つけそこに繋がった。現在もたまに来所されている。

2. 生きがい及び仲間づくり支援

支援の内容、効果等

- ① パペットセラピーコンサート、スペシャルオープンカフェ、各プログラムそして平日のカフェなどに参加を促し、一緒に活動したり、またその間に入ることで話を引き出したりすることで参加者同士が打ち解けコミュニケーションがとれるようになった。
- ② 家族や職場での人間関係がうまくいかない人に対して傾聴し、繰り返しどう対応すればいいかを話し合った。(コミュニケーション)
- ③ 居宅介護事業所のヘルパーさんとの付き合い方について相談を受け共に考える。また、ケアマネージャーさんにも相談するよう助言する。(コミュニケーション)

- ④ 掲示板の掲示物でパペットセラピーコンサートやスペシャルオープンカフェ、パペットセラピー研修などのお知らせをすることで地域にお住まいの方が足を止めて見てくださったり、また参加されたりして障害を持った方を知っていただく機会となった。
- ⑤ 他の施設のイベント等の情報を紹介することで、社会参加の機会を作り意欲に繋がった。
- ⑥ 音楽プログラムの中で楽器を練習することで生きがいを持ち、QOL の向上に繋がった。また地域のまつり行事に参加して演奏することで練習の成果が発揮でき、自信に繋がった。
- ⑦ 利用者で作るコーラスグループを支援し生きがいに繋がった。
- ⑧ 音楽仲間のグループに対してスペシャルオープンカフェなどで発表の場を設定し、それに向けて練習、また発表することで、意欲に繋げグループの一体感も生まれ生きがい且つ仲間作り支援となった。
- ⑨ 就労をしている方に対して平日の休日に来所することを提案し、仕事場以外での仲間作りが出来るよう配慮、共に活動し支援した。

3-1 プログラム（グループワーク）支援

支援の内容、効果等
① パペットセラピーコンサート 月1回第3土曜日にゲストを迎えコンサートを開催した。導入にパペットセラピーを使い、リラックスした雰囲気の中で本物の音楽、パフォーマンスを障害を持つ人にも楽しんでもらいたいというコンセプトで行っている。出演者はそれぞれの分野のプロの方々をお願いした。当事者だけではなく家族、介護者、地域の方々も一緒になって音楽、パフォーマンスを楽しむことで、一体感が生まれ、お互いの中に思いやりの精神が育まれた。またそれに伴って活力が生まれそれぞれの生活のQOLに良い影響を及ぼす支援となっている。 ② スペシャルオープンカフェ 月1回第1土曜日に開催。ボランティア団体「夢のおもちゃ箱」によるハヤシライス、飲み物の提供があり皆で食事をすることで親睦を深めることができた。また、ハヤシライスを食べるためにいつもより早起きができるというケースなどもあった。13時からライブを行いボランティアアーティスト達による音楽ライブやパフォーマンスを楽しんだ。パペットセラピーコンサート同様楽しみながら障害福祉の啓蒙、啓発活動が行なわれた。 ③ 音楽プログラム 毎週1回実施。音楽家の先生を講師に迎え、本格的な発声の仕方から学んだ。障害を持つ方にも地域の方にも参加してもらいやすい雰囲気を作り、簡単な歌を選んでもらいながらも本物の音楽を目指した。音楽の楽しさが徐々に分かり休まず参加される方が増えた。また楽器の指導を受けられる方もおり、指導により少しずつ上達された。当施設内で披露する機会を設け生きがいづくりなどにも繋がった。 ④ 美術プログラム 毎週1回実施。美術の先生を講師に迎え、指導していただく。参加者がその日の気持ちに合った活動を選べるようにした。色鉛筆デッサン、水彩画、イラスト、塗り絵など様々な美術活動ができるように工夫している。中でもセラピーとしての塗り絵は人気が高く、熱心に取り組まれている。講師の先生の指導により、遊びではなく芸術的な活動となり、障害者のみならず、その家族、地域の

方々にも心を豊かにする活動の場となった。

⑤ 書道プログラム

毎週1回を基本に随時行った。自由な発想で自由な文字を書いてもらうという枠にとらわれない書道として行った。そのため誰もが気軽に参加され字だけではなく絵も描かれ心の開放に繋がった。

⑥ 手芸プログラム

随時行った。その日に集まったメンバーで話し合い、紐で作った草履、刺し子のコースター作りなどを行った。手を動かしながらの会話はかえって弾み、利用者同士のコミュニケーションには効果大であった。

⑦ 保育プログラム

大学（保育科）を中退された方。生きがいを見失っている状態の中で希望を持っていただくために保育に関するワークショップを行った。ピアノの練習、絵本の読み聞かせ、手あそびうた、ペーパースート作り、イラスト描きなど。活動に参加することで心の安定が見られた。

⑧ ランチ交流会

随時に行った。メンバーと共に買い物に行き、買ってきたもので一緒に食事をした。共に食事をする事で、話も弾み良いコミュニケーションの場となった。また簡単な調理実習をし、ランチを作って一緒に食べた。できることはやってもらい、自主的な行動を促した。

3-2 プログラム（グループワーク）支援

プログラムの名称	開催場所・時間帯等	延べ活動回数	延べ参加者数
オープンカフェ（居場所提供）	施設内（毎日 10:00～16:00）	243 回	2797 人
音楽プログラム	施設内（毎週水曜 13:30～15:00）	46 回	547 人
美術プログラム	施設内（毎週木曜 13:30～15:00）	47 回	364 人
書道プログラム	施設内（毎週金用 13:30～15:00）	8 回	29 人
パペットセラピーコンサート	施設内（毎月第3土曜日開催 14:00～15:00）	11 回	451 人
スペシャルオープンカフェ	施設内（毎月第1土曜日 10:00～16:00）	11 回	408 人
ギャラリーコンサート	施設内（9/1 13:00～16:00）	1 回	60 人
仲間作りランチ交流会	施設内（不定期 11:00～13:00）	21 回	149 人
仲間作り音楽交流会	施設内（不定期）	26 回	848 人
特別音楽プログラム	施設内（不定期）	45 回	123 人
特別美術プログラム	施設内（不定期）	2 回	4 人
手芸プログラム	施設内（不定期）	3 回	8 人
家族交流会	施設内（不定期）	1 回	3 人
工作プログラム	施設内（不定期）	2 回	5 人
保育実習プログラム	施設内（不定期）	13 回	39 人
パペットセラピー研修	毎週1回	47 回	263 人
ボランティア研修	毎月1回	14 回	78 人
年間延べ活動回数	541 回	年間延べ参加者数	6176 人

4. その他特記事項

当事業所は社会福祉の理念を踏まえ、また運営要綱に基づき出来るだけグローバルな視点を持った地域活動支援センターを目指した。堺市の本事業に対する視点が障害当事者だけではなく、家族、支援者、地域住民、関係機関なども含めた幅広い支援を目的としているので、それに沿った形での支援を心がけた。

そういった部分を踏まえて運営の結果、全利用者のうち登録外の利用者が、半数以上となっている。しかし前記した事業運営の性格上、登録対象者であるにも関わらず登録に至らない利用者也多数おられ、実際的には難しい面もあるが本事業継続の視点からは、そういった人達の人数把握も必要と思われる。

また、当事業所は障害福祉の分野は勿論のことであるが、社会福祉全体の支援をはじめとして教育分野、医療分野、その他関連する分野においても啓蒙、啓発活動を行いつつ、それぞれ関係するところに下記のような協力、支援をしている。

- 小学校、中学校、支援学校などにおける障害理解の教育支援
- 支援学校のクラブ活動支援
- 病院の緩和ケアにおけるターミナルケア支援
- 各行政機関、福祉サービス事業者、相談支援事業者、保健サービス事業者などが実施する行事支援

例 地域活動支援センター鳳

福泉療護園

堺市立百舌鳥支援学校

大阪府立泉北支援学校

あおぞらつぐみの家

あゆみの会

ファンズガーデン

あんずの会

てんかん協会

健康福祉プラザ

耳原総合病院

堺市立原山台小学校

堺市立原山台東小学校

堺市立晴美台小学校

堺市立城山台小学校

堺市立深井小学校

堺市立原山台中学校

堺市立晴美台中学校

堺市立美木多中学校

その他

その他ボランティアの育成にも力を入れており、それぞれの活動に対しボランティア実践に繋がるよう支援している。

当事業所にご協力いただいているボランティアは「パペット&アーティストファミリー夢のおもちゃ箱」というボランティア団体の方々が当年度においては延375人(1日平均1.6人)の方々のご協力をいただいた。

堺市障害者地域活動支援センター運営事業収支決算書

センター名

收入

(単位 円)

科 目	收 入 額	内 容 説 明 (算 出 基 礎 等)
收 入 合 計		

支出

(単位 円)

科 目	支 出 額	内 容 説 明 （ 算 出 基 礎 等 ）
支 出 合 計		

